

公益財団法人 豊郷病院 紀要・年報

vol.18

2018

(平成30年度版)



公益財団法人 豊郷病院

紀要・年報刊行のご挨拶

公益財団法人 豊郷病院
代表理事 名誉院長

佐 藤 公 彦



関係職員ならびに広報委員会の努力で豊郷病院紀要・年報を刊行いたしました。令和元年の記念誌ではありますが平成 30 年の年報となります。

元号令和もだいぶ馴染んできました。令は優れたという意味で、『令和』で優れた質の高い調和や平和を表すそうです。国書である万葉集から引用されたことで大歓迎されました。しかし、引用の元になった和歌がのどかな春先の梅見会の風雅を詠っているところから、日本社会のガラパゴス化を気にするひともいるようです。ガラパゴス化の代表であった携帯電話ではシムフリーとなり、最近になって携帯電話料金の見直しも行われています。いっぽう、これからの 5 年間で 30 万人以上の介護従事者の不足が見込まれる差し迫ったなか、また、政府は外国人労働者受け入れ拡大を表明しているのにもかかわらず、積極的な施策が伝わってきません。現実的に介護提供側、利用者両者に支障が出てきています。医師不足も相変わらずで、この現状で働き方改革といわれても、というか、過重な労働環境では地域の病院は存続できないでしょう。もちろん、労働時間管理と仕事の効率化は両輪としてさらに改善していくつもりです。

2019（令和元年）8 月

令和元年

時代と共に更に進化・発展を



公益財団法人 豊郷病院
業務執行理事 病院長

横 田 徹

昨年8月より業務執行理事、病院長に就任して、11カ月が経過しました。病院運営に関しましては、湖東地域の医療・介護関係の皆様、医師会、保健所、大学、県内の病院の方々には、いつも大変お世話になりありがとうございます。

昨年は永年、豊郷病院の経営にご尽力されました友吉唯夫代表理事の急逝、薦本尚慶院長の退職が重なりました。その後、佐藤名誉院長が代表理事、私が新病院長に就任し、組織に大きな変化がありました。しかし、哀しみを乗り越えた職員の方々の努力で、2018年度の年報を発刊出来ることに、改めて感謝しております。本年度は、回復期リハビリ病棟の施設基準を上げ、透析医療の拡大を実地、また療養病棟から、軽度認知症を対象とした地域包括ケア病棟の開設を致します。

本年度の取組みとして

- 1) 医療・介護の質の向上（クリニカルガバナンスの順守）
- 2) 人材育成・指導教育（労働環境の整備、人権教育・働き方改革の実行）
- 3) 生産性の向上・効率運営
- 4) 経営基盤の確立・健全経営

を掲げており、職員一同意識のベクトルを合わせて進んでいきたいと考えています。

本年5月には元号の改正、新天皇の誕生となり、新しい令和時代の期待感を抱いている方は多いと思います。医療や介護の政策は、来たるべき時代の人口動態と疾病構造の変化によって、決められた予算を背景に決定されるものです。みなさまにとっては消費税の動向がもっとも気になるころだと思います。消費税は医療、介護の財源としては必要不可欠ですが使途についても十分に議論すべきです。問題を先送りする体質を改善しなければなりません。

また「人生100年」の言葉が一人歩きしています。かつて、在原業平が「つひに行く道とはかねて聞きしかど昨日今日とは思はざりしを」と古今和歌集で詠んだ時代も、いまも、10年後のことだけで無く、1年後のこともじつは不明確です。人間の人生や健康は緻密で頑強である一面、こころも含めて実に脆弱で壊れ易いものです。時間は切れ目無く流れ続けており、人生もその流れの中で変化していきます。人生が100年あったとしても、いまこの時が実存として確実なものであり、丁寧に生きる事が個人としては大切だと思います。一日も早く健康に、元気になるように尽くす一方で、身体と心の変容に寄り添い、個人がその時々的人生を受け入れて生きて行けるよう、支えになりたいものです。豊郷病院は時代にあわせ進化、発展していくと共に、医療・介護の本質を大切にする姿勢に変わりはありません。

今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願いいたします。

2019（令和元年）8月

基 本 理 念

豊かな郷で心と体の健康を 家族のように

1. 郷土愛と博愛の創立精神に基づき、地域の医療・保健・福祉を支える。
2. 医学の進歩に同調し、わかりやすく信頼される医療を行う。
3. 温もりと心をこめたサービスで、快適な療養環境を築く。
4. 患者さまの権利を尊重し人権をまもる。
5. 職員の労働環境に配慮し、効率よい安定した病院経営を行う。



公益財団法人 豊郷病院

目 次

紀要・年報刊行のご挨拶

代表理事・名誉院長 佐藤公彦

令和元年 時代と共に更に進化・発展を

業務執行理事・病院長 横田 徹

公益財団法人 豊郷病院 基本理念

□ 公益財団法人 豊郷病院 法人の部

1 法人沿革	1
2 法人概要	3
3 施設認定・施設指定	4
4 施設基準	5
5 法人組織図	7
6 病院組織図	8
7 病院会議・委員会組織図	9
8 介護施設組織図	10
9 病院概要図	11
10 法人役員名簿	12
11 法人管理者組織名簿	13
12 法人部門別職員数	14
13 活動内容	15
14 公益財団法人 豊郷病院長期事業計画・第7期中期計画	18
15 2019年度 経営方針	20
16 地域交流TQM活動	21
17 人権教育研修	22

I 医療事業の部

〈診療部門〉医師理念

1 診療部事業経過	23
2 各科の事業・業績報告	24
循環器内科	24
呼吸器内科・呼吸器外科	24
消化器内科	26
内科（糖尿病）	26
外 科	27
泌尿器科	27
整形外科	28
脳神経外科	29
眼 科	30
耳鼻咽喉科	32
小児科	32
皮膚科	32
婦人科	33
脳神経内科	33
精神科	33
歯科口腔外科	35
麻酔科	35
リハビリテーション科	36
放射線科	38
機能別病棟	42
臨床検査科	42
医療安全室	44
感染管理室	45
血液浄化センター	46
内視鏡センター	46
健診センター	47
認知症疾患医療センター	47
回復期リハビリテーションセンター	50
3 愛知・犬上医師連絡会	51
4 公開セミナー・出前講座・健康フェスティバル	52
5 全職員研修会	53



法人の部

2018（H30）年度世界経済は各国共ゆるやかな成長軌道に乗り、特に前半では米国・中国・EUをはじめ、わが国の企業業績は好調が続いたが、後半に入り日米欧アジア共に中国景気減退の影響が主要企業の業績に広がり、減益模様で更に米国の貿易赤字懸念から、米中貿易戦争の報復合戦が続き、そのあと日米の通商交渉が待ち受け今後の世界経済の不安定材料となっています。

さて、当法人の今期は診療報酬・介護報酬の同時改定でスタートしました。いずれも地域包括システムの構築と推進、医療機能分化、ならびに質の高い医療と介護サービスの実現、更に働き方改革の推進、多様な人材確保等々を主眼に改定されました。

そのなかにあって、第7期中期計画の3年計画の初年度、加えて2018年の経営方針のもと、各事業共に全力をあげて運営しましたが、上期は低調に推移し苦戦をしました。また全国的に異常気象から、猛暑や水害の多発の影響もあって、外来患者の減少や介護事業の通所介護の利用者減少等、経営に大きく影響を受けました。

一方、期初に代表の急逝と新代表の就任、ならびに病院長、施設長、学院長の新任など大きく体制が変わりましたが、運営方針と職員の努力により、きめの細かい運営に徹した結果、まずまずの成果をあげることができました。

1 法人沿革

大正 14 年(1925)	4 月 27 日	内務大臣の許可を得て、九代目伊藤長兵衛翁(1868～1941)の寄付により、財団法人 豊郷病院設立
15 年(1926)	7 月 6 日	本館竣工 病床 18 床、内科・外科・耳鼻咽喉科・X 線科開設
昭和 9 年(1934)	10 月 5 日	産婦人科新設
昭和 16 年(1941)	11 月 19 日	高松宮殿下 御成
	12 月 10 日	創立者 伊藤長兵衛翁逝去
17 年(1942)	3 月 1 日	眼科新設
27 年(1952)	2 月 20 日	呼吸器科新設 病床 80 床となる
	12 月 1 日	整形外科新設
	12 月 19 日	豊郷村外 11ヶ町村伝染病院組合立の伝染病床併設
28 年(1953)	4 月 1 日	歯科新設
29 年(1954)	1 月 29 日	准看護婦養成所開設
32 年(1957)	4 月 1 日	精神科・神経科新設 許可病床 290 床となる
33 年(1958)	10 月 1 日	総合病院の指定
40 年(1965)	5 月 31 日	診療棟、病舎、鉄筋コンクリート3階建てに改築 許可病床 372 床となる
42 年(1967)	3 月 1 日	救急病院の指定
	8 月 30 日	精神科病棟3階建増築
45 年(1970)	3 月 1 日	医療相談室開設
46 年(1971)	11 月 30 日	病棟、外来診療棟、リハビリ及び管理棟増改築
47 年(1972)	2 月 1 日	血液センター豊郷出張所開設
	11 月 1 日	脳神経外科新設
50 年(1975)	5 月 20 日	豊郷町外7ヶ市町伝染病組合立の伝染病棟改築 15 床
60 年(1985)	11 月 20 日	病院創立 60 周年(60 年史刊行)
62 年(1987)	7 月 1 日	肛門科新設
	7 月 6 日	泌尿器科新設
63 年(1988)	11 月 1 日	財団法人豊郷病院総合近代化工事着工
平成 2 年(1990)	7 月 1 日	一般病棟 30 床増床 総 394 床
3 年(1991)	8 月 1 日	准看護婦養成所から准看護学院に変更
7 年(1995)	6 月 1 日	認知症疾患医療センターならびに認知症外来開設
8 年(1996)	3 月 25 日	第7代理事長 成宮秀男就任
	6 月 1 日	老人保健施設パストラルとよさと開設(法人 70 周年記念事業)
9 年(1997)	12 月 5 日	訪問看護ステーションレインボウとよさと開設
11 年(1999)	4 月 1 日	皮膚科新設
	11 月 1 日	医療相談室から医療福祉相談室に名称変更
	12 月 1 日	訪問看護ステーションレインボウはたしょう開設
12 年(2000)	4 月 1 日	介護保険制度発足
		寄付行為の目的を「医療事業と介護事業」に改定
		同時に各サービス事業開設
		居宅介護支援センターマックスとよさと開設
		ヘルパーステーションピンポンとよさと開設
	7 月 1 日	精神科 デイケア開始
	10 月 1 日	小児科新設

13 年(2001)	5 月 1 日	訪問リハビリテーションアイルとよさと開設
14 年(2002)	2 月 12 日	彦根市デイサービスセンターきらら、グループホームゆうゆう、在宅介護支援センター開設
	10 月 1 日	近代化建築事業・3病棟新館開所
15 年(2003)	3 月 10 日	甲良町デイサービスセンターけやき、グループホームらくらく開設
	4 月 1 日	療養病棟開設 32 床
	7 月 1 日	総合リハビリセンター開設
	8 月 1 日	血液浄化センター開設 18 床、地域連携室開設
16 年(2004)	8 月 1 日	訪問看護ステーション レインボウとよさと サテライトひこね開設 居宅介護支援センター レインボウひこね開設
	9 月 1 日	歯科口腔外科新設
	12 月 8 日	診療情報管理室設置
17 年(2005)	11 月 1 日	訪問看護ステーション レインボウひこね開設
	12 月 2 日	言語療法室開設
18 年(2006)	9 月 25 日	日本医療機能評価認定 (ver4)
20 年(2008)	1 月 1 日	医療安全室開設
	4 月 1 日	麻酔科開設
	8 月 1 日	亜急性期病床開設
22 年(2010)	4 月 1 日	豊郷病院附属臨床精神医学研究所設立
	5 月 1 日	精神療養病棟開設
23 年(2011)	3 月 31 日	事業目的を「医療事業・介護事業・教育研究事業」に改定
	9 月 25 日	日本医療機能評価認定 (ver6)
24 年(2012)	2 月 10 日	訪問看護ステーション レインボウたが開設
	4 月 1 日	公益財団法人豊郷病院認可・彦根市地域包括支援センターきらら開設
	5 月 1 日	回復期リハビリテーション病棟開所 (30 床)
	7 月 1 日	第8代 代表理事 佐藤公彦就任
25 年(2013)	10 月 1 日	居宅介護支援センター マックスひこね開設
26 年(2014)	3 月 1 日	びわこメディカルネットワーク事業参入
	9 月 1 日	一般病棟のうち地域包括ケア病棟 (51 床) 承認開設
	11 月 28 日	第9代 代表理事 友吉唯夫就任
27 年(2015)	12 月 10 日	創立 90 周年式典・創業者 75 回忌法要
28 年(2016)	3 月 19 日	地域交流第1回 TQM 発表会
	4 月 1 日	認知症初期集中支援チーム“オレンジファイブ” 及び在宅療養サポートセンター“とよサポ”発足
29 年(2017)	2 月 25 日	地域交流第2回 TQM 発表会
	3 月 3 日	日本医療機能評価機構認定3回目 (3rdG:ver.1.1.)
	5 月 1 日	電子診療録 (電子カルテ) 導入
30 年(2018)	5 月 24 日	地域交流第3回 TQM 発表会
	6 月 22 日	第10代 代表理事 佐藤公彦就任
31 年(2019)	3 月 19 日	地域交流第4回 TQM 発表会

2019 年 7 月現在

2 法人概要

〈法人の事業目的〉

1. 医療事業 2. 介護事業 3. 教育研究事業

医療事業

〈病床数〉

一般病棟……………	186 床	(内 一般病床 105 床、地域包括ケア病床 51 床、回復期リハビリテーション病床 30 床)
療養病棟……………	32 床	(地域包括ケア病床・初期認知症対応型)
精神病棟……………	120 床	(精神急性期病床 60 床、療養病床 60 床)
計……………	338 床	

〈診療科目〉

内科・外科・消化器外科・整形外科・消化器内科	リハビリテーション科・放射線科
呼吸器内科・呼吸器外科・循環器内科	血液浄化センター
脳神経外科・眼科・泌尿器科	認知症疾患医療センター オアシス
耳鼻咽喉科・歯科・歯科口腔外科	内視鏡センター
小児科・婦人科・皮膚科・麻酔科	健診センター
精神科・心療内科・神経内科	

介護事業

〈施設指定・事業所及び利用定員〉

1. 豊郷病院/居宅療養管理指導 …………… 在宅
2. 訪問看護ステーション レインボウとよさと …………… 在宅
3. 訪問看護ステーション レインボウはたしょう …………… 在宅
4. 訪問看護ステーション レインボウひこね …………… 在宅
5. 訪問リハビリテーション アイルとよさと …………… 在宅
6. 介護老人保健施設 パストラールとよさと …………… 入所100床
7. 短期入所療養介護 パストラールとよさと …………… (内 4床)
8. 通所リハビリテーション パストラールとよさと …………… 定員20人/日
9. 彦根市デイサービスセンター きらら …………… 定員40人/日
10. 彦根市グループホーム ゆうゆう …………… 利用者 9床
11. 彦根市地域包括支援センター きらら …………… 支援センター (要支援)
12. 甲良町デイサービスセンター けやき …………… 定員25人/日
13. 甲良町グループホーム らくらく …………… 利用者9床
14. 居宅介護支援センター マックスとよさと …………… 支援センター (要介護)
15. 居宅介護支援センター マックスひこね …………… 支援センター (要介護)
16. 認知症初期集中支援チーム オレンジファイブ …………… 在宅

教育研究事業

准看護学院

臨床精神医学研究所

(2019年7月現在)

3 施設認定・施設指定

施設認定

日本医療機能評価機構認定病院
日本呼吸器科学会認定施設
日本外科学会専門医制度修練施設（関連施設）
日本泌尿器科学会専門医関連教育施設
日本整形外科学会専門医研修施設
日本眼科学会専門医制度研修施設
日本精神神経学会精神科専門医制度研修施設
日本麻酔科学会認定施設
日本静脈経腸栄養学会・NST 稼働認定施設
日本手外科学会手外科専門医制度研修施設

施設指定

保険医療機関
労災保険指定医療機関
生活保護法指定医療機関
結核指定医療機関
原子爆弾被爆者一般疾病医療取扱医療機関
救急告示病院
精神保護及び精神障害者福祉に関する法律に基づく指定病院
認知症疾患医療センター
指定自立支援医療機関（更生医療）
指定自立支援医療機関（育成医療）
指定自立支援医療機関（精神通院医療）
難病医療費助成指定医療機関
小児慢性特定疾病医療費助成指定医療機関
臨床研修病院（協力型臨床研修病院）

その他

大阪市立大学医学部脳神経外科研修病院
滋賀医科大学学外臨床実習協力病院
滋賀医療技術専門学校実習病院
滋賀医科大学医学部附属病院呼吸器外科専門医関連施設

(2019 年 7 月現在)

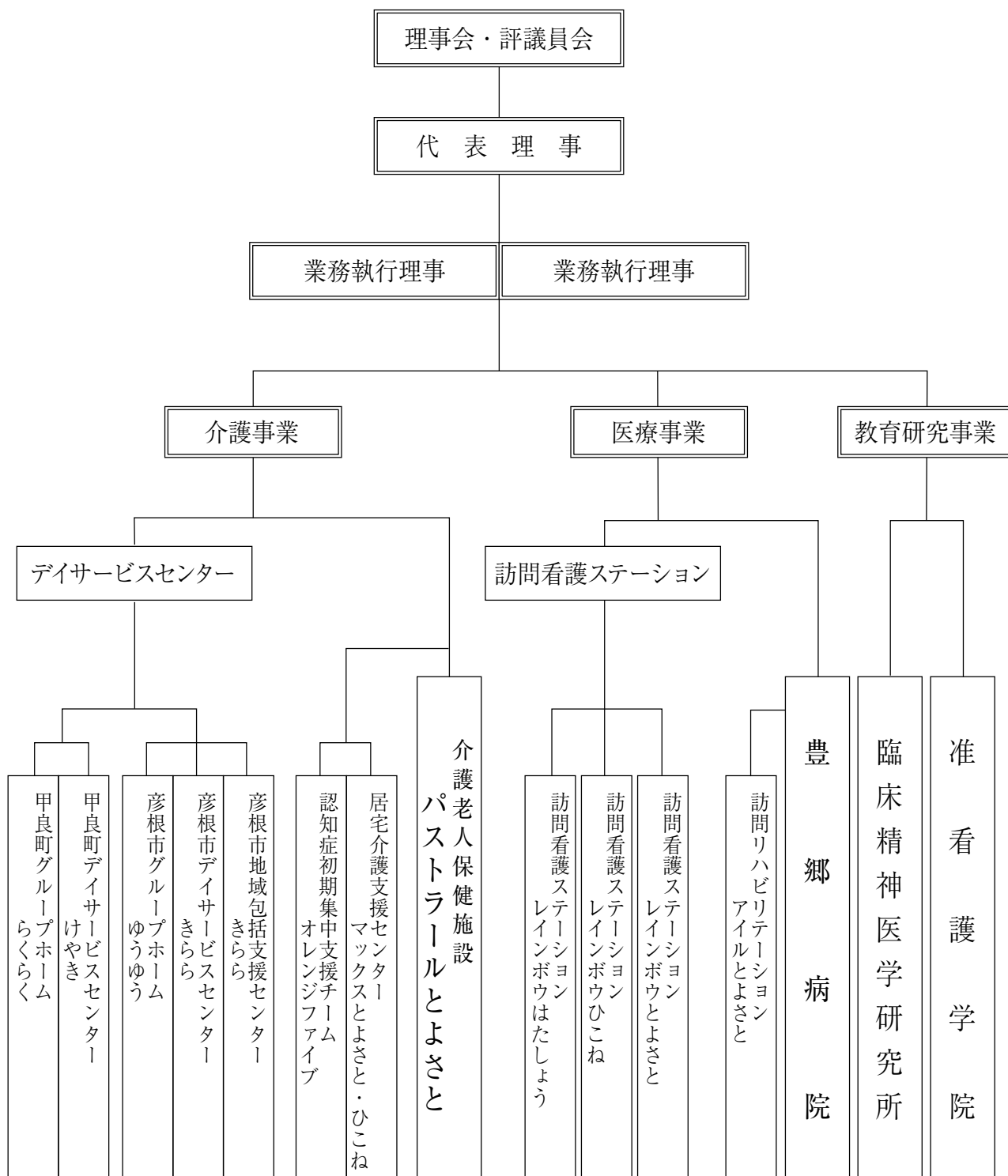
4 施設基準

受理届出名称	受 理 記 号	受 理 番 号	算定開始年月日
初診料（歯科）の注 1 に掲げる基準	歯 初 診	第 15 号	平成 30 年 4 月 1 日
歯科外来診療環境体制加算 1	外 来 環 1	第 233 号	平成 30 年 5 月 1 日
一般病棟入院基本料	一 般 入 院	第 795 号	平成 30 年 7 月 1 日
療養病棟入院基本料	療 養 入 院	第 155 号	平成 30 年 7 月 1 日
診療録管理体制加算 1	診 療 録 1	第 1 号	平成 26 年 4 月 1 日
医師事務作業補助体制加算 1	事 補 1	第 10 号	平成 28 年 4 月 1 日
急性期看護補助体制加算	急 性 看 補	第 11 号	平成 28 年 4 月 1 日
看護職員夜間配置加算	看 夜 配	第 13 号	平成 29 年 9 月 1 日
看護補助加算	看 補	第 754 号	平成 22 年 5 月 1 日
療養環境加算	療	第 93 号	平成 26 年 9 月 1 日
重症者等療養環境特別加算	重	第 74 号	平成 14 年 10 月 1 日
療養病棟療養環境加算 1	療 養 1	第 7 号	平成 18 年 4 月 1 日
精神科身体合併症管理加算	精合併加算	第 7 号	平成 20 年 4 月 1 日
栄養サポートチーム加算	栄 養 チ	第 26 号	平成 31 年 1 月 1 日
医療安全対策加算 1	医 療 安 全 1	第 17 号	平成 30 年 4 月 1 日
感染防止対策加算 1	感 染 防 止 1	第 5 号	令和元年 5 月 1 日
患者サポート体制充実加算	患 サ ポ	第 11 号	平成 24 年 4 月 1 日
精神科救急搬送患者地域連携受入加算	精救急受入	第 2 号	平成 24 年 6 月 1 日
後発医薬品使用体制加算 1	後 発 使 1	第 24 号	平成 30 年 12 月 1 日
データ提出加算	デ ー タ 提	第 23 号	平成 31 年 4 月 1 日
入退院支援加算	入 退 支	第 21 号	平成 30 年 4 月 1 日
認知症ケア加算	認 ケ ア	第 39 号	平成 31 年 3 月 1 日
精神疾患診療体制加算	精 疾 診	第 1 号	平成 28 年 4 月 1 日
回復期リハビリテーション病棟入院料 2	回 2	第 10 号	平成 31 年 3 月 1 日
地域包括ケア病棟入院料 2 及び 地域包括ケア入院医療管理料 2	地包ケア 2	第 4 号	平成 26 年 9 月 1 日
精神科急性期治療病棟入院料 2	精 急 2	第 2 号	平成 30 年 1 月 1 日
精神療養病棟入院料	精 療	第 21 号	平成 26 年 4 月 1 日
入院時食事療養／生活療養（Ⅰ）	食	第 278 号	平成 2 年 7 月 1 日
歯科疾患管理料の注 11 に掲げる 総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	医 管	第 65 号	平成 28 年 11 月 1 日
糖尿病合併症管理料	糖 管	第 30 号	平成 25 年 11 月 1 日
がん性疼痛緩和指導管理料	が ん 疼	第 85 号	平成 29 年 8 月 1 日
夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に掲げる 救急搬送看護体制加算	救 搬 看 体	第 1 号	平成 30 年 4 月 1 日
ニコチン依存症管理料	ニ コ	第 248 号	令和元年 7 月 1 日
がん治療連携指導料	が ん 指	第 450 号	平成 28 年 6 月 1 日
薬剤管理指導料	薬	第 22 号	平成 22 年 5 月 1 日
医療機器安全管理料 1	機 安 1	第 4 号	平成 20 年 4 月 1 日
持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	持 血 測	第 8 号	平成 27 年 9 月 1 日

検体検査管理加算 (I)	検	I	第 53 号	平成 20 年 4 月 1 日
時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	歩	行	第 15 号	平成 25 年 3 月 1 日
コンタクトレンズ検査料 1	コ	ン	第 140 号	平成 28 年 4 月 1 日
小児食物アレルギー負荷検査	小	検	第 21 号	平成 23 年 5 月 1 日
C T 撮影及びMR I 撮影	C ・ M		第 109 号	平成 27 年 4 月 1 日
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	抗 悪 処 方		第 10 号	平成 22 年 4 月 1 日
外来化学療法加算 1	外 化	1	第 40 号	平成 24 年 9 月 1 日
無菌製剤処理料		菌	第 31 号	平成 20 年 4 月 1 日
脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)	脳	I	第 28 号	平成 24 年 4 月 1 日
運動器リハビリテーション料 (I)	運	I	第 26 号	平成 24 年 4 月 1 日
呼吸器リハビリテーション料 (I)	呼	I	第 9 号	平成 24 年 4 月 1 日
がん患者リハビリテーション料	が ん リ ハ		第 22 号	平成 29 年 8 月 1 日
精神科作業療法		精	第 8 号	平成 13 年 8 月 1 日
抗精神病特定薬剤治療指導管理料 (治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	抗 治 療		第 6 号	平成 29 年 8 月 1 日
人工腎臓	人 工 腎 臓		第 1 号	平成 30 年 4 月 1 日
導入期加算 1	導 入	1	第 1 号	平成 30 年 4 月 1 日
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	透 析	水	第 23 号	平成 25 年 12 月 1 日
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	肢	梢	第 16 号	平成 28 年 4 月 1 日
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	脊	刺	第 3 号	平成 13 年 12 月 1 日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術		ペ	第 26 号	平成 10 年 5 月 1 日
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術		腎	第 27 号	平成 26 年 11 月 1 日
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術	胃 瘻 造		第 8 号	平成 26 年 4 月 1 日
麻酔管理料 (I)	麻 管	I	第 40 号	平成 20 年 4 月 1 日
クラウン・ブリッジ維持管理料	補	管	第 491 号	平成 12 年 4 月 1 日
酸素の購入単価 ・液体酸素の単価 1 リットル当たり 0.19 円 ・酸素ポンベに係る酸素の単価 1 リットル当たり 2.31 円	酸	単	第 4060 号	平成 31 年 4 月 1 日

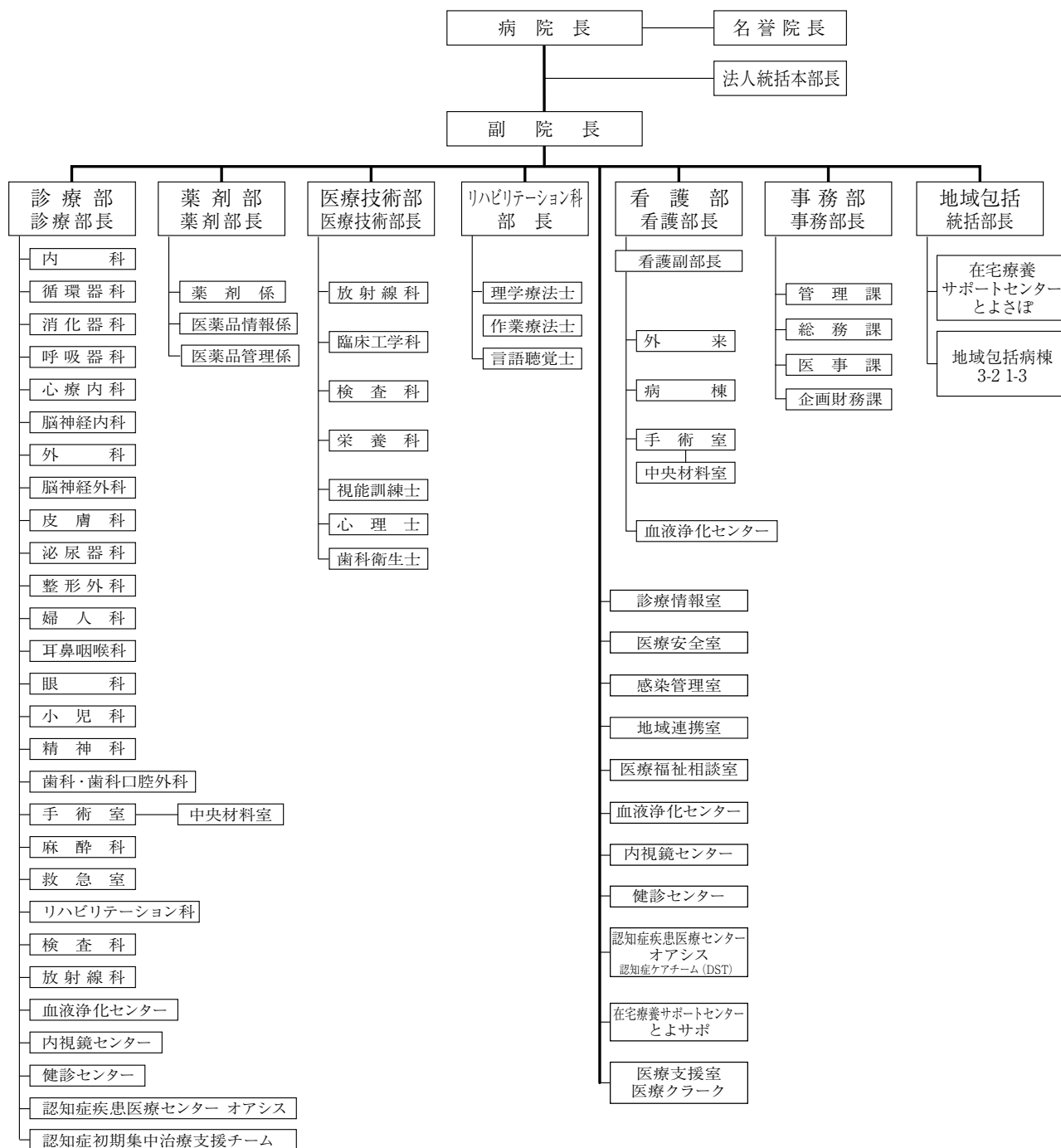
(2019 年 7 月現在)

5 法人組織図



(2019 年 7 月現在)

6 病院組織図



(2019年7月現在)

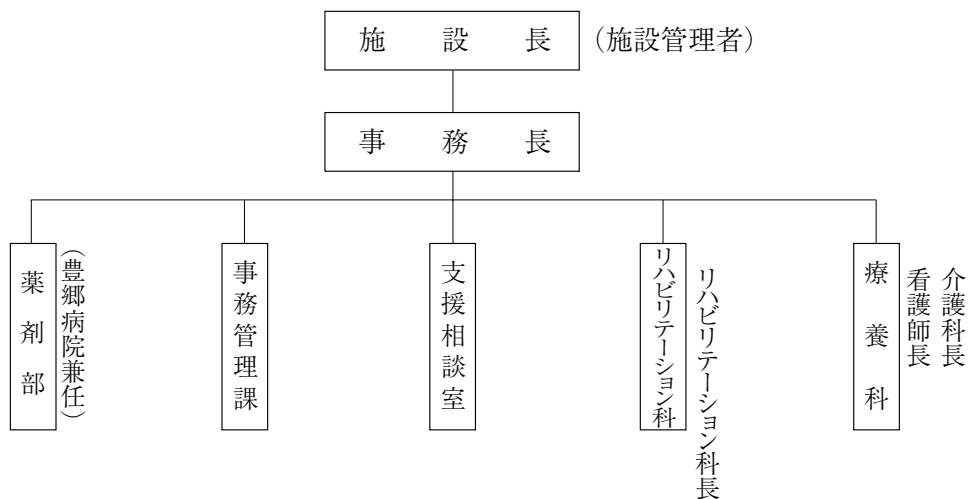
7 病院会議・委員会 組織図



(2019年7月現在)

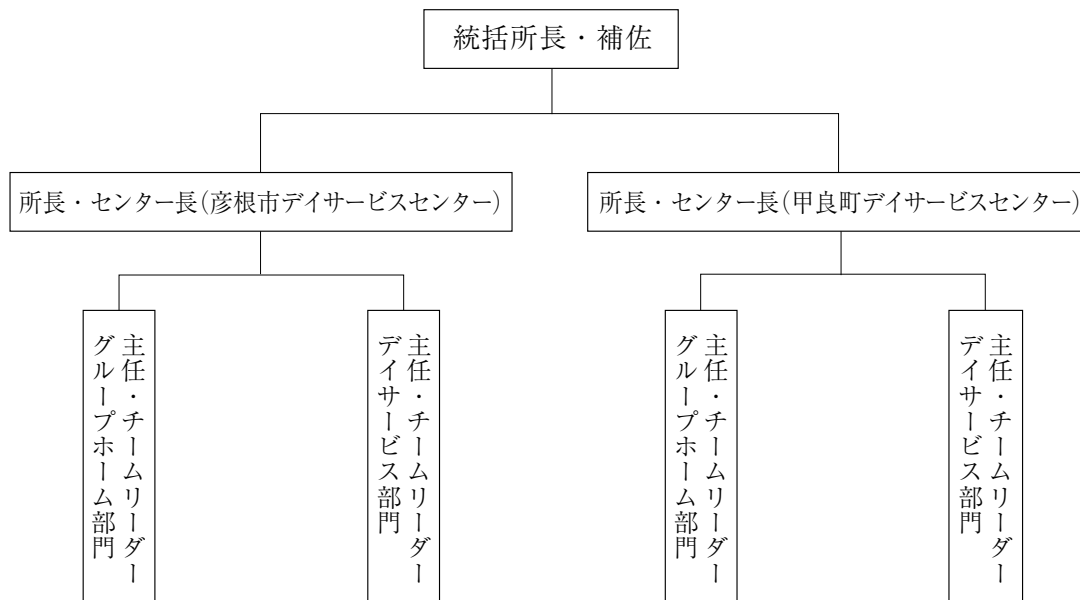
8 介護施設組織図

介護老人保健施設 パストラルとよさと 組織図



デイサービスセンター 組織図

彦根市デイサービスセンター きらら 甲良町デイサービスセンター けやき
彦根市グループホーム ゆうゆう 甲良町グループホーム らくらく



(2019年7月現在)

10 法人役員名簿

	役 員 名	氏 名	現 職
理事	代 表 理 事	佐 藤 公 彦	名誉院長
	理 事	横 田 徹	病院長
	業務執行理事	種 村 榮 二	法人統括本部長
	理 事	松 末 吉 隆	(滋賀医科大学理事副学長・病院長)
	理 事	山 本 羊之介	
	理 事	川 村 喜三郎	薬剤部長・医療技術部長
	理 事	川 村 宏	事務部長
評議員	評 議 員	世 一 市 郎	
	評 議 員	若 林 直 之	
	評 議 員	若 山 喜久穂	
	評 議 員	若 林 保 幸	
	評 議 員	林 拓 二	顧問・研究所長・学院長
監事	監 事	伊 藤 勲	
	監 事	山 本 洋 昭	
	監 事	西 山 憲 和	
	監 事	藤 田 敦	顧問税理士

(2019 年 7 月現在)

11 法人管理者組織名簿

部 署	役 職	氏 名
	代表理事・名誉院長	佐 藤 公 彦
	院長	横 田 徹 徹
	法人統括本部長	種 村 榮 二
	副院長	成 田 実
	副院長	難波江 正 浩
	副院長	土 井 久 和
	副院長・診療部長	曾 我 弘 樹
診 療 部	診療部長	曾 我 弘 樹
健 診 セ ン タ ー	部長	吉 川 邦 生
内 科	副院長(消化器内科)	土 井 久 和
	部長(健診(消内科))	吉 川 邦 生
	部長(糖尿病内科)	高 木 敬 文
	医長(消化器内科)	門 元 優
	医長(循環器内科)	富 田 行 則
	健診担当(健診)	桐 山 畜 夫
呼 吸 器 科	代表理事・名誉院長	佐 藤 公 彦
	部長	伊 部 邦 宏
	医長	吉 橋 彩 子
外 科	院長	横 田 徹 徹
	部長	井 内 武 和
泌 尿 器 科	副院長・診療部長	曾 我 弘 樹
	医長	鄭 裕 午
皮 膚 科		(非常勤医師)
脳 神 經 外 科	部長	木 築 裕 彦
整 形 外 科	副院長・外科系統統部長	難波江 正 浩
	部長	荒 木 勸
	部長	本 原 功 二 郎
眼 科	部長	富 田 靖 之
婦 人 科		(非常勤医師)
耳 鼻 咽 喉 科		(非常勤医師)
小 児 科	部長	三 村 由 卯
精 神 科	顧問	林 拓 二
	副院長	成 田 実
	部長	中 江 尊 保
	部長	西 嶋 泰 洋
	部長	阪 上 悌 司
	医長	堀 川 健 志
	医長	岡 村 恭 子
歯 科 口 腔 外 科	医員	藤 居 孝 文
麻 酔 科	部長	小 島 修
放 射 線 科	医長	土 井 久 和
検 査 科	医長	高 木 敬 文
手 術 室	室長	難波江 正 浩
診 療 情 報 管 理 室	室長	横 田 徹 徹
リハビリテーション科	医長	難波江 正 浩
内 視 鏡 セ ン タ ー	センター長	門 元 優
血 液 浄 化 セ ン タ ー	センター長	曾 我 弘 樹
認知症疾患医療センター	センター長	成 田 実
臨床精神医学研究所	所長	林 拓 二
救 急 室	室長	難波江 正 浩
医 療 安 全 室	室長	曾 我 弘 樹
感 染 管 理 室	担当医	伊 部 邦 宏
地域包括ケア病棟(3-2)	医長	難波江 正 浩
一般病棟(3-3)	医長	井 内 武 和
一般病棟(3-4)	医長	伊 部 邦 宏
療養病棟(1-3)	医長	成 田 実
精神科病棟(3-5)	医長	中 江 尊 保
精神科病棟(3-6)	医長	西 嶋 泰 洋
回復期リハビリテーション病棟(5-2)	センター長	木 築 裕 彦
薬 剤 部	部長	川 村 喜 三 郎
	科長	中 村 薫
リハビリテーション科	部長	吉 田 環

部 署	役 職	氏 名
看 護 部	顧問・地域包括統括部長	力 石 泉
	看護部長	片 山 美 穂
	看護副部長5病棟2階師長	外 川 榮 子
	看護副部長兼3病棟2階師長	加 藤 郁
	在宅療養サポートセンター長	古 川 みどり
	師長	堀 尾 素 子
	外来師長	田 中 和 子
	3病棟3階師長	西 村 美 穂
	3病棟4階師長	猪 田 緑
	3病棟5階師長	古 田 成 年
	3病棟6階師長	木 村 千 江
	1病棟3階師長	川 口 恵 子
	手術室師長	大 辻 和 代
医 療 安 全 室	血液浄化センター係長	鉾 立 優 作
	師長	田 畑 靖 代
感 染 管 理 室	師長	竹 内 淑 江
医 療 技 術 部	部長	川 村 喜 三 郎
	放射線科技師長	川 俣 佳 彦
	臨床工学科技士長	福 本 喜 之
	栄養科科長	大 仁 田 展 子
	検査科技師長	松 本 善 光
医 療 福 祉 相 談 室	室長	上 野 志 保
地 域 連 携 室	室長	上 野 志 保
診 療 情 報 管 理 室	係長	清 水 宏 美
事 務 部	部長	川 村 宏
	管理課長	宇 野 玲 子
	医事課長	堤 俊 博
	企画財務課長	山 本 保
	総務課長	岩 佐 武
准 看 護 学 院	学院長	林 拓 二
	教務主任	川 合 小 百合
訪問看護ステーション		
訪問看護ステーション	統括所長	谷 川 明 実
レインボウとよさと	所長	谷 川 明 実
レインボウはたしょう	所長	西 川 くるみ
レインボウひこね	所長	山 田 里 美
介護老人保健施設 バストラルとよさと		
	施設長	奥 田 和 美
	事務長	菅 原 幸 一
	介護科長	山 口 康 子
	リハビリ科科長	南 部 美 和
	師長	井 上 尚 子
介護事業		
	統括所長	菅 原 幸 一
	統括所長補佐	山 口 康 子
居宅介護支援センター	マックスとよさと・マックスひこね	
	統括所長	高 橋 ひとみ
居宅介護支援センター	マックスとよさと	
	所長	高 田 奈 緒
居宅介護支援センター	マックスひこね	
	所長	西 野 祐 生
彦根市デイサービスセンターさらら		
	所長	土 川 裕 人
グループホームゆうゆう		
	所長	小 島 由 香 里
彦根市地域包括支援センターさらら		
	センター長	高 橋 ひとみ
甲良町デイサービスセンター		
	センター長	山 口 康 子
デイサービスセンター けやき		
	所長	西 山 健 一
グループホームらくらく		
	所長	米 谷 利 子
認知症初期集中支援チーム オレンジファイブ		
	リーダー	菅 原 幸 一

(2019年8月現在)

12 法人部門別職員数

部 署	職 種	常勤	非常勤	合計
医療事業				
医局	医師	25	72	97
	歯科医師	1		1
薬剤部	薬剤師	8		8
	薬剤部事務	1	2	3
看護部	看護師	151	26	177
	准看護師	28	9	37
	ケアワーカー	46	8	54
眼科	視能訓練士	2		2
	助手		1	1
歯科	歯科衛生士	2		2
	助手		1	1
精神科	臨床心理士	1	1	2
放射線科	放射線技師	7		7
リハビリテーション科	理学療法士	18		18
	作業療法士	16		16
	言語聴覚士	2		2
	助手	1	2	3
検査科	臨床検査技師	2	1	3
臨床工学科	臨床工学技士	5		5
栄養科	管理栄養士	4		4
医療福祉相談室	ソーシャルワーカー	7		7
	(うち精神保健福祉士)			0
事務部	事務員	32	8	40
	工務係	3		3
	寮母	1		1
	リネン	2		2
訪問看護ステーション				
レインボウとよさと	看護師	6	2	8
	作業療法士	1	1	2
	事務員	1		1
レインボウひこね	看護師	6	2	8
	作業療法士	1		1
	事務員	1		1
レインボウはたしょう	看護師	5	2	7
	事務員		1	1
計		386	139	525

部 署	職 種	常勤	非常勤	合計
介護事業				
介護老人保健施設パストラル とよさと				
	医師	1		1
	看護師	6	2	8
	准看護師	1	2	3
	介護福祉士	32		32
	介護士	9	6	15
	管理栄養士	1		1
	ソーシャルワーカー	4		4
	理学療法士	3		3
	作業療法士	2	1	3
	事務員 他	2	6	8
居宅介護支援センター マックスとよさと				
	所長	1		1
居宅介護支援センター マックスひこね				
	介護支援専門員 他	3	1	4
彦根市デイサービスセンター きらら				
	所長	1		1
	介護福祉士 他	12	10	22
彦根市グループホーム ゆうゆう				
	所長	1		1
	介護福祉士 他	7	2	9
彦根市地域包括支援センター				
	センター長	1		1
	介護支援専門員 他	4		4
甲良町デイサービスセンター けやき				
	所長	1		1
	介護福祉士他	5	8	13
甲良町グループホーム らくらく				
	所長	1		1
	介護福祉士他	3	7	10
計		101	45	146

総職員数：671名

(2019年7月現在)

13 活動内容

〈病院関係〉

2017年 4月2日	入職式
2～4日	新規採用者オリエンテーション
4日	新採用者歓迎会
10日	准看護学院入学式
5月 11日	看護の日
24日	2017 年 T Q M活動発表会
29～31日	職員健康診断（対象者のみ）
6月 6日	会計監査
8日	愛知・犬上医師連絡会 演題 高齢者心不全と戦う 講師 循環器科医長 富田行則先生
12日	施設基準等の係る適時調査（近畿厚生局）
20日	友吉唯夫代表理事逝去
20日	豊郷認知症セミナー 2018 「フレイルと認知症」（豊栄のさと）
22日	決算役員会（京都タワーホテル）
7月5.6日	医療酸素・ガス機器取扱いと設置場所確認災害時対応研修会
7日	七夕コンサート
25日	2018 年 T Q Mキックオフ研修会
8月 3日	病院長就任式
10日	友吉唯夫先生を偲ぶ会
29日	ナースコール説明会
9月 1日	マックスとよさとのサービス休止
5.6日	感染対策研修会 演題 流行性ウイルス疾患 講師 ジャパンワクチン（株）原田忠佳氏
11日	医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き（説明会）
14日	愛知・犬上医師連絡会 演題 敗血症（Sepsis）について 講師 病院長（外科）横田徹先生
27日	互助会献血
27日	准看護学院 戴帽式
10月16日	防火災害総合避難訓練
23～25日	職員健康診断
11月13日	団体交渉
21日	医療ガス安全研修会 演題 医療ガスの取扱いと管理について
21日	中間役員会（京都タワーホテル）
29.30日	医療安全・感染防止対策研修会 演題 高めよう！気づき力、極めよう！チーム力

- 講師 医療安全管理者 田畑靖代
演題 TeamSTEPPS を活かした感染対策
講師 感染管理認定看護師 西川美紀
- 12月 3日 物故者追弔会
5日 医療機関立入検査（彦根保健所）
14日 互助会クリスマスパーティー
20.26日 一時救命処置を学ぼう
演題 つなげよう、みんなの手で！
講師 呼吸器科部長 伊部邦宏先生
- 2019年 1月 4日 互礼会
7日 管理者人権現地研修会（多賀町）
24日 愛知・犬上医師連絡会と新年会（竹平楼）
演題 精神医学からみたリーダー論
講師 京都大学附属病院 精神神経科教授 村井俊哉先生
29日 精神科病院実地指導および精神科病院入院者実地審査
2月 25日 人権学習
演題 人に優しく 人を大切に 目指そう素敵な大人
講師 彦根市人権政策課 福原重和
26日 人権学習
演題 人に優しく 人を大切に 目指そう素敵な大人
講師 彦根市人権政策課 福原重和
28日 新春学術講演会
演題 アルコール依存症の臨床
講師 三光病院院長 市川正浩先生
3月 5日 准看護学院卒業式
14日 医療安全研修会
演題 実例から学ぶ医療安全
講師 損保ジャパン日本興亜（株）船登洋一氏
19日 2018 年度 TQM 活動発表会
23日 公開セミナー
演題 認知症と介護負担について
講師 認知症センター長 成田実先生
25日 医療安全研修会
演題 実例から学ぶ医療安全
講師 損保ジャパン日本興亜（株）船登洋一氏
27日 予算役員会（京都タワーホテル）
- 〈介護施設関係〉
- 2018年 4月 1日 法人職員入職式
5月 15日 豊郷町吉田老人会出前講座（オレンジファイブ）
26日 きらら春季避難訓練
6月 14日 パストラルとよさと避難訓練
20日 友吉唯夫老健施設長逝去

23日	ゆうゆう家族会
26日	ゆうゆう春季避難訓練
7月 8日	川瀬自治会清掃活動(ゆうゆう)
28日	パストラルとよさと夏祭り
8月 4日	きらら・ゆうゆう夏祭り
11日	尼子夏祭り参加(けやき・らくらく)
21日	けやき・らくらく夏祭り
22日	パストラルとよさと地藏盆
30日	キャラバンメイト フォローアップ研修(オレンジファイブ)
9月 9日	甲良町防災避難訓練(らくらく)
19日	パストラルとよさと敬老会
20日	秦荘町街頭活動(レインボウはたしょう)
21日	秦荘町街頭活動(レインボウはたしょう)
25日	多賀町社会福祉代表者会議(オレンジファイブ)
27日	けやき・らくらく避難訓練
10月 10日	パストラルとよさと運動会
10日	豊郷町雨降野老人会出前講座(オレンジファイブ)
13日	秦荘町パネル講座(オレンジファイブ)
11月 14日	介護の日
18日	川瀬自治会清掃作業活動(ゆうゆう)
22日	パストラルとよさと避難訓練
24日	きらら・ゆうゆう秋季避難訓練
30日	近畿ブロック介護老人保健施設大会 in 大阪
12月19日	パストラルとよさと餅つき大会
2019年2月 4日	パストラルとよさと成田山来訪
16日	ケア教室(オレンジファイブ)
26日	下之郷学習会(オレンジファイブ)
3月 13日	パストラルとよさと美味食楽の会
26日	けやき・らくらく避難訓練

※毎月第2木曜日に介護者の集い「笑福の会」を開催(けやき)

※毎月第3火曜日認知症カフェ(らくらく)

4月～10月認知症カフェ

11月～3月各字に出前カフェ

※ゆうゆう、らくらくにおいては、2ヶ月に1回外部第三者委員が入った運営委員会を開催しています。

14 公益財団法人 豊郷病院 長期事業計画

(2018年度～2027年度)

テーマ step to 100

さあ 100周年に向けて!!

〈内容〉 sensibility (感度) をあげ teamwork (協調) して
energy (活力) をつけて performance (実行) する
感度をあげ協調し活力をつけて実行し 100 年に向かう

平成 30 年度は平成の最後の年で同時に、これからの時代が大きく変化する転換期になることが予測される。またそこからはじまる 10 年間となる。

ガソリンから EV、IT やロボット化、デジタル化が進みキャッシュレス時代、働き方改革や、人員不足から外国人労働者の導入や高齢者雇用の増加がすすみ、特に 2025 年（創立 100 周年）には、全人口の 18% が後期高齢者で 3 割以上が 65 歳以上となり今迄国を支えた世代が給付を受ける側となり社会保障費の膨張・税不足・生産労働人口の減少の三重苦に見まわれることになる。

一方、現在（2018 年）滋賀県では地域別で見ると医療需要の緩やかな減少地域で医療費は全国平均程度でその内、二次医療圏別の湖東地域は人口の減少地域で医療需要が減少することが予測される。そのことから、今後各病棟をどのように機能転換するかが重要なポイントになる。

また、機能転換後の後方病床は地域の基幹病院の動向に大きく左右される時代になることから、どう特色を出す病棟にしてゆくかが問われることになる。このことから、法人としては更に研鑽し経営の健全化と良質な医療を効率的に提供するため安定した財務体質の法人経営を構築する。

法人は 2025 年に創立 100 年となるが、あらためて今日迄、創立精神である「郷土愛と博愛ならびに奉仕の心」で地域の発展と法人の拡大に努力してきたが、この背景となる時代の大きな変化の転換期に医療業界も入ってゆく重要な 10 年間と認識すると共に「豊かな郷で心と体の健康を 家族のように」の基本理念のもと、今後も地域の医療・保健・福祉を支えるために医療事業・介護事業・教育研究事業の複合体組織で安定した法人経営を行い地域に貢献し発展させる。

また、前期から進めた医療事業では、地域包括ケアシステムにおいては急性期医療から回復期・慢性期の診療と精神医療の急性期・療養期、更には認知症医療も含め、介護事業では 18 事業の介護サービス事業で通所、訪問、施設、入所や入居施設を運営して、当法人グループ内連携の下で「医療から介護迄を一貫で支援」することを更に強化する。

また、第 7 次医療計画及び第 7 期介護保険事業計画にてらしながら改編・改革を加える。

長期計画書

※以下、詳細 10 項目については、掲載省略

第 7 期 中期計画

(2018年度～2020年度)

テーマ “トヨサト チャレンジ 6”

A&A【活気(activity)と 行動(action)】

法人運営

I. 法人の基本方針

平成 30 年は、第 7 次医療計画及び第 7 期介護保険事業計画、国民健康保険の都道府県化、診療報酬・介護報酬の同時改定などの制度改定と 2025 年に向けた「地域包括ケアシステム」と「地域医療構想」達成のための変革がさらに加速される年となる。

当法人の中期計画書においても、これら制度改定と合わせて、重要な期間であり、これからの法人経営を磐石なものにできるかの運命が決まる期間とも言える。

当院は 5 疾病※においては脳疾患、糖尿病、精神疾患を担い、5 事業※では、救急医療、小児医療に加え、在宅医療の関わりも持っている。中期事業計画では、法人の“基本理念”を中心に当院が持つ現有資源を効果的に提供することで、地域医療に貢献する基盤づくりの経営方針とする。

具体的なテーマは、“トヨサト チャレンジ 6”と“病床再編 6”であり、**現有体制で最大限の効果を上げる**ことが重要である。実行にあたっては、法人・病院全体が一体となって、取り組むことが必要であり、診療科、部門間の壁を取っ払い連携して協同する（Collaborate Medical Courses）ことが重大方針と考える。

※ 5 疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）

※ 5 事業（救急医療、災害時における医療、へき地の医療、周産期医療、小児医療）

イ) トヨサト チャレンジ 6

- | | |
|----------|-------------------|
| ① 質の向上 | ④ データ活用による法人・病院経営 |
| ② 生産性の向上 | ⑤ 病床・施設再編 |
| ③ 人材育成 | ⑥ 経営基盤の確立 |

※以下、詳細説明及び事業部門別・部科（課）別計画書ならびに法人の年間目標額については掲載省略

15 2019年度 経営方針

ガバナンス経営の確立

トップのリーダーシップの下で全部署・全職員が一丸（全体参画）となって
取り組む意思決定事項を実行する“しくみ”と“チェック機能”の確立
コンプライアンス（法令順守）・各種規程及びルールの遵守
第7期 中期計画「トヨサト チャレンジ 6」の推進と実行

1. 医療の質の向上

医療安全・感染防止対策の推進、患者満足度（安全・安心）向上
診療の質（クオリティ・インジケーター（QI）の設定推進）
業務改革・業務の質の向上・地域医療構想との連携
院内連携（診療科連携・多職種連携）、地域連携、認知症対応 No.1 目指す

2. 人材育成・指導教育

人材教育、指導育成、力量評価と教育計画のリンク
職員モチベーション・業務の質向上・職員の離職防止対策の取組
人権教育の更なる推進、働き方改革への対応

3. 生産性の向上・効率運営

生産性効率の向上：現有体制での最大の効果を上げる施策
各診療科・各部署の対応件数等の向上のために業務プロセスの効率化
全職員一丸となった TQM 活動の活性化と効果（数値目標の設定）
救急・時間外・紹介の積極受入（断らない）、血液浄化センター2クール実施
患者数の拡大（目標：外来 500 人／日、入院 300 人／日、入所 90 人／日）

4. 経営基盤の確立・健全経営

収益改革：入院・外来収益のアップ、前年度 2 % UP、病棟稼働率 90 % 確保
財務基盤の強化、経営企画室の役割強化（活用）
法人グループ内の連携強化による相乗効果の発揮、地域医療、介護連携
経費削減・省エネルギーの取組、消費税増税対策、適正な人員配置
医事課強化：次年度診療報酬改定に伴う情報収集及び対策
診療科：診療単価目標の設定及び単価アップ
バランススコアカード（BSC）を活用した事業計画・予算の達成
効率かつ効果的な病床運営（急性期病棟・地域包括ケア病棟・回復期リハ病棟）
精神科病棟の機能バランス再構築（急性期・一般・療養の病棟）
医療療養⇒地域包括ケア病棟（認知症病棟 1－3）への転換の確立
回復期リハビリテーション病棟入院料の基準アップ

16 地域交流 TQM 活動

2018年度発表会

2018年度のTQM活動は4年目となりました。今年度は7月25日キックオフ研修会を行い2回のヒアリングを経て2019年3月19日に発表会を開催しました。

11チームが発表を行い、見学者も含めた当日の発表会の参加者は113名となりました。

来年度もこの活動を継続して行い職員一致協力のもと更により良い病院にしていきたいと思います。

日 時：2019年3月19日（火）17:00～19:30

場 所：9病棟2階ホール

審査員：（委員長）佐藤代表理事

・横田院長 ・曾我副院長（兼診療部長）・土井副院長

・成田副院長 ・種村統括本部長 ・力石総看護部長

・川村薬剤 医療技術部長 ・菅原統括所長

・吉田リハビリテーション科部長 ・立川義博氏 ≪11名≫

司 会：寺口実加子 事務局：清水宏美

16:30～会場準備（9-2ホール）

17:10～会場受付

17:30～開会式

17:35～審査員の紹介、開会宣言

17:40～発表開始

≪発表時間：各チーム7～10分≫

19:40～閉会

	開始時間	終了時間	部 署	チーム名	発表形式	発表責任者
1	17:40	17:47	医局・CE・ 医療安全室・3-3・3-4	無駄鳴り防止隊	パワーポイント	外川 巧
2	17:50	17:57	1病棟3階	ひまわり活性隊	動 画	鹿野 千紘
3	18:00	18:07	グループホームゆうゆう	ゆうゆう家事えもん	パワーポイント	黒川喜代子・北川くに子
4	18:10	18:17	事務部	点数とるぞ！ チャレンジャー6	パワーポイント	岩佐武・横田智
5	18:20	18:27	リハビリテーション科	書類のミス減らし隊っ！！	パワーポイント	三上真・佐々木慎・ 北川真由美・宮本恭子
6	18:40	18:47	外来	電話対応改善し隊！	パワーポイント	山田 珠生
7	18:50	18:57	放射線科	X-R A Y Z A P	パワーポイント	中川 奈津美
8	19:00	19:07	薬剤部	チーム・トヨサトの退院	パワーポイント	浅井 瞬
9	19:10	19:17	パストラル	Seven Samurai	パワーポイント	林 和弥
10	19:20	19:27	5病棟2階	5年2組栄子先生 I N ひょっこりはん	パワーポイント＋ 動画＋劇	森 雄規
11	19:30	19:37	企画財務課	チョコちゃんにしかられる～!!!	パワーポイント＋ 動画	山本 洋道

各賞	部 署	チーム名
代表理事賞	パストラル	Seven Samurai
院長賞	外来	電話対応改善し隊！
立川賞	1病棟3階	ひまわり活性隊
チームワーク賞	薬剤部	チーム・トヨサトの退院
アイディア賞	5病棟2階	5年2組栄子先生 I N ひょっこりはん
未来賞	放射線科	X-R A Y Z A P
努力賞	事務部	点数とるぞ！チャレンジャー6
エントリー賞	リハビリテーション科	書類のミス減らし隊っ！！
	医局・CE・医療安全室・3-3・3-4	無駄鳴り防止隊
	グループホームゆうゆう	ゆうゆう家事えもん
	企画財務課	チョコちゃんにしかられる～!!!

17 人権教育研修

「同和問題の解決は国民的課題であるとともに企業の社会的責任であり、あらゆる差別の解消に向けて積極的に取り組み、明るい活気ある職場づくりをするため」を目的に全職員へ病院内外での人権学習の機会を提供し、積極的な参加を呼び掛ける。

平成 30 年度 人権啓発活動目標

みんなで築こう人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう違いを認め合う心～

(1) 開催 平成 30 年 4 月 16 日 (月)

平成 30 年 10 月 22 日 (月)

(2) 研修・学習内容

院内 1. 新入職員・各職場人権教育推進担当者・准看護学院学生対象人権研修会

平成 30 年 4 月 12 日 (木) 新入職員 39 人

講演 「人に優しく 人を大切に 目指そう素敵な大人」

講師 福原 重和氏 (彦根市 人権啓発指導専門員)

2. 平成 30 年度 豊郷病院人権研修会

平成 31 年 2 月 25 日 (月)・26 日 (火) 参加者 470 名

講演 職場におけるハラスメントについて

講師 福原 重和氏 (彦根市 人権啓発指導専門員)

3. 管理職対象現地視察研修会

平成 30 年 12 月 8 日 (土) 参加者 40 人

場所 あけぼのパーク多賀

内容 多賀町の地域性について ～へき地教育から学ぶ人権～

講師 小早川 隆氏 (あけぼのパーク多賀 館長)

4. 職場別人権学習

職場単位におけるビデオ学習・院外研修会参加 全職場で実施

院外 1. 研修会等に 22 回参加 参加者 26 名

主催 滋賀県

彦根市・豊郷町・甲良町・多賀町

滋賀人権啓発企業連絡会

滋賀人権啓発企業連絡会彦根ブロック

彦根・愛知・犬上職業対策連絡協議会

豊郷町人権教育推進協議会

I

医療事業の部

2018年度は「診療報酬・介護報酬の同時改定」及び2025年に向けて、より効率的・効果的な医療提供体制を構築すべき年であったことから、その方向に進め、急性期からリハビリを活用して回復期リハビリ・在宅復帰支援と在宅医療の提供支援を行い、精神科医療と併せて、入院から社会復帰できる支援を行う「地域密着型病院」を更にすすめてまいりました。

2017年5月より導入した電子カルテによって、2018年度はさらなる業務効率向上・情報の共有化・データ一元管理・医療安全の確保、退院促進・満足度向上につながり効果的に運用ができました。

上期においては、外来は患者数の減少化傾向が続きましたが、入院は各職員の努力により増収になりました。2018年1月には、精神科急性期治療病棟の安定稼働に入り、急性期及び慢性期治療をそれぞれ特化することで、新規入院患者の獲得を行いました。2018年度診療報酬改定にて、新たな入院医療の評価体系の見直しがされ、入院料について7月に急性期入院基本料5から4へランクアップしました。

8月から新院長体制になって新たな方針は、医療の質の向上、医療安全・感染対策の徹底、病院の効率運営、並びに稼働率90%確保、コスト管理意識の徹底、職員の自己健康管理の徹底、コンプライアンスの遵守、思いやりの心（丁寧な対応）、職員の和や“トヨタチャレンジ6”の実行徹底を明示され、各部署にて取り組みを致しました。

12月より病院の健全経営と更なる質の向上のため企画財務課を立ち上げ、さらには四役会（院長・副院長・看護部長・事務部長）や院長・看護部長・事務部長・経営コンサルタントとの定期ミーティングを徹底し、ガバナンス経営の構築を図り経営改善に結びつけております。

〈診 療 部 門〉

医師理念

安価な医療の提供！

患者さまには率直で心をこめて説明！

EBMにいきなりEBMから出でよ！

基本目標

- 1：的確で迅速な診断、最小限の検査と安全な治療を行う。
- 2：トータルコストは安く、在院日数を短縮し単価は維持する。
- 3：チーム医療を大切にし、お互いの職業理念を尊重する。
- 4：対面診察、説明と同意、診療情報管理を大切にする。
- 5：プライマリー・ケアー、ACLSとEBMの基本を身につける。
- 6：患者さまの権利と個人情報の保護は重大な責務と認識する。

1 診療部事業経過

平成30年度(平成30年4月～平成31年3月)の医局の人事異動は次のとおりです。採用の常勤医師は富田行則先生(平成30年4月 循環器科)、鄭裕午先生(平成30年4月 泌尿器科)、本原功二郎先生(平成30年6月 整形外科)、木築裕彦先生(平成30年7月 脳神経外科)、井内武和先生(平成30年8月 外科)、横田徹先生(平成30年8月 外科)、藤居孝文先生(平成30年10月 歯科口腔外科)と桐山畜夫先生(平成30年8月 老健施設)の8名が入職されました。

一方、退職者は藤川ひとみ先生(平成30年5月 整形外科)、友吉唯夫先生(平成30年6月 老健施設)、藤野光廣先生(平成30年7月 外科)、薦本尚慶先生(平成30年 循環器科)、山田聡先生(平成30年9月 歯科口腔外科)、安食元先生(平成30年3月 消化器内科)、白井隆光先生(平成30年3月 精神科)の7名が退職されました。

特に昨年は、永年、豊郷病院に貢献して頂きました友吉唯夫代表理事が急逝(平成30年6月20日、享年86歳)され、薦本尚慶院長も退職されました。その後、横田徹新病院長の新体制と大きな変化がありましたが、平成29年度から導入した電子カルテは徐々に浸透して、外来数も回復してきています。平成30年度の後半は、9月の災害で経営的には落ちこみましたが、各科の協力でその後は病棟の稼働率も上昇、平成29年度より増収となりました。医師の確保に関しては滋賀医科大学と京都大学を中心とした講座から常勤医、非常勤医を派遣していただいております。また以前常勤で勤務しておられた医師も診療に協力して戴いております。現在では常勤医師の当直回数は月平均2回、残業も月平均10数時間程度で推移しています。常勤医の数は少ないですが、安定した医療を地域に提供し、医師の健康を守り、やりがい確保出来るよう、働き方改革を念頭に、効率的に運営して行く予定です。

今後共患者様への心をこめた診療と地域医療ならびに病院の発展に貢献してまいりますので一層のご支援をお願い致します。

診 療 部

2 各科の事業・業績報告

循環器内科

① スタッフ

富田行則（医長）

常勤医師 1 人 非常勤医師 7 人

② 特色・症例・治療・成績・実績

前年度と比較し、外来は枠が減少した分の減少はありましたが、その代りに入院患者が増加しました。高齢心不全患者が増加の一途を辿る現状を反映していることでもあります。地域の先生方から御紹介頂けることが増えたこと、院内での他科との連携、近隣の他院との連携が深まったことによると考えており、今後ともより一層地域に貢献できるような対応をしていきたいと考えております。当院では心臓カテーテル、ペースメーカーが行えませんが、その分は慢性期をより重点的に診る病院と特徴づけることで地域に貢献できればと考えております。心臓カテーテル、ペースメーカーは行えませんが、経胸壁の心エコー、安静および運動負荷心電図、ホルター心電図、ABI、頸動脈エコーなどは行うことが可能です。

年間患者数：外来 10,133 人（2017 年度 10,434 人） 入院 4,660 人（2017 年度 2,560 人）

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

2018 年度は特記事項は別記

呼吸器内科・呼吸器外科

① スタッフ

佐藤公彦（代表理事・名誉院長） 伊部邦宏（部長） 吉橋彩子（医長）

常勤医 3 名 非常勤医 7 名

② 特色・症例・治療・成績・実績

当科は、呼吸器感染症・気管支喘息・慢性閉塞性肺疾患・びまん性肺疾患・胸部悪性腫瘍・睡眠時無呼吸症候群などあらゆる呼吸器疾患に対応できるよう取り組んでいます。

2018 年度はこれまでと同様、下記の通り様々な呼吸器疾患および呼吸器疾患だけでなく幅広い症例に対応してきました。新規入院患者数も昨年度より増加しています。また新規取り組みとして睡眠時無呼吸症候群の簡易検査や胸部 CT 検査、呼吸機能検査の 3 つの検査を 2018 年 4 月より健診部門で開始し、健診の充実化を図りました。初年度の実績は下記の通りです。

2019 年度は 7 月から敷地内全面禁煙となるということで、新規に禁煙外来の保険診療を開始する予定です。

2018 年度治療実績

年間患者数：外来 11,151 人、入院 10,848 人

外来患者数 38.2 名／日、新規入院患者数 320 名／日

気管支鏡検査 24 件／年、局麻下胸腔鏡 1 件／年、PSG 検査 52 件／年、手術 1 件／年

健診部門 SAS 簡易 PSG 検査 件／年、胸部 CT 件／年、呼吸機能検査 件／年

2018 年度入院加療病名（退院時主病名より）

呼吸器感染症		肺癌などの悪性疾患	26
肺炎（誤嚥性、気管支炎を含む）	115	COPD	31
インフルエンザ感染症	6	びまん性・間質性肺疾患	19
抗酸菌感染症	8（うち結核 4）	気管支喘息	9
レジオネラ肺炎	4	気胸（外傷性含む）	7
胸膜炎・肺膿瘍	3	気道内異物	1
アスペルギルス症	1	急性呼吸不全	1
慢性気管支炎・気管支拡張症	3	慢性呼吸不全（増悪含む）	2

呼吸器疾患以外（貧血、尿路感染症、心不全、急性心筋梗塞、急性胃腸炎、電解質異常、脳梗塞、てんかん、耳性めまい症、総胆管結石、頸髄損傷、脱水症、急性アルコール中毒、関節リウマチ、不明熱など） 69 名

（検査入院や疑い病名は省く）

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

- 2018.6.9 大津市 琵琶湖ホテル
COPD の病態と吸入療法～Implementing Best Practices～
「COPD 診療の一工夫」 座長 佐藤公彦
- 2018.6.30 大津市 ピアザ淡海
第 28 回 滋賀呼吸不全研究会
Closing Remarks 佐藤公彦
- 2018.8.30 草津市 ホテルボストンプラザ草津
Respiratory Expert Meeting in SHIGA
特別講演 『COPD の治療戦略～黄昏に叡智の輝きを～』 座長 佐藤公彦
- 2018.11.4 彦根市 彦根市立病院
第 14 回 COPD 講習会 佐藤公彦

消化器内科

① スタッフ

土井久和（副院長） 門元優（医長） 吉川邦生（健診部長兼務）

常勤医師 4人 非常勤医師 5人

② 特色・症例・治療・成績・実績

滋賀県内でも高齢者の割合が多い湖東地域において、複数の基礎疾患を持った高齢者の消化器疾患と、人間ドックによる無症候性消化器疾患治療の両面で診療を行っています。精神科を有する当院では、他病院では診療困難な精神疾患や認知症を持つ患者さんの消化器診療も可能です。日本内科学会や消化器病学会、消化器内視鏡学会の指導医と専門医が勤務し、消化器内視鏡学会認定指導施設である当科では最新の内視鏡機器を駆使して、早期癌の抗癌剤治療、肝疾患診療を行っています。早期癌切除、胆道疾患治療内視鏡では5年間で大きな偶発症はなく、ほぼ全国の大病院と同等の良好な成績を収めています。

年間患者数：外来 7,678人、入院 12,608人

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

〈講演〉

- | | |
|-------------|---|
| 2018年5月11日 | 第1回福井肝臓カンファレンス2018 招待講演 「肝疾患と門脈血栓症」 |
| 2018年5月25日 | 血液輸血細胞治療学会総会・栃木 ワークショップ3アルブミン製剤の有用性と適正使用 「肝硬変症に対するアルブミン治療の役割」 |
| 2018年6月8日 | 第194回滋賀県病院薬剤師会湖北東支部研修会 「病院における最新の肝硬変・肝癌薬物療法」 |
| 2018年6月13日 | 湖北肝疾患懇談会 「新時代の肝癌治療に対する検討」 |
| 2018年7月14日 | 滋賀消化器疾患研究会 「赤血球輸血併用アルブミン治療が奏功した肝心症候群の1例」 |
| 2018年11月22日 | 湖北&湖東エリア肝疾患講演会 「移り行く慢性肝炎治療 C型肝炎治療、そして脂肪肝の脅威」 |
| 2018年11月29日 | 抗血栓フォーラム in 東近江 「肝疾患と血栓症 脂肪肝の脅威」 |

内科（糖尿病）

① スタッフ

高木敬文（糖尿病内科部長）

常勤医師 1人 非常勤医師 2人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 6,255人、入院 1,253人

外科

① スタッフ

横田 徹（院長）、井内武和（部長）

常勤医師 2人 非常勤医師 6人

② 特色・症例・治療・成績・実績

2018年度は8月に医師の異動があり、常勤医師も1名から2名へと増えた。異動のために年度前半は手術が抑制されたが、1年を通しては、手術件数は前年度と比較して横ばいからやや増加となった。

手術件数	上部消化管	13件
	下部消化管	16件
	胆嚢	11件
	肛門疾患	16件
	ヘルニア	31件

年間疾患数：外来 3,733人、入院 2,874人、手術件数 114件

③ 論文、学会・研究発表・講演・トピックス

〈講演〉

2018年 9月 愛知犬上医師連絡会 「敗血症について」 横田 徹

泌尿器科

① スタッフ

曾我弘樹（副院長・診療部長） 鄭裕午（医長）

常勤医師2人 非常勤医師4人

② 特色・症例・治療・成績・実績

泌尿器科では、毎年前立腺癌・膀胱癌の新規患者が相当数来院され、状態に合わせ前立腺癌の腹腔鏡下手術・放射線治療以外の加療は施行しております。腹腔鏡下手術・放射線治療希望時には、滋賀医科大学へ紹介しております。その他の精巣腫瘍・腎癌・腎盂尿管癌等に関しては、できる限り当科にて体腔鏡下手術も含め加療しております。

悪性腫瘍以外では前立腺肥大症は薬物療法が中心となりますが、必要時には経尿道的手術を施行いたします。その他の排尿障害や過活動膀胱等に関しては、薬物療法・行動療法を施行しております。

尿路結石に対してはESWLと共に必要時には経尿道的手術も施行しております。

また当科では血液透析患者の導入・管理を内科医とも連携し担当しており、内シャント造設術・シャントPTAも施行しております。

年間患者数：外来 7,717人 入院 2,833人 手術件数 92件

整形外科

① スタッフ

難波江正浩（副院長 外科系統括部長） 荒木勤（部長） 本原功二郎（部長）

常勤医師 3 名、非常勤医師 7 名

② 特色・症例・治療・成績・実績

整形外科では、さまざまな外傷や疾患の保存的および手術治療を行っています。

2018 年度の手術件数は 395 件でそのうちわけは、骨折手術 107 例（うち人工骨頭置換術 20 例）、手の外科手術 137 例、関節鏡視下手術 26 例、人工関節置換術 54 例などでした。

高齢化の進むなかで、高齢者の骨折や外傷が比較的多くなっています。また滋賀医大整形外科学教室と連携をとり、当院リハビリテーション科とも協力をしながら膝関節手術や、手外科手術といった専門分野にも特化しています。

難波江副院長（整形外科専門医、学会認定運動器リハビリテーション医）と、主に膝関節外科を担当している荒木部長（整形外科専門医、学会認定スポーツ医）、本原部長（整形外科専門医、手外科専攻医）の常勤医 3 名で地域医療に貢献できるよう研鑽していくことを心がけています。

年間患者数： 外来 21,928 人 入院 10,196 人 年間手術件数： 395 件

③ 論文、学会・研究発表

〈学会発表〉

2018 / 4 / 20 第 130 回 中部日本整形外科災害外科学会 （愛媛）

ビスフォスフォネート製剤長期服用患者に生じた非定型尺骨骨折の 1 例
～自験例を含めた過去の症例報告の考察～

本原 功二郎、菊地 克久、中村 陽、森 幹士

2018 / 4 / 26 第 61 回 日本手外科学会 （東京）

ビスフォスフォネート製剤長期服用患者に生じた非定型尺骨骨折（自験例を含めた過去の症例報告の考察）

本原 功二郎、菊地 克久、中村 陽、森 幹士

2018 / 7 / 7 第 18 回 日仏整形外科学会 （大津）

小児に生じた外側二層半月板の一例

A case of double-layered meniscus occurs in child

荒木 勤、久保 充彦、藤川 ひとみ、熊谷 康佑、松末 吉隆、
今井 晋二

2018 / 10 / 12 39th SICOT Orthopaedic World Congress （Montreal, Canada）

The Outcomes and Complications of Vascularised Bone Grafts for
Avascular Necrosis of the Carpal Bone.

K. Motohara, N Kodama, Y. Takemura

2019 / 3 / 23 第 35 回 SUMS 骨・関節懇話会 (京都)
症例検討 座長
難波江 正浩

脳神経外科

① スタッフ

木築 裕彦 (部長) 平井 久雄 (湖東記念病院脳神経外科・副院長)

嶋 綾子 (湖東記念病院脳神経外科)

常勤医師 1 名 非常勤医師 2 名

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 2,387 人

③ 論文・学会・研究発表・講演・トピックス

〈論文〉

木築 裕彦

『片頭痛重症発作、片頭痛重症発作に対するアセトアミノフェン点滴静注製剤の有用性』

日本頭痛学会誌 45:160-163、2018

〈学会発表〉

木築 裕彦

『緊張型頭痛を再考してみる～現時点で分かっていることと、それに関する素朴な疑問～』

2018 年 11 月 16 日

第 46 回日本頭痛学会総会

神戸国際会議場 兵庫県 神戸市

〈講演〉

木築 裕彦

『せん妄』

2018 年 9 月 14 日

看護職員認知症対応力向上研修伝達講習会

滋賀県看護協会 滋賀県 草津市

木築 裕彦

『てんかんの診断および治療について』

2018 年 10 月 19 日

エーザイ株式会社 MR 実践研修

エーザイ株式会社滋賀アクセスポイント 滋賀県 草津市

木築 裕彦

『虚血性脳血管障害の再発予防を再考する』

2019 年 1 月 17 日

第 4 回 滋賀県薬剤師会研修会

ライズヴィル都賀山 滋賀県 守山市

④ その他特記事項

脳神経外科では火曜日、金曜日の外来で、頭痛専門外来を開設しております。お困りの頭痛症例がございましたら御一報賜りましたら幸いに存じます。

眼科

① スタッフ

富田靖之（部長）

常勤医師 1 名 非常勤医師 5 名

② 特色・症例・治療・成績・実績

当科は白内障手術治療に重点を置いており、他院では手術できないような難症例も積極的に受け入れています。今年度も昨年度に引き続き 300 件を超えるペースで手術を行っております。小児の診療にも力を入れており、弱視治療で通院中の小児の数も年々増加傾向にあります。

年間患者数：外来 9,437 人、入院 1,111 人、手術件数 336 件

年間健診数：1,847 人

③ 研究発表

第 247 回滋賀眼科症例検討会

2019 年 3 月 14 日 滋賀医科大学 臨床講義棟

白内障難症例の手術成績の検討

富田靖之

眼科検査

平成 30 年度

項 目	外 来 (回数)	入 院 (回数)	合 計
精密眼底検査（片側）	374	26	400
精密眼底検査（両側）	569	231	800
眼底カメラ撮影（蛍光眼底法）	10	1	11
眼底カメラ（デジタル）	44	0	44
角膜内皮細胞顕微鏡検査	404	4	408
細隙燈顕微鏡検査（前眼部及び後眼部）	1,971	16	1,987
網膜電位図（ERG）	1	0	1
精密視野検査（両側）	4	0	4
動的量的視野検査（片側）	207	0	207
動的量的視野検査（両側）	5	0	5
情的量的視野検査（片側）	1,058	5	1,063
屈折検査（6歳未満）	21	0	21
屈折検査	1,020	93	1,113
屈折検査（6歳未満）（薬剤負荷）	15	0	15
屈折検査（1以外）（薬剤負荷）	5	0	5
調節検査	13	0	13
矯正視力 1（眼鏡処方箋の交付を含む）	152	2	154
矯正視力 2	5,577	132	5,709
精密眼圧測定	5,720	142	5,862
角膜曲率半径計測	1,404	10	1,414
眼筋機能精密検査	60	0	60
（乳）眼筋機能精密検査	1	0	1
（幼）眼筋機能精密検査	1	0	1
眼球突出度測定	2	0	2
両眼視機能精密検査	12	1	13
細隙燈顕微鏡検査（前眼部）	5,011	288	5,299
（乳）細隙燈顕微鏡検査（前眼部）	6	0	6
（幼）細隙燈顕微鏡検査（前眼部）	12	0	12
細隙燈顕微鏡検査（前眼部）後生体染色再検	490	7	497
（幼）細隙燈顕微鏡検査（前眼部）後生体染色再検	1	0	1
前房隅角検査	5	0	5
色覚検査（1以外）	2	0	2
色覚検査（色相配列検査）	3	0	3
涙液分泌機能検査	1	1	2
涙管通水・通色素検査	220	2	222
眼底三次元画像解析	937	3	940
中心フリッカー試験	49	1	50
合 計	25,387	965	26,352

(統計：医事課)

耳鼻咽喉科

① スタッフ

非常勤医師 3 人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 3,965 人 年間健診数： 2,273 人

耳鼻咽喉科検査

項 目	外 来 (回数)	入 院 (回数)	合 計
標準純音聴力検査	123	5	128
簡易聴力検査（その他）	72	0	72
平衡機能検査（標準検査）	112	2	114
平衡機能（その他）	49	3	52
気道純音聴力検査	243	10	253
標準語音聴力検査	3	1	4
静脈性嗅覚検査	3	1	4
チンパノメトリー	15	0	15
合 計	620	22	642

（統計：医事課）

小児科

① スタッフ

三村由卯（部長）

常勤医師 1 人 非常勤医師 2 人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 2,362 人 年間健診数：39 人

皮膚科

① スタッフ

非常勤医師 2 人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 3,602 人

婦人科

① スタッフ

非常勤医師 2 人

② 特色・症例・治療・成績・実績

年間患者数：外来 530 人

脳神経内科

① スタッフ

非常勤医師 1 人

② 特色・症例・治療・成績・実績

神経内科は近年の高齢化社会とともに神経内科に対する社会的ニーズも高まっていることから、地域医療をさらに充実・発展すべく平成 28 年 9 月より滋賀医科大学の全面的バックアップにより新規開設しました。

脳や脊髄、神経、筋肉の病気をみる内科で専門医師が問診を神経学的な診察、画像検査や電気生理学的を駆使してその症状の原因となる体の場所や病態を診断いたします。

特に頭痛、しびれやめまい、筋力低下、歩行困難、ふらつき、けいれん、むせ、しゃべりにくい、二重に見える、勝手に体が動く、もの忘れなどの症状の方が対象です。

年間患者数：外来 553 人（但し土曜日、月間 2 回）

精神科

① スタッフ

林拓二（顧問）、成田実（部長）、中江尊保（部長）白井隆光（医長）、堀川健志（医長）、岡村恭子（医長）
常勤医師 6 名（指定医 3 名、専門医 1 名、指導医 1 名）、非常勤医師 5 名。

② 特色・症例・治療・成績・実績

精神科の医師スタッフは常勤医師 6 名非常勤医師 5 名であり、前年とメンバーは変わらない。当精神科は、滋賀県湖東地域における中核的病院として多様な患者を診る必要があり、外来・病棟とも内因性精神病を中心に老人疾患、アルコール、思春期、さらに精神遅滞の患者も受け入れ、措置入院も 30 年度は 3 名を引き受けている。

精神科病棟は、平成 14 年竣工の新病棟の 5 階と 6 階の 2 フロアを占め、3-6 病棟は入院病棟（閉鎖病棟）であり、保護室 4 床と観察室 2 床を備え、3-5 病棟は療養病棟（一部開放の閉鎖病棟）で、いずれも男女混合であり、定床はそれぞれ 60 床の計 120 床であるが、100 床前後（30 年度平均：

97名)で運用されている。しかし、近年の精神科医療の趨勢を踏まえて、平成30年1月より入院病棟は精神科急性期治療病棟として運用し、近隣の精神科クリニックや病院との連携を深めながら新規入院患者を確保し、救急を含め地域の精神医療に果たすべき役割を引き受けている。

治療としては通常精神科治療のほかに、修正型電気けいれん療法(30年度:3名、30件)を施行、難治性の統合失調症の治療剤であるクロザリルも使用している(30年度4名)。

精神科の外来は3診体制であり、一日平均の外来患者数は68名であった。当科は医療観察法指定医療機関として通院患者の診療(2名)を担当し、大津地方検察庁長浜一彦根支部管内の刑事精神鑑定も随時引き受けている。

年間患者数：外来 18,230 人 入院：35,751 人 手術件数：33 件

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

1. 林 拓二：「お客様は神様です」豊郷精神医学研究所年報、第8巻、1-2, 2018
2. 林 拓二：長期の引き籠もりを経た統合失調症圏の症例について。豊郷精神医学研究所年報、第8巻、8-16, 2018
3. 林 拓二：精神医療と司法との挟間。豊郷精神医学研究所年報、第8巻、21-26, 2018
4. 林 拓二：日本の自殺の時代性と季節性について—厚生労働省の人口動態統計から—。豊郷精神医学研究所年報、第8巻、27-33, 2018
5. 林 拓二：精神病発症の季節性について—豊郷病院精神科病棟への入院患者数の月別推移から—。豊郷精神医学研究所年報、第8巻、34-42, 2018
6. 林 拓二：5月病。豊郷精神医学研究所年報、第8巻、74-75, 2018
7. 林 拓二：やはりえび天が一番。豊郷精神医学研究所年報、第8巻、74-75, 2018
8. 白井隆光、村井俊哉、伊藤芳久：双極性障害。豊郷精神医学研究所年報、第8巻、43-47, 2018
9. 白井隆光：睡眠についてもう一度考えてみませんか。豊郷精神医学研究所年報、第8巻、17-20, 2018
10. 義村さや香：自閉スペクトラム障害と脅迫症状。豊郷精神医学研究所年報、第8巻、17-20, 2018
11. 義村さや香：精神疾患における情動的表情認知に関する研究。豊郷精神医学研究所年報、第8巻、77-82, 2018
12. 木津賢太：解離に関する精神疾患。豊郷精神医学研究所年報、第8巻、77-82, 2018
13. 中神由香子、杉原玄一、藤本岳、川端美智子、吉原雄二郎、稲葉啓通、岩田和彦、白井隆光、林拓二、佐藤晋一、蓑島豪智、近藤誉之、松本理器、池田昭夫、村井俊哉：統合失調症における抗 N-methyl-D-aspartate receptor (NMDA-R) 抗体について。第114回日本精神神経学会学術総会、2018年6月

歯科口腔外科

① スタッフ

藤居 孝文（医員）

常勤医師 1 名 非常勤医師 3 名 歯科衛生士 2 名 歯科助手 1 名

② 特色・症例・治療・成績・実績

当科では、智歯（親知らず）の抜歯や炎症性疾患（化膿、腫れもの）、顎関節症、外傷（歯の破折・脱臼、裂傷、骨折）、腫瘍性疾患や全身疾患があり、病院歯科での治療が必要である患者さんを中心に治療を行っております。また、睡眠時無呼吸症候群と診断され、マウスピースでの治療が必要である方への口腔内装置作製や、脳血管障害などで摂食・嚥下（食べて、飲み込む）が困難である方に対し、嚥下リハビリテーションチームが行う摂食機能療法を行っております。

年間患者数：外来 6,816 名 入院 117 名 手術件数 110 例

③ 論文・学会・研究発表・講演

〈論文〉

「当科における下顎智歯抜去術症例の臨床統計学的検討 CT 画像を用いた当科の分類」

藤居 孝文、森 俊雄、渡邊 裕加、野井 将大、足立 健、越沼 伸也、町田 好聡
山本 学

滋賀医大誌 31（1）, 34-38, 2018

〈学会〉

「当科における下顎智歯抜去術症例の臨床統計学的検討」

藤居 孝文、森 俊雄、野井 将大、足立 健、越沼 伸也、町田 好聡、山本 学

第 70 回近畿北陸地区歯科医学大会 2018.10.7

麻酔科

① スタッフ

小島修（部長）

常勤医師 1 人 非常勤医師 1 人

② 特色・症例・治療・成績・実績

麻酔科医は、手術や検査に伴う痛みを感じなくするのみではなく、全身状態を安全に保つ役割を担っております。

麻酔科専門医（指導医）が、麻酔の概要の説明、診察をさせていただき、より安全で適切な麻酔を行っています。

年間麻酔件数：全麻 351 件、腰麻 134 件、局麻他 593 件 合計 1,078 件

麻酔別件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全麻	33	30	18	22	27	21	34	33	34	42	36	21	351
腰麻	8	7	10	10	14	10	13	13	12	15	12	10	134
局麻	45	46	44	47	46	43	50	48	46	47	57	53	572
その他	1	3		1	2	1	3	1	1	3	1	4	21
計	87	86	72	80	89	75	100	95	93	107	106	88	1,078

(統計：手術室)

リハビリテーション科

① スタッフ

難波江正浩（副院長・医師） 吉田環（部長）

理学療法士 22 人

(一般科 8 人、回復期 6 人、訪問リハビリ 3 人、老健 4 人、訪問看護 1 人)

作業療法士 17 人

(一般科 6 人、回復期 6 人、精神 2 人、老健 1 人、訪問看護 1 人、パート 1 人)

言語聴覚士

(一般科 1 人、回復期 1 人)

② 特色・症例・治療・成績・実績

リハビリテーション科は一般科外来、入院、地域包括ケア病棟、回復期リハ病棟、精神科入院、介護保険分野では訪問リハビリテーション、介護老人保健施設での入所・デイケアなど多岐にわたるリハビリテーション体制を整えサービスを提供しております。

また 2018 年度 5 月より精神作業療法の外来を開始し、より様々な場面でのリハビリテーションが提供できるよう考えております。

外来リハビリテーションの特徴としては、腱板損傷をはじめとする、肩のリハビリテーション。またスポーツ外傷後、COPD、上肢の骨折、手の手術後のハンドセラピーなどを実施。

回復期リハ病棟は地域連携パスにて、大腿骨頸部骨折、脳卒中のリハビリテーションを中心に実施。

精神作業療法は作業を通して自分の特徴に気付いて頂くことを目標に介入している。具体的には箱づくり法検査を実施し患者さんにフィードバックしている。また病棟活動が中心にならないよう適宜、病棟外のプログラムを導入している。

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

日 時：2018 年 11 月 4 日

場 所：彦根市立病院

第 14 回滋賀 COPD 管理講習会 講師

日 時：2018 年 9 月 29 日～ 30 日

場 所：門真市市民文化会館

認知神経リハビリテーション学会 発表

題 目：頭骨頭骨折に伴う固定後に身体所有感の変容を窺う記述をした症例

発表者：日下部洋平

日 時：2019年12月15日（土）

場 所：コラボしが21

題 目：読売健康講座

「その肩の痛み、本当に五十肩？腱板断裂を見逃さない！

～運動療法・リハビリテーション編～」

発表者：磯寄 浩司

④ 研修会・学会参加状況

日 時：2019年2月21日～22日

場 所：千葉県

回復期リハビリテーション学会 第33回研究大会 参加2名

療法別延患者数（病院）

延患者数			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
理学療法	脳血管疾患等	入院	356	371	433	390	379	276	375	504	416	409	337	406	4,652
		外来	18	19	20	26	28	22	25	23	24	20	22	26	273
		計	374	390	453	416	407	298	400	527	440	429	359	432	4,925
	運動器	入院	873	862	796	913	1,087	1,007	1,081	870	936	916	1,028	940	11,309
		外来	331	321	317	314	356	289	397	375	320	332	326	336	4,014
		計	1,204	1,183	1,113	1,227	1,443	1,296	1,478	1,245	1,256	1,248	1,354	1,276	15,323
	呼吸器	入院	65	57	34	32	84	83	52	47	46	34	22	13	569
		外来	44	51	35	37	37	37	45	37	31	33	32	32	451
		計	109	108	69	69	121	120	97	84	77	67	54	45	1,020
	合計	入院	1,294	1,290	1,263	1,335	1,550	1,366	1,508	1,421	1,398	1,359	1,387	1,359	16,530
		外来	393	391	372	377	421	348	467	435	375	385	380	394	4,738
		計	1,687	1,681	1,635	1,712	1,971	1,714	1,975	1,856	1,773	1,744	1,767	1,753	21,268
作業療法	脳血管疾患等	入院	352	386	444	414	427	274	376	512	430	392	338	413	4,758
		外来	6	6	8	15	15	13	12	12	5	3	6	5	106
		計	358	392	452	429	442	287	388	524	435	395	344	418	4,864
	運動器	入院	644	687	654	743	1,009	858	894	771	766	771	787	715	9,299
		外来	122	140	138	147	111	66	77	100	102	97	100	127	1,327
		計	766	827	792	890	1,120	924	971	871	868	868	887	842	10,626
	合計	入院	996	1,073	1,098	1,157	1,436	1,132	1,270	1,283	1,196	1,163	1,125	1,128	14,057
		外来	128	146	146	162	126	79	89	112	107	100	106	132	1,433
		計	1,124	1,219	1,244	1,319	1,562	1,211	1,359	1,395	1,303	1,263	1,231	1,260	15,490
言語療法	脳血管疾患等	入院	79	101	94	72	77	43	98	125	104	91	95	102	1,081
		外来	1	1	3	6	4	4	7	6	2	0	1	0	35
		計	80	102	97	78	81	47	105	131	106	91	96	102	1,116
	合計	入院	79	101	94	72	77	43	98	125	104	91	95	102	1,081
		外来	1	1	3	6	4	4	7	6	2	0	1	0	35
		計	80	102	97	78	81	47	105	131	106	91	96	102	1,116
精神科作業療法			525	539	542	563	602	517	552	565	558	405	553	579	6,500
訪問リハビリテーション			412	454	522	496	504	426	480	462	386	362	338	368	5,210

介護老人保健施設

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
延 患 者 数	1,331	1,379	1,384	1,358	1,387	1,091	1,281	1,314	1,208	1,249	1,209	1,351	15,542

(統計：リハビリテーション科)

放射線科

① スタッフ

放射線科医長 土井 久和

医長 1 名（常勤）

放射線科医 8 名（非常勤・内 6 名遠隔）

診療放射線技師 7 名（常勤）

看護師 1 名（非常勤）

② 特色・症例・治療・成績・実績

〈研修参加実績〉

2018 年 4 月 6 日 第 57 回滋賀 MRI 研究会（クサツエストピアホテル）

2018 年 6 月 30 日 第 22 回大阪キャノン MRI ユーザーズミーティング（大阪）

2018 年 11 月 2 日 （公社）滋賀県放射線技師会 MR 研究会（フェリエ南草津）

2018 年 11 月 7 日 （公社）滋賀県放射線技師会 湖東支部研修会（友仁山崎病院）

2018 年 11 月 8 日 （公社）滋賀県放射線技師会 第 14 回救急画像研究会
（草津市立まちづくりセンター）

2019 年 1 月 26 日 第 23 回大阪キャノン MRI ユーザーズミーティング（大阪）

放射線撮影人数

【科別】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
循環器科	115	110	95	108	108	67	77	100	124	110	120	135	1,269
消化器科	54	34	40	32	39	32	41	51	36	44	38	45	486
心療内科	2	0	1	0	1	11	3	2	3	0	0	0	23
一般内科	35	24	30	28	32	32	40	26	17	35	21	27	347
人工透析	53	54	55	51	49	51	54	55	51	52	56	59	640
呼吸器科	359	402	347	328	334	294	399	315	329	408	327	346	4,188
外科	37	41	46	25	56	49	66	85	57	51	48	65	626
泌尿器科	34	57	42	53	36	36	45	40	40	52	41	47	523
皮膚科	1	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	5
脳神経外科	4	3	7	8	9	2	9	7	6	8	12	7	82
整形外科	520	577	558	577	511	512	586	548	545	548	518	601	6,601
小児科	3	10	33	7	11	5	3	5	5	3	3	3	91
婦人科	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	4
耳鼻咽喉科	2	5	5	3	3	0	4	5	2	1	4	3	37
眼科	15	17	19	22	13	20	18	21	16	24	16	23	224
歯科口腔外科	111	101	110	133	130	101	107	133	122	112	123	107	1,390
精神科	14	19	17	12	15	16	21	26	22	19	11	11	203
オアシス	1	0	3	1	1	0	1	1	1	0	1	0	10
神経内科	3	1	0	0	1	1	0	2	1	1	0	1	11
健診	129	142	153	136	129	150	180	226	127	111	129	106	1,718
老健科	1	5	2	2	1	0	23	4	2	4	4	3	51
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
院外	31	28	28	13	1	7	17	14	3	10	6	4	162
合計	1,524	1,631	1,592	1,540	1,481	1,386	1,695	1,666	1,510	1,593	1,478	1,595	18,691

（統計：放射線科）

【部位別】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭部	単 純	5	7	14	6	14	3	13	7	8	6	5	5	93
	造影	脳血管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		頭部造影	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	4
	パ ノ ラ マ	59	60	53	65	74	62	59	60	61	57	61	54	725
	デ ン タ ル	57	41	60	64	59	42	57	81	63	63	68	60	715
	そ の 他	3	1	0	0	6	1	1	1	0	0	1	1	15
	計	125	109	128	135	153	108	130	150	132	126	136	120	1,552
胸部	単 純	774	819	797	752	757	662	848	828	785	863	757	804	9,446
	造影	血 管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	8	4	1	4	3	3	2	8	5	5	3	51
	乳 腺	24	24	42	29	25	28	41	28	24	17	30	45	357
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	806	847	840	785	785	693	891	864	814	885	792	852	9,854
腹部	単 純	145	175	151	143	136	161	165	187	179	151	168	162	1,923
	造影	消化管	19	22	20	17	11	32	31	34	23	24	13	270
		尿 路	2	2	5	3	2	2	5	1	5	2	3	37
		血 管	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		その他	1	0	3	3	3	1	1	4	2	0	1	19
	そ の 他	0	1	4	3	1	2	1	0	1	2	3	2	20
	計	167	200	183	169	153	198	203	226	210	182	198	180	2,269
脊椎四肢等	単 純	490	525	487	560	457	443	513	489	470	467	457	551	5,909
	造影	血 管	2	6	2	0	0	0	4	2	0	12	8	36
		その他	1	5	5	1	1	2	3	8	5	4	8	51
	骨 塩 定 量	50	44	55	39	20	24	38	34	18	28	29	24	403
	そ の 他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	543	580	549	600	478	469	554	535	495	503	502	591	6,399
	ポ ー タ ブ ル	82	86	70	62	90	84	100	109	61	70	59	43	916
	外 科 イ メ ー ジ	0	3	0	1	0	1	3	1	1	3	1	4	18
	そ の 他	0	1	0	0	1	0	2	2	1	1	1	1	10
	合 計	1,723	1,826	1,770	1,752	1,660	1,553	1,883	1,887	1,714	1,770	1,689	1,791	21,018

(統計：放射線科)

CT 人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
循環器科	27	25	29	28	14	22	27	24	30	21	27	33	307
消化器科	103	102	91	104	115	78	94	100	85	84	95	105	1,156
心療内科	0	0	0	1	0	1	1	3	0	0	0	0	6
一般内科	26	23	43	42	49	32	38	20	26	40	33	29	401
人工透析	3	3	4	4	3	4	5	4	6	5	5	5	51
呼吸器科	144	158	157	122	149	122	159	143	177	158	136	157	1,782
外科	29	19	36	18	40	35	36	33	45	37	46	45	419
泌尿器科	21	19	20	27	29	24	23	21	20	26	35	23	288
皮膚科	1	1	1	0	0	0	1	1	0	1	0	0	6
脳神経外科	19	9	15	16	15	16	19	12	14	24	16	15	190
整形外科	45	25	36	30	36	36	32	57	28	52	32	28	437
小児科	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	2
婦人科	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	4
耳鼻咽喉科	7	8	4	9	8	4	6	5	2	7	3	8	71
眼科	0	0	1	1	2	0	1	3	0	1	0	0	9
歯科口腔外科	18	22	16	27	13	18	17	13	17	10	13	16	200
精神科	18	18	16	27	29	20	29	31	24	20	22	14	268
オアシス	10	11	10	12	13	16	11	13	14	29	24	22	185
神経内科	4	0	3	3	0	4	1	0	4	1	0	2	22
健診	0	5	2	0	1	1	1	2	1	3	4	0	20
老健科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
院外	31	30	42	39	24	22	28	31	26	18	35	37	363
合計	507	478	526	510	540	456	530	517	520	537	526	541	6,188

(統計：放射線科)

MRI人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
循環器科	2	3	2	2	1	5	2	3	2	2	2	2	28
消化器科	17	10	16	10	9	12	7	8	11	12	8	11	131
心療内科	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
一般内科	1	4	4	0	3	1	4	1	1	0	1	1	21
人工透析	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	3
呼吸器科	4	5	6	5	9	5	5	8	1	5	1	6	60
外科	1	0	0	0	4	2	3	3	3	1	2	3	22
泌尿器科	5	5	2	5	4	3	5	4	6	4	5	6	54
皮膚科	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	3
脳神経外科	24	31	25	25	42	28	34	17	23	19	26	29	323
整形外科	58	47	55	57	49	38	52	54	58	55	47	54	624
小児科	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	2	1	7
婦人科	1	0	2	1	1	0	2	2	1	0	1	2	13
耳鼻咽喉科	0	4	1	2	2	6	1	1	3	1	6	1	28
眼科	1	0	1	1	0	0	2	1	1	3	0	0	10
歯科口腔外科	3	1	3	3	5	1	1	0	0	1	3	1	22
精神科	12	10	5	10	6	8	9	4	11	9	1	1	86
オアシス	6	4	2	2	0	2	0	1	0	2	3	4	26
神経内科	6	1	7	9	3	5	6	3	2	6	5	8	61
健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
院外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	141	127	131	133	139	117	137	111	123	120	116	131	1,526

(統計：放射線科)

部位別 【CT】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭	Plain	100	95	96	135	115	104	108	112	112	121	114	104	1,316
	CE	1	0	1	0	0	0	1	1	0	1	0	1	6
頸	Plain+CE	0	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	5
	(画像処理)	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
部	計	101	96	97	135	117	106	109	113	113	123	114	105	1,329
	Plain	152	163	177	129	161	135	165	154	187	166	153	180	1,922
胸	CE	7	2	6	13	1	6	10	6	5	1	7	4	68
	Plain+CE	1	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	5
部	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	160	165	183	143	163	142	175	160	192	168	160	184	1,995
腹	Plain	159	160	155	148	180	132	151	149	151	146	160	158	1,849
	CE	5	6	5	6	11	5	6	4	9	4	6	10	77
部	Plain+CE	27	22	45	29	33	29	27	30	22	26	38	35	363
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
部	計	191	188	205	183	224	166	184	183	182	176	204	203	2,289
脊	Plain	7	1	6	3	3	4	9	6	6	6	7	5	63
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
椎	Plain+CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
部	計	7	1	6	3	3	4	9	6	6	6	7	5	63
四肢・	Plain	34	18	25	22	17	22	30	43	14	38	26	24	313
	CE	2	0	4	4	4	2	2	3	2	1	2	0	26
関節等	Plain+CE	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
部	計	36	19	29	26	21	24	32	46	16	39	28	24	340
その他	Plain	17	14	12	26	19	19	24	16	15	30	15	22	229
	CE	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
部	Plain+CE	0	1	0	1	1	0	1	2	0	1	1	1	9
	(画像処理)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
部	計	17	15	13	27	20	20	25	18	15	31	16	23	240
合	計	512	484	533	517	548	462	534	526	524	543	529	544	6,256

(統計：放射線科) ※画像処理には、3D、CTA、AngioCT、MPR、mip等の処理。

部位別 【MRI】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
頭	Plain	26	25	19	26	18	17	24	16	20	14	19	20	244
	CE	0	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	5
頸	Plain+CE	1	2	5	1	4	2	1	1	3	1	1	4	26
	(MRA)	40	49	36	47	51	56	47	32	39	44	42	43	526
部	計	67	77	60	74	73	75	74	51	62	59	62	67	801
胸	Plain	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	4
	CE	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
部	Plain+CE	0	0	0	0	2	2	1	0	0	0	0	0	5
	(MRA)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
部	計	2	0	0	0	2	2	1	0	0	0	2	1	10
腹	Plain	7	10	6	7	13	14	17	14	18	12	14	16	148
	CE	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
部	Plain+CE	3	0	1	2	1	1	0	1	2	3	0	0	14
	(MRA)	12	9	15	4	1	3	1	0	0	1	0	0	46
部	計	22	19	22	13	15	19	18	15	20	16	14	16	209
脊	Plain	79	40	65	73	73	45	78	68	55	55	55	76	762
	CE	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
椎	Plain+CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	(MRA)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
部	計	79	40	65	74	73	45	78	68	55	55	55	77	764
四肢・	Plain	32	47	51	38	33	32	45	47	45	49	37	42	498
	CE	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
関節等	Plain+CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(MRA)	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
部	計	33	47	51	38	34	32	45	47	45	49	38	42	501
その他	Plain	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
部	Plain+CE	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(MRA) 25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
部	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合	計	203	183	198	199	197	173	216	181	182	179	171	203	2,285

(統計：放射線科) ※MRAは腹部の場合にはMRCPを含む。

機能別病棟

- (1) 「地域包括システム」において当院の役割として急性期からリハビリを活用して回復期リハビリ・在宅復帰支援と在宅医療の提供支援を行い精神科医療と併せて長期入院から社会復帰出来る支援を行う「地域密着型病院」を目指しました。
- (2) 電子カルテが軌道に乗り更に業務効率向上・情報の共有化・データの一元管理・医療安全の確保・退院促進・満足度向上につながり効果的に運営が出来ました。
- (3) 精神科急性期病棟も安定稼働を行い急性期から慢性期治療をそれぞれ特化し新規患者の獲得と退院支援が出来ました。
- (4) 新たな病棟の方針は、医療の質の向上、医療安全・感染対策の徹底、効率運営、稼働率 90% 確保等の実行をしました。
- (5) 療養病棟については来期より初期認知症対応の地域包括ケア病棟へ再編すべく準備に入りました。

平成 30 年度実績

病 棟	定 数(人)	年間延人数(人)	一日当り(人)	稼働率(%)
一般病棟	186	57,784	158	85
3-3	51	16,479	45	89
3-4	54	16,118	44	82
3-2	51	14,858	41	80
5-2	30	10,329	28	94
療養病棟	32	9,881	27	85
精神病棟	120	35,751	98	82
精神急性期	60	17,502	48	80
精神療養	60	18,249	50	83
合 計	338	103,416	283	84

臨床検査科

① スタッフ

高木敬文（医長）

臨床検査技師 5 名

（常勤 2 名、メディック 3 名）

② 特色・症例・治療・成績・実績

平成30年度における検査件数は、検体検査が528,772件（97.4%）生理検査が8,048件（94.9%）で検体検査は前年度比2.6%減、生理検査は前年度比5.1%減となった。検体検査では生化学検査Ⅰが前年度比4.2%と減少したのが影響したと思われる。他の検査は全てにおいて僅かではあるが増加した。生理検査ではホルター心電図検査・頸部超音波検査・心臓超音波検査が前年度比18.0～53.9%と減少したことが要因と思われる。他の検査は前年度並みまたは増加した。特に肺機能検査22.3%、下肢血管超音波検査17.7%と顕著な増加がみられた。2月に無呼吸検査測定機器の老朽化、患者様負担軽減のため更新をしました。また患者様をお待たせする事無く、臨床に迅速に結果を報告するために

緊急検体検査30分以内に報告、脳波・Holter心電図・心臓エコー・下肢エコー・腹部エコーも時間のゆるす限り予約なし（ほぼ100％）で即時対応しタイムリーに結果を報告している。また平成20年度より看護部から要望があったベッドサイド心電図は今年度は全体の10.4％（443件）であった。

検査科の基本理念である「迅速・正確・丁寧な臨床検査」を保証するために日々の内部精度管理はもとより、外部精度管理として日本医師会、日本臨床検査技師会、滋賀県臨床検査技師会サーベイに毎年参加している。滋賀県技師会の精度管理では全ての項目でA評価を、また日本医師会の精度管理で今年は100.0点と高評価が得られた。（本精度管理は検査のレベルを計る指標となっている。）

最後に研修会への参加も積極的に進めており、各種学会・研修会への参加、院内での勉強会・講習会等の開催を行い、日常業務における検査レベルの向上を行っている。

生理検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心電図	399	384	408	391	375	360	406	426	361	370	368	365	4,613
負荷心電図	3	8	15	1	2	0	1	3	1	0	1	1	36
ホルター心電図	23	15	10	5	7	7	13	12	6	8	3	16	125
肺気量分画/FVカーブ	59	75	81	81	62	82	81	81	84	92	79	98	955
フローボリュームカーブ	15	22	24	30	36	22	25	36	30	5	0	0	245
脳波 12 L	10	6	14	6	4	7	10	8	13	8	9	11	106
脳波 12 L 負荷	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2
終夜睡眠ポリグラフ	7	7	7	2	5	3	4	3	5	4	4	2	53
血管伸展性検査	14	25	14	18	29	11	24	17	12	15	21	21	221
心エコーグラム	82	86	87	63	58	52	88	66	85	76	62	62	867
腹部エコーグラム	42	49	54	64	61	53	68	65	58	57	52	55	678
頸動脈エコーグラム	10	7	11	3	3	3	4	2	7	2	4	10	66
下肢血管エコーグラム	6	4	5	5	10	0	1	9	7	4	5	4	60
内臓脂肪検査	2	1	1	2	2	1	2	3	2	1	2	2	21
計	672	689	731	671	654	602	727	731	672	642	610	647	8,048

月別ポータブル心電図件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計	35	41	44	37	39	33	48	42	17	48	33	26	443

（統計：検査科）

検体検査件数 【院内】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般検査（尿・便）	865	1,092	997	962	864	786	1,378	946	861	875	817	803	11,246
血液学検査	2,462	2,546	2,462	2,561	2,667	2,250	2,687	2,614	2,505	2,515	2,436	2,502	30,207
生化学検査Ⅰ	25,752	27,283	25,587	26,723	28,263	23,780	28,425	27,274	25,499	25,416	24,547	25,348	313,897
生化学検査Ⅱ	464	465	487	467	494	389	503	481	454	490	461	469	5,624
免疫学検査	1,156	1,356	1,246	1,305	1,418	1,154	1,362	1,404	1,367	1,666	1,401	1,254	16,089
微生物学検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
病理学検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
血中薬物検査	28	34	18	45	37	24	28	28	30	28	25	26	351
輸血検査	25	36	26	42	43	27	45	42	33	52	39	32	442

【院外】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般検査（尿・便）	604	598	629	559	634	563	711	716	536	507	548	464	7,069
血液学検査	1,772	1,894	1,704	1,844	1,863	1,879	1,993	1,944	1,780	1,888	1,760	1,728	22,049
生化学検査Ⅰ	7,090	7,438	6,876	7,229	7,404	8,284	7,532	6,834	6,396	6,708	6,485	7,661	85,937
生化学検査Ⅱ	868	954	881	1,047	985	811	894	885	802	861	795	874	10,657
免疫学検査	967	861	843	813	828	900	986	858	787	907	880	844	10,474
微生物学検査	1,034	999	1,042	855	1,067	980	1,039	1,068	990	1,074	919	1,041	12,108
病理学検査	152	179	169	164	166	135	175	175	151	151	141	173	1,931
血中薬物検査	35	32	36	39	38	115	55	41	44	36	27	114	612
輸血検査	0	2	0	1	0	1	1	3	1	0	1	1	11
機能検査	6	2	8	4	6	8	2	6	5	8	11	2	68

注) 検体検査は1項目1件 輸血検査は交叉試験でIパック1件
 (統計：株式会社メディック)

医療安全室

曾我 弘樹（副院長・室長）

① 医療安全管理体制の確立を図り、安全な医療の遂行を徹底するため、個人の責任追及ではなく医療安全管理システムの問題として捉え、医療安全室のメンバーが中心に組織横断的に取り組む。

② 活動内容

- ・インシデント・アクシデント集計、分析
- ・医療安全に関わるラウンドの実施
- ・医療安全に関する啓発と周知
- ・医療安全に関する教育・指導
- ・医療安全に関わる各部門との連携

③ 医療安全研修会報告

第1回「高めよう！気づき！ 極めよう！チーム力！」 参加者：360名

2018年11月29日 17：15～

2018年11月30日 17：15～

第2回「医療事故の現状」 参加者：328名

2019年3月14日 17：15～

2019年3月25日 17：15～

④ 2018年度の取り組み

- ・インシデント・アクシデントレポート事例報告を分析し業務改善に繋げた。
- ・医療安全マニュアルの見直しと作成
- ・採血検査の患者認証システムの実施
- ・医療安全地域加算の取得と活動
- ・M&Mカンファレンスの取り組みと実施

感染管理室

① スタッフ

伊部邦宏（部長）

感染制御医（ICD）1名と感染管理認定看護師（CNIC）2名、薬剤師1名、検査技師1名が感染対策チーム（ICT）の中核となり、それぞれの専門性を活かし連携しながら感染対策に関する問題点を把握し改善策を講じるなど、組織横断的な活動を行う。また、近隣の医療機関とも連携・協力しながら地域全体の感染対策のレベルアップに取り組む。

② 活動内容

- 1) 各種関連委員会との連携・調整
- 2) 感染症の流行状況・感染情報の収集と把握、対策検討
- 3) サーベイランス
耐性菌、手指消毒剤使用量、CLABSI（中心ライン関連血流感染）、血液体液曝露など
- 4) ICT ラウンド；1回 / 週
- 5) AST カンファレンス；届出抗菌薬使用患者および血培陽性患者
- 6) 職業感染対策
- 7) 感染対策システムの構築とマニュアル作成・改訂
- 8) 感染対策の教育・指導、研修会の計画・実施・評価
- 9) 感染対策相談（コンサルテーション）
- 10) 感染対策地域連携に関する活動（合同カンファレンス8回、相互評価ラウンド2回実施）

③ 研修会

第1回 流行性ウイルス疾患

～麻疹・風疹・水痘・ムンプスについて～

第2回 teamSTEPPS を活かした感染対策

④ 2017 年度の取り組み

- 1) 手指消毒剤使用量の向上

使用量に個人差があるため、teamSTEPPS 中のクロスモニタリングを取り入れ、みんなで指摘し合うことで部署全体、病院全体の使用量を上げようと DVD を作成し研修会も開催したが、それだけに留まってしまった。2019 年度はラウンドの場面で実際にスタッフの行動を観察し、アサーティブコミュニケーションによる積極的な助言・指摘を行い、クロスモニタリングしやすいチームを作ること为目标にラウンドを実施する。その結果、手指消毒剤使用量の向上に繋げる。

- 2) 抗菌薬適正使用支援チーム；AST カンファレンス

ICT のコアメンバーで1回 / 週のカンファレンスを実施。届出抗菌薬使用患者および血液培養陽性患者を継続的にモニタリングし、抗菌薬の使用方法や必要な培養検査が実施されているか等のチェックを実施。

2019 年度は関係職員を対象に抗菌薬使用に関する勉強会等も実施していく。

3) 地域連携活動

5 医療機関との合同カンファレンスを行い情報共有および感染相談を受けている。4 医療機関との相互評価ラウンドも行い、感染対策のレベルアップに取り組んでいる。

血液浄化センター

① スタッフ

曾我弘樹（副院長・センター長）

常勤兼務 3人 非常勤 5人

② 特色・症例・治療・成績・実績

2003年8月以来、導入・維持期の血液透析血液濾過透析を中心に実施している。現在、約50名の患者利用中。月・水・金2クール、火・木・土1クールで対応なるも新年度から2クール対応。透析看護認定看護師在籍。

月	患者数	外来数	入院数	新規導入			転帰			治療方法										手術 (当院)
				新規 患者	紹介 (転入)	導入	離脱	転院	死亡	血液 透析	腹水 透析	吸着 療法	血漿 交換	白血球 採取	幹細胞 採取	体外 循環	HDF	CAPD	他	
4	612	586	26	0	0	0	0	0	1	550	0	0	0	0	0	0	12	0	50	1
5	650	622	28	2	0	0	0	0	1	581	0	0	0	0	0	0	16	0	53	2
6	623	616	7	1	0	1	0	1	2	564	0	0	0	0	0	0	13	0	46	0
7	603	572	31	0	0	0	0	0	0	538	0	0	0	0	0	1	13	0	51	1
8	606	578	28	1	0	1	0	1	0	554	0	0	0	0	0	0	13	0	39	1
9	556	543	13	1	1	0	0	1	4	509	0	0	0	0	0	0	13	0	34	1
10	646	618	28	1	1	0	0	0	0	593	0	0	0	0	0	0	13	0	40	1
11	587	560	27	1	1	0	0	0	0	537	0	0	0	0	0	0	13	0	37	0
12	592	555	37	0	0	0	0	0	0	541	0	0	0	0	0	0	13	0	38	1
1	617	580	37	2	0	1	0	0	1	562	0	0	0	0	0	0	14	0	41	2
2	583	539	44	1	0	1	0	0	0	536	0	0	0	0	0	0	12	0	35	2
3	646	602	44	1	0	0	0	0	0	594	0	0	0	0	0	0	13	0	39	1
合計	7321	6971	350	11	3	4	0	3	9	6659	0	0	0	0	0	1	158	0	503	13

内視鏡センター

① スタッフ

門元優（医長・センター長）

② 特色・症例・治療・成績・実績

上部消化管内視鏡（経口内視鏡・経鼻内視鏡）および下部内視鏡、腹部超音波を用いて消化器疾患の診断、悪性病変の早期発見に努めている。

内視鏡機器の進歩に伴って増加している内視鏡治療にも力を入れ消化管出血止血術、早期癌切除術、総胆管結石除去術など地域の消化器疾患撲滅を目標に治療を行っている。

内視鏡件数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
BF	B F	5	7	1	1	3 (※)	1	2	2	0	3	1	0	23
CF	C F	23	12	27	16	33	24	29	13	16	16	26	29	264
	ポ リ ペ ク	10	11	10	12	14	11	9	13	3	12	9	10	124
	そ の 他	0	0	0	0	ESD 2	0	0	0	0	0	0	0	2
GF	G F	102	105	131	137	146	125	142	139	125	103	120	109	1,484
	E R C P	5	3	6	5	3	1	2	7	2	2	3	0	39
	E S D	0	0	1	1	1	2	2	0	0	0	0	1	8
	PEG 造 設	0	0	1	0	2	0	0	0	0	1	1	2	7
	PEG 交 換	4	3	2	1	2	2	6	3	5	2	0	5	35

(統計：内視鏡センター)

(※) うち1件は胸腔鏡

健診センター

① スタッフ

古川邦生（部長）

② 特色・症例・治療・成績・実績

一般健診・日帰りドック・乳癌検診・子宮頸癌検診・生活習慣病予防検診・脳ドック（脳動脈瘤、脳腫瘍の早期発見、脳血管障害予防等）など、あらゆる検診に対応しております。

人間ドック・一般検診

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人間ドック	15	22	24	32	36	25	34	36	30	24	27	20	325
一 般 健 診	63	64	79	61	45	68	80	73	59	56	59	59	766
その他健診	20	21	9	18	24	15	10	16	5	8	14	6	166
合 計	98	107	112	111	105	108	124	125	94	88	100	85	1257

(統計：健診)

認知症疾患医療センター

① スタッフ

成田 実（部長・センター長）

常勤 1人 非常勤 2人

精神保健福祉士 専属 1名、兼務 1名

臨床心理技術者 兼務 1名

② 特色・症例・治療・成績・実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外来件数	117	104	108	118	101	115	107	121	125	143	170	189	1518
うち鑑別診断件数	9	9	11	10	12	10	9	10	12	26	24	16	158

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規受案件数	10	17	21	17	13	13	15	12	17	30	30	27	222

新規受案件数（地域別）

地域別件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
彦根市	5	11	13	9	8	6	6	1	8	14	15	10	106
多賀町	0	1	0	2	0	0	1	2	0	1	3	1	11
甲良町	1	1	1	1	1	3	1	2	0	5	2	7	25
豊郷町	1	2	2	1	2	3	3	3	3	6	3	3	32
愛荘町	1	1	4	1	2	0	3	1	4	1	1	3	22
東近江市	1	1	0	3	0	0	1	1	2	2	6	1	18
その他	1	0	1	0	0	1	0	2	0	1	0	2	8
合計	10	17	21	17	13	13	15	12	17	30	30	27	222

新規受案件数（紹介元別）

紹介元	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市・町村	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
民生委員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
包括	0	1	1	1	0	0	1	0	0	2	0	3	9
ケアマネ	0	1	0	2	2	2	2	2	1	2	6	1	21
豊郷病院	2	3	2	2	0	1	0	1	4	7	9	1	32
他病院	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	1	1	5
開業医	1	5	9	8	3	5	5	2	6	10	7	6	67
家族	0	0	2	1	0	3	4	3	4	2	4	2	25
福祉施設	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
その他	7	7	6	3	6	2	3	4	1	6	2	13	60
合計	10	17	21	17	13	13	15	12	18	30	29	27	222

③ 論文、学会、研究発表、講演、トピックス

(1) 医療介護連携促進事業

① 医師等多職種向け研修会を実施した。

実施日：H30 年 9 月 27 日

名称：彦根認知症ケア・ネットワークを考える会

テーマ：「睡眠障害を考える」

「運転免許更新のための診断書提出を求められたケース」

講師：認知症疾患医療センター 成田実 医師

会場：くすのきセンター

実施日：H30 年 10 月 25 日

名称：認知症の問題を考える講演会 2018

テーマ：「BPSD に対する治療・紹介のタイミングは？」

講師：認知症疾患医療センター 成田実 医師

会場：くすのきセンター

実施日：H30 年 10 月 17 日

名称：愛犬合同介護支援専門員連絡会 / 愛荘豊郷甲良多賀地域包括支援センター

テーマ：「認知症の早期発見・早期対応のための取り組み」

講師 : 豊郷病院 力石泉 総看護部長
会場 : 豊郷町役場別館

②出前事例検討会

保健所と協力し、介護保険事業所等と事例検討会を実施した。

実施日：H31 年 1 月 10 日 開催場所：グループホームきずな

実施日：H31 年 3 月 13 日 開催場所：ジョイフルいなえ

③院内デイサービス「サロンひまわり」の運営支援

院内デイサービス「サロンひまわり」を 365 日開設し、のべ 524 人の利用者に対し、医療介護連携により病気や環境の変化による認知症の進行を防ぎ、退院・在宅復帰に繋がるよう支援を行った。

(2) 地域連携促進事業

①地域住民に対する認知症セミナーの開催

病院が主催し、地域住民に対する認知症に関する普及啓発につながるセミナーを年 1 回開催した。

実施日：H31 年 3 月 23 日

名称 : 公開セミナー

講演内容：「認知症と介護負担について」

講師 : 認知症疾患医療センター成田実 医師
在宅療養サポートセンター堀尾素子 師長

会場 : 豊郷病院

参加人数：112 人

②地域への認知症に関する理解を促す普及啓発の取り組み

町が主催し地域住民に対する認知症に関する普及啓発を図る取り組みを実施した。

実施日：H30 年 11 月 17 日

名称 : 甲良町認知症フォーラム

講演内容：「認知症の人の今を知る」

講師 : 認知症疾患医療センター成田実 医師

場所 : 甲良町保健センター

実施日：H31 年 2 月 23 日

名称 : 多賀町「認知症を学ぶつどい」

講演内容：第 1 部「多賀町認知症予防の取り組み」

第 2 部講演「今からはじめよう認知症予防」

講師 : 第 2 部講師 認知症疾患医療センター成田実 医師

場所 : 多賀町総合福祉保健センター ふれあいの郷

回復期リハビリテーションセンター

① スタッフ

医師（センター長）	木築 裕彦
看護師長	外川 栄子
看護師（含准看護師）	17 名
リハビリテーション係長	近藤 則子
理学療法士	6 名
作業療法士	6 名
言語聴覚士	1 名
薬剤師	1 名
ケアワーカー	6 名
医療ソーシャルワーカー	2 名
医療クラーク	1 名

② 特色・症例・治療・成績・実績

豊郷病院回復期リハビリテーションセンターでは、急性期治療後の患者様が在宅での生活期リハビリテーションを1日でも早期に開始できるために、入院による回復期リハビリテーションを行っております。

平成 30 年度 御紹介元医療施設

彦根市立病院	50 例
湖東記念病院	22 例
その他病院	16 例
当院一般急性期病棟	35 例
計	123 例

平成 30 年度 疾患別のべ症例件数

運動期リハビリテーション	277 件
脳血管リハビリテーション	173 件
廃用症候群リハビリテーション	7 件

③ 論文・学会・研究発表・講演・トピックス

〈講演〉

木築 裕彦

『回復期リハビリテーションセンターにおける高齢者の安全な薬物療法について』

2018 年 9 月 26 日

第一三共株式会社社内研修会

第一三共株式会社滋賀営業所 滋賀県 大津市

3 愛知・犬上医師連絡会

講演・研究発表

場 所： パストラールとよさと 研修室

日時・内容：

◇2018（H30）年6月8日（金） 14：00～

『高齢者心不全と戦う』

内科（循環器）医長 富田 行則 医師

◇2018（H30）年9月14日（金） 14：00～

『敗血症（Sepsisについて）』

院長（外科） 横田 徹 医師

◇2019（H31）年 1月24日（木） 17：30～

『精神医学からみたリーダー論』

—創造性、リアズム、共感、レジリエンス—

京都大学医学部附属病院

精神神経科 教授 村井 俊哉 先生

※新春恒例の地域の先生方と当院医師との交流会を開催しました。この愛犬医師連絡会は歴史と伝統のある研修会で今後の「地域連携強化」に取り組むうえで有意義な交流会となりました。

地域連携室主催事業

4. 公開セミナー・出前講座・健康フェスティバル

□ 公開セミナー

場 所： 豊郷病院 内科外来待合い

日時・内容：

◇ 2019 (H31) 年 3 月 23 日 (土) 14 時～15 時 30 分

テーマ：『認知症と介護負担について』

講 演：副院長（認知症疾患医療センター長） 成田 実 医師

□ 出前講座

◇ 日 時：2018 (H30) 年 6 月 9 日 (火) 10 時～11 時 30 分

場 所：彦根市日夏町 日夏ニュータウンⅡ期自治会館

依頼元：日夏ニュータウンⅡ期絆クラブ

テーマ：『糖尿病について（病気と生活指導）』

講 演：山田 珠生 看護師

篠原 ひづき 管理栄養士

◇ 日 時：2018 (H30) 年 11 月 17 日 (土) 9 時 30 分～11 時 00 分

場 所：甲良町保健福祉センター

依頼元：甲良町デイサービスセンターけやき

テーマ：『認知症の人の今を知る』

講 演：副院長（認知症疾患医療センター長） 成田 実 医師

◇ 日 時：2019 (H31) 3 月 28 日 (木) 17 時～18 時

場 所：長野の里デイサービスルーム

依頼元：特別養護老人ホーム 長野の里

テーマ：『自己覚知について、自己の支援・援助方法について考える』

講 演：木津 賢太 臨床心理士

□ 豊郷町健康フェスティバル

◇健康啓発コーナー（各種測定、相談など）

日 時：2018 (H30) 年 10 月 8 日 (月祝) 9 時 30 分～12 時 30 分

場 所：豊郷町勤労者体育センター 談話室

◇救護班（けがや体調不良の救急処置など）

日 時：2018 (H30) 年 10 月 8 日 (月祝) 9 時 00 分～16 時 00 分

場 所：豊郷町勤労者体育センター 玄関前大会本部

5 全職員研修会

ファイル 番号	日時	テーマ	開催場所	担当
1	6月20日 18:30～19:30	認知症セミナー 2018 「フレイルと認知症」	豊栄のさと	小野薬品 / 病院長
2	9月5・6日 17:15～18:15	感染防止対策研修会 「流行性ウイルス疾患」	9-2 F ホール	感染管理室 / ICT・ICC 委員会
3	9月11日 17:00～17:30	「医療機関における電波の安全性について」	9-2 F ホール	総務課 / 臨床工学科
4	11月21日 17:00～18:00	医療ガス安全研修会 「医療ガスの取扱いと管理について」	9-2 F ホール	医療ガス 安全管理委員会
5	11月29日・30日 17:15～18:40	医療安全・感染防止対策研修 「高めよう！気づき力、極めよう！チーム力」 「TeamSTEPPS を活かした感染対策」	9-2 F ホール	感染管理室 / ICT・ICC 委員会 / 感染LN委員会 / 医療安全室
6	12月12日・20日・26日 17:00～18:00	つなげよう、みんなの手で！ 一時救命処置を学ぼう	9-2 F ホール	医療安全室 / 外来
7	2月25・26日 15:50～・17:30	人権学習	9-2 F ホール	人権教育推進委員会
8	2月28日 18:00～18:15	新春学術講演会 「アルコール依存症の臨床」	9-2 F ホール	臨床精神医学研究所
9	3月14日 17:15～18:5	医療安全研修 「実例から学ぶ医療安全」	9-2 F ホール	医療安全室
10	3月23日 14:00～15:30	公開セミナー 「認知症と介護負担について」	3-1 待合スペース	認知症疾患医療センター長 成田実医師 / 地域連携室
11	3月25日 17:15～18:5	医療安全研修 「実例から学ぶ医療安全」	9-2 F ホール	医療安全室
12				
13				
14				
15				

6. 災害総合避難訓練

目的 医療に従事する者として、火災発生時に患者さんの立場に立って避難誘導をどのようにすればよいのか、また患者さんに安心して使用していただくための避難器具を体験して技術を習得することを目的とする。

日時 2018（平成30）年10月16日（火） 午後2時00分（想定 午後2時00分）

訓練の内容

① M7.5の地震発生、直ちに全館放送にて全職員に連絡を行い、各所属長が施設等に被害の状況を確認し本部（3病棟1階北出入口付近）へ報告。

②訓練火災警報発令（①から約3分後）

地震訓練に引き続き火災訓練を実施。

現場は3病棟4階デイルーム付近から、火災報知機のベルが鳴り、自動火災警報が作動。延焼の恐れあり、直ちに全館放送が流れ、初期消火、避難誘導を行う。

③避難誘導実施

模擬患者配置（午後2時03分に各自配置につく）

3病棟4階A棟西側付近（約20名前後）に集合。模擬患者役として新人職員ならびに准看護学院の生徒が参加。訓練といえど真剣に取り組むことを指導。

④避難器具の訓練

スカイダー（らせん階段）を利用して避難訓練を実施。

必ず防火班員の指示に従い、落ち着いて安全に実施すること。

担送や護送の患者役は、救護班の要請が有り、担架や補助器具を利用し搬送されるので、その指示に従い速やかに避難場所まで移動。

⑤スカイダー訓練終了後、引き続きトリアージ訓練を行う。

⑥消火器の取り扱い説明と実射訓練

⑦消防署員による講評

⑧院長による講評 終了

防火防災管理者 山本洋道

7 ボランティア活動

地域との連携により社会力を活用し、患者サービスの向上と療養環境の充実を図る事を目的としてボランティアによる院内活動について協議する。

活動状況

- (1) 開催時期 年6回の定例会議、必要に応じて臨時会議を開催
- (2) 審議事項 ・ボランティアの受け入れと現場との調整について
・ボランティア保険の加入について
・催し（七夕コンサート / 生け花の展示 / 病棟レクボランティア等）について

(3) ボランティアの活動

- 1、拡大紙芝居 毎月1回 定期実施（サロンひまわり）
- 2、生け花展示 ① 2018年 7月 4日～ 7月10日
② 2018年12月11日～12月19日
- 3、七夕コンサート
開催日 2018年 7月 7日（土）14：00～15：00
開催場所 内科外来にて
内容 ボランティアによるコンサート（演奏ボランティアこまくさ）
拡大紙芝居の展示、生け花展示
⇒荒天により交通機関の影響があり紙芝居、生け花展示のみ実施
- 4、花壇の整備
- 5、療養病棟や精神科病棟、回復期病棟でのボランティア：臨時（単発）

(4) 交流会の開催

目的：ボランティアとの交流と情報交換及び催しの計画についての相談等

開催日 ① 2018年4月24日 ② 2018年9月18日

ボランティア運営委員会事業

8 院内（外）地域交流活動

- | | |
|--|--|
| 1. 職員献血運動 | 4月24日（火）、9月27日（木） |
| 2. 院外周辺美化運動 | 5月16日（水）、9月12日（水）
11月14日（水）、12月12日（水） |
| 3. 宇曾川・街並みクリーン作戦
（豊郷町行事参加） | 5月27日（日） |
| 4. 出前講座 | 6月9日（火）、11月17日（土）、3月28日（木） |
| 5. 七夕コンサート | 7月7日（土） |
| 6. とっとまつり
（豊郷町行事参加） | 8月4日（土） |
| 7. 地藏盆法要 | 8月22日（水） |
| 8. 夏祭り開催
回復期リハビリ病棟内で患者・ボランティアによるまつり | 8月10日（金）9月5日（水） |
| 9. 豊郷町民健康フェスティバル
（各種測定・看護栄養相談） | 10月8日（日） |
| 10. 物故者追弔会 | 12月3日（月） |
| 11. 新春学術講演会 | 2月28日（木） |
| 12. 地域に向けた公開セミナー | 3月23日（土） |

9 実習生受入状況

診療部

滋賀医科大学 学外臨床実習 平成30年 5月28日～ 6月15日 2名

[理学療法学科(一般科・回復期)]

佛教大学	平成30年	9月3日～9月8日	1名
	平成31年	2月12日～3月9日	1名
京都橘大学	平成30年	4月9日～5月18日	1名
	平成30年	5月28日～7月6日	1名
	平成31年	1月21日～2月15日	1名
	平成31年	2月25日～3月1日	1名
大阪行岡医療大学	平成30年	4月9日～6月1日	1名
吉備国際大学	平成30年	4月2日～5月26日	1名
大和大学	平成30年	11月26日～12月15日	1名
平成医療短期大学	平成30年	9月24日～11月16日	1名
	平成31年	1月28日～3月1日	2名
滋賀医療技術専門学校	平成30年	5月28日～7月22日	1名
	平成31年	1月28日～2月24日	1名
	平成31年	2月25日～3月3日	1名
京都医健専門学校	平成30年	5月28日～8月3日	1名
愛媛十全医療学院	平成30年	7月9日～8月25日	1名
	平成30年	9月3日～10月27日	1名
近畿リハビリテーション学院	平成30年	7月30日～8月10日	1名
	平成30年	8月13日～8月24日	1名
	平成30年	8月27日～10月12日	1名
	平成30年	10月29日～12月10日	2名
	平成31年	1月7日～2月1日	2名
	平成31年	3月4日～3月8日	1名
関西学研医療福祉学院	平成30年	4月10日～6月2日	1名
	計	27名	

[作業療法学科(一般科・回復期病棟)]

佛教大学	平成30年	6月11日～7月6日	1名
	平成30年	11月26日～12月15日	1名
滋賀医療技術専門学校	平成30年	5月7日～7月6日	1名
	平成30年	8月27日～10月31日	1名
	平成31年	1月28日～2月22日	1名
大阪医療福祉専門学校	平成30年	8月27日～11月3日	1名
	平成30年	1月28日～2月22日	1名
	平成31年	1月15日～2月17日	1名
計			8名

[作業療法学科(精神科)]

滋賀医療技術専門学校	平成30年	5月7日～7月6日	1名
	平成30年	8月27日～9月1日	2名
	平成30年	3月5日～10月31日	1名
	平成31年	1月28日～2月20日	2名
佛教大学	平成30年	11月26日～12月14日	1名
計			7名

[言語聴覚療法学科(一般科・回復期病棟)]

大阪医療技術学園専門学校	平成30年	5月21日～7月13日	1名
	平成30年	8月20日～9月14日	1名
	平成30年	10月1日～11月27日	1名
大阪人間科学大学	平成30年	5月21日～7月13日	1名
	平成30年	9月25日～11月6日	1名
	平成30年	11月12日～12月25日	1名
計			6名

看 護 部

[大学実習]

聖泉大学	老年看護学実習 (3週間)	平成30年4月～平成31年1月	4グループ (20名)
聖泉大学	老年看護学実習 (3週間)	平成31年1月～3月	2グループ (10名)
聖泉大学	老年看護学実習 (3週間)	平成30年4月～平成31年3月	3グループ (15名)
聖泉大学	成人看護学実習 (3週間)	平成31年1月～2月	1グループ (5名)
聖泉大学	精神看護学実習 (2週間)	平成31年2月～3月	2グループ (10名)
聖泉大学	精神看護学実習 (2週間)	平成31年2月～3月	2グループ (10名)
聖泉大学	総合実習	平成30年7月	1名

聖泉大学	総合実習	平成30年7月	1名
神戸常盤大学短期大学部	老年看護学実習（2日間）	平成30年7月	1名
滋賀県立大学	老年看護学実習（2週間）	平成30年9月～平成31年1月	6グループ（36名）
びわこ学院大学	養護教諭看護臨床実習	平成31年2月12日～2月25日	4名

[看護専門学校臨地実習]

福岡看護専門学校	成人看護学実習（2日間）	平成30年7月	3名
福岡看護専門学校	老年看護学実習（2日間）	平成30年7月	3名
福岡看護専門学校	精神看護学実習（2日間）	平成30年7月	3名
福岡看護専門学校	統合実習（2日間）	平成30年8月	3名

[中学生・高校生体験学習]

八幡高等学校	インターンシップ	平成30年2月12日～2月15日	8名
彦根中学校	チャレンジウィーク職場体験	平成30年7月5日～7月11日	6名
稲枝中学校	チャレンジウィーク職場体験	平成30年7月5日～7月11日	2名
甲良中学校	キャリア教育「職場体験」	平成30年8月21日～8月25日	3名
豊日中学校	職場体験学習	平成30年10月24日～10月30日	3名
秦荘中学校	職場体験学習	平成30年6月12日～6月15日	8名
愛知中学校	職場体験学習	平成30年6月4日～6月8日	10名
河瀬高校	高校生1日看護体験	平成30年7月24日	1名
彦根翔西館高校	高校生1日看護体験	平成30年7月24日	1名
草津東高校	高校生1日看護体験	平成30年7月24日	1名
河瀬高校	高校生1日看護体験	平成30年7月25日	2名
彦根翔西館高校	高校生1日看護体験	平成30年7月25日	1名
河瀬高校	高校生1日看護体験	平成30年7月26日	1名
滋賀学園高校	高校生1日看護体験	平成30年7月26日	1名

[施設見学受入]

医療法人育和会育和記念病院	院内デイケア見学	平成30年5月23日	3名
日本看護協会出版会	院内デイケア見学	平成30年7月23日	1名
南草津病院	院内デイケア見学	平成30年9月13日	9名
近江草津徳洲会病院	院内デイケア見学	平成31年3月12日	4名

医療福祉相談室

パストラールとよさと 新人研修	2018年4月16日	1名
愛荘町立愛知中学校 職場体験	2018年6月4日～6月7日	12名
看護学生基礎看護実習Ⅰ（65期生）	2018年6月11日、6月14日、6月15日	12名
愛荘町立秦荘中学校 職場体験	2018年6月13日、6月15日	4名
彦根中学校・稲枝中学校 職場体験	2018年7月5日、7月11日	6名
佛教大学実習生	2018年8月20日～9月6日	1名
甲良中学校 職場体験	2018年8月21日、8月24日	1名
佛教大学精神保健福祉士実習生	2018年8月20日	1名
豊日中学校 職場体験	2018年10月24日、10月30日	6名

薬 剤 部

立命館大学	2018年8月6日～2018年10月21日	1名
立命館大学	2018年11月5日～2019年1月27日	1名

10 各種委員会報告

医療倫理委員会

人間を直接対象とした医療行為および医学的研究行為が、ヘルシンキ宣言の趣旨に沿った倫理的配慮のもとに行なわれること。

活動状況

(1) 開催時期 随時

(2) 審議事項

- ・再発性病期 T1 膀胱癌治療における second-TUR の有用性に関する他施設共同後方視研究
- ・人生の最終段階における医療とケアの指針
- ・低リスク筋層非浸潤性膀胱癌に対する抗癌剤術直後単回膀胱内注入療法の観察研究
- ・滋賀県内の前立腺がん診断における PSA 検査の実施契機に関する多施設共同調査
- ・非弁膜症性心房細動を有する後期高齢患者を対象とした前向き観察研究
- ・精神疾患における情動的表情認知に関する研究
- ・胃・十二指腸穿孔に対する後ろ向き調査研究 他施設共同調査研究 (SHISA1701)
- ・ホルモン未治療前立腺癌における新規ホルモン剤による治療に関する検討

(3) 人員構成 委員長 1 名 副委員長 1 名 委員 7 名 (内地域住民代表 1 名)

輸血療法委員会

輸血、輸注の適切な使用および実施に伴う事故防止を図る。輸血療法が安全・適正かつ経済的に行われることを目的とする。

活動状況

(1) 開催時期 年 6 回 偶数月の第 1 金曜日

- (2) 審議事項
- ・ 1 か月ごとの使用状況の把握
 - ・ 1 か月ごとの科別使用率の把握
 - ・ 1 か月ごとの緊急で注文のあった血液単位数の把握
 - ・ 1 か月ごとの血液製剤の廃棄金額の把握
 - ・ 学会の報告、業務改善について
 - ・ 輸血業務に関する基準・手順について

(3) 人員構成 委員長 1 名 副委員長 1 名 委員 7 名 株式会社メディック 1 名

薬事委員会

病院の薬事に関する基本方針を定め、その方針にそって院内薬事業務を円滑に遂行する。

活動状況

(1) 開催時期 原則 月 1 回 第 3 金曜日

ただし、重大な副作用の発生時など臨時開催もあり。

(2) 審議事項 ・新規仮採用医薬品の審議

新規仮採用医薬品の「医薬品仮採用願」の提出期限は前月 25 日までとし、申請できる医師は原則として医長以上とする。

- ・採用削除医薬品の審議
削除する医薬品については残量を全医師に報告し、使用を促進する。
- ・本採用医薬品の審議
本採用医薬品とは仮採用後、3か月経過した医薬品のことをいう。
副作用の発現など問題がなければ本採用。
- ・医薬品の適切な使用方法の協議
- ・在庫医薬品の適切な管理と運用
- ・医薬品の副作用の検討
院内副作用報告書、厚生労働省医薬品等安全性情報など
- ・その他薬事関係で円滑な病院運営に必要な事項の審議

- (3) 人員構成 委員長（薬剤部長）、常勤医師、看護部長（必要時他部門も出席）
※委員長に事故ある時は、病院長がその職務を代行する。

安全衛生委員会

職場における従業員の安全と健康を確保するため必要な業務を行う。

医療安全室との連携による院内感染防止対策

活動状況

- (1) 開催時期 月1回第1金曜日
- (2) 審議事項
- ・職場巡視の仕方について
 - ・定期健康診断の実施
春の健康診断 5月29日（火）～31日（木）の3日間実施
都合の悪い職員に対し、後5日間追加実施
対象者：夜勤・当直・電離関係者
秋の健康診断 10月23日（火）～25日（木）の3日間実施
都合の悪い職員に対し、後5日間追加実施
対象者：全職員
 - ・春・秋・年末の交通安全運動の推進
 - ・労働災害減少に向けた啓発活動
 - ・ストレスチェック実施と職員のメンタルヘルス対策への取り組み
- (3) 人員構成 委員長、産業医 衛生管理者3名 医療安全室1名 委員11名

院内感染防止対策委員会

院内感染防止に関する事項を審議し、必要な感染対策の方針を決定する。

活動状況

- (1) 開催時期 毎月1回 第4木曜日 16:30～
- (2) 審議事項
- ①入院患者のMRSA、ESB産生菌、MRCNSの耐性菌検出状況
 - ②病院全体の細菌検出状況
 - ③血液培養検査の実施状況と検出結果等
 - ④手指消毒剤の使用量結果、向上のための取り組み
 - ⑤感染症の流行状況（院内・院外）

院内) インフルエンザ、ノロウイルス等感染性胃腸炎、带状疱疹、結核など

院外) 麻疹、風疹、梅毒

⑥血液・体液曝露報告

⑦ムンプス接触者職員の就業制限について

⑧流行性ウイルス疾患の抗体価検査およびHBs抗体検査の定期的検査実施にむけて

⑨職員のインフルエンザ予防接種関連について

⑩感染対策研修会の計画・実施・評価

⑪ CLABSI (中心ライン関連血流感染) サーベイランス結果

⑫ ICT ラウンド結果報告・改善要請

⑬第三者評価結果 (保健所立入検査)

⑭感染対策加算に伴う合同カンファレンスおよび相互評価の実施報告

⑮抗菌薬適正使用支援チーム; AST 設置に関して

(3) 研修会開催

第1回 流行性ウイルス疾患 ～麻疹・風疹・水痘・ムンプスについて～

2018年9月5日(水) 17:15～18:15

2018年9月6日(木) 17:15～18:15

第2回 teamSTEPPS を活かした感染対策

～職種・職域を超え、お互いが指摘し合える環境を目指して～

2018年11月29日 17:15～18:40

2018年11月30日 17:15～18:40

(4) 人員構成 委員長1名 委員14名 (株)メディック職員1名

院内感染コントロールチーム (ICT委員会)

院内感染の予防を目的に、各部署の現状を把握してチームとして取り組む。

活動状況

(1) 開催時期 月1回 第2金曜日

(2) 審議事項 ・院内ラウンドの実施 (毎週1回)

・抗菌薬ラウンドの実施 (第1週・第2週・第5週 木曜日)

(第3週・第4週 金曜日)

・院内ラウンドの結果報告及び対策についての検討

・抗菌薬の使用状況及び抗菌薬ラウンドの結果報告

・入院患者における耐性菌の検出状況の報告

・耐性菌別検出状況の報告 (MRSA・ESBL・MRCNS)

・Clostridium difficile (クロストリジウムディフィシル) の検出結果の報告

・手指消毒剤使用量 (部署別) の報告

・血液・体液曝露サーベイランス結果の報告及び毎月の状況報告

・インフルエンザの発生状況の報告

・各種感染症に対する予防方法やリスク回避の検討

・中心静脈カテーテル関連血流感染サーベイランスの結果及び報告

・ノロウイルスの発生状況の報告

・感染防止対策加算1における合同カンファレンス及びラウンドの報告

- ・地域連携加算取得におけるラウンドの報告
- ・院内感染対策研修会の開催
「流行性ウィルス疾患（麻疹・風疹・水痘・ムンプス）について」
「TeamSTEPPSを活かした感染対策
～職種・職域を超え、お互いが指摘し合える環境を目指して～」

(3) 人員構成 委員長 1 名 副委員長 1 名 オブザーバー 1 名 委員 14 名

リスクマネジメント委員会

医療事故を防止し、安全かつ適切な医療の提供体制を確立する。

活動状況

(1) 開催時期 月 1 回 第 4 火曜日

(2) 審議事項

- ・毎月のインシデント・アクシデント発生件数、内容、種類の集計報告
- ・事例発生の内容を検討と各委員会への業務改善依頼
- ・転倒・転落発生件数報告（部署別発生件数報告）前年度比較・月別推移や事例報告
- ・各部署からの事例報告からの改善策の提案と検討
- ・医療機器に関する事例報告からの改善策の報告
- ・医薬品に関する事例報告からの改善策の報告

(3) 人員構成 委員長 1 名 委員 30 名

医療安全管理対策委員会

適切な医療安全管理を推進し、医療事故防止対策の充実と安全な医療の提供を確立する。

活動状況

(1) 開催時期 月 1 回 第 4 火曜日 （リスクマネジメント委員会終了後の開催）

(2) 審議事項

- ・医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療安全責任者から提案された事項について審議や決定
- ・院内で発生したアクシデント事例や患者相談窓口でのクレーム内容などの報告と対応の検討
- ・医療安全に関する規定の見直し、委員の変更
- ・転倒・転落発生件数報告（部署別発生件数報告）前年度比較・月別推移や事例報告
- ・医療安全地域連携訪問の報告
- ・採血検査の患者認証システムの実施
- ・職員（看護職を除く）への救急蘇生研修（BLS 研修）
- ・M&M カンファレンスの実施
- ・医療安全研修の企画と運営

(3) 人員構成 委員長 1 名 委員 12 名

重大医療事故対策委員会

活動状況

(1) 開催時期 随時

- ・医療事故報告書に基づく原因分析
- ・再発防止策への取り組み
- ・病院全体への周知

(2) 人員構成 委員長 委員15名

苦情処理委員会

活動状況

(1) 開催時期 随時

平成30年度は該当事項がなく開催なし

(2) 人員構成 委員長 委員 8 名

賠償請求対策委員会

活動状況

(1) 開催時期 随時

平成30年度は該当事項がなく開催なし

(2) 人員構成 委員長 委員 9 名

広報委員会

活動状況

(1) 開催時期 随時

(2) 審議事項 病院紀要・年報の発行に関する検討

(3) 人員構成 委員長 1 名 委員 4 名

ホームページ委員会

病院のホームページの管理・更新を行い、常に新しく正しい情報を発信していくことで、病院の広報活動を行っている。

活動状況

(1) 開催時期 月 1 回 第 3 火曜日

(2) 審議事項 ・ホームページの更新及び管理

・WEBサーバー管理（委託）

・プロバイダー管理（委託）

・メールアドレスの発行

(3) 人員構成 委員長 委員 3 名

広報プロジェクト

豊郷病院と地域の診療所がより密接な関係を築き、紹介患者や医療機器の共同利用を図るため、院内の情報を広く伝達、広報することを目的とし、広報紙を発行する。

「医心伝心」発行：年 4 回（4～5 月、7 月、10 月、1 月）

活動状況

- (1) 開催時期 「医心伝心」発行約1ヶ月前
 - ①2018(平成30)年5月23日(水)
 - ②2018(平成30)年7月2日(月)
 - ③2018(平成30)年8月23日(月)
 - ④2018(平成30)年11月19日(月)
 - ⑤2019(平成31)年2月19日(火)
- (2) 審議事項 掲載内容、作成日程、発行部数、配布先などの審議
- (3) 「医心伝心」発行

・No.56 春季号	2018(平成30)年4月
・No.57 夏季号	2018(平成30)年7月
・号外版～頭痛専門外来	2018(平成30)年7月
・No.58	2018(平成30)年8月
・No.59 秋季号	2018(平成30)年10月
・No.60 冬季号	2019(平成31)年1月
- (4) 人員構成 委員5名(うち広報委員2名)

接遇サービス向上委員会

医療・介護サービスの充実を図り、信頼される病院づくりのために職員の接遇ならびに利用者のサービスを強力に推進し、苦情にも積極的に取り上げて、あらゆる角度から改善・実践する。また、その活動を通じて全職員が医療職として成長し、職場全体のモラルが向上することを目指す。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第2水曜日 午後3時から
- (2) 審議事項
 - ・お手紙の回収と検討および改善
 - ・新採用者オリエンテーション
 - ・職員への接遇マナー研修会の企画・運営
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員16名

人権教育推進委員会

「同和問題の解決は国民的課題であるとともに企業の社会的責任であり、あらゆる差別の解消に向けて積極的に取り組み、明るい活気ある職場づくりをするため」を目的に全職員へ病院内外での人権学習の機会を提供し、積極的な参加を呼び掛ける。

平成30年度 人権啓発活動目標

みんなで築こう人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 未来へつなげよう違いを認め合う心～

活動状況

- (1) 開催時期 平成30年4月16日(月)
平成30年10月22日(月)
- (2) 研修・学習内容

- 院内 ・新入職員・各職場人権教育推進担当者・准看護学院学生対象人権研修会
平成 30 年 4 月 12 日（木） 新入職員 39 人
講演 「人に優しく 人を大切に 目指そう素敵な大人」
講師 福原重和 氏（彦根市役所 人権政策課 指導専門員）
- ・平成 30 年度 豊郷病院人権学習会
平成 31 年 2 月 25 日（月）・26 日（月） 参加者 470 名
講演 職場におけるハラスメントについて
講師 福原重和 氏（彦根市役所 人権政策課 指導専門員）
- ・管理職対象現地視察研修会
平成 30 年 12 月 8 日（土） 参加者 40 名
場所 あけぼのパーク多賀
内容 多賀町の地域性について ～へき地教育から学ぶ人権～
講師 小早川 隆氏（あけぼのパーク多賀 館長）
- ・職場別人権学習
職場単位におけるビデオ学習・院外研修会参加 全職場で実施
- 院外 ・研修会等に 22 回参加 参加者 26 名
主催 滋賀県
彦根市・豊郷町・甲良町・多賀町
滋賀人権啓発企業連絡会
滋賀人権啓発企業連絡会彦根ブロック
彦根・愛知・犬上職業対策連絡協議会
豊郷町人権教育推進協議会 等

地域連携委員会

外部との連携について、地域連携や外部発信・広報等の検討をする。

活動状況

- （１）開催時期 不定期開催
委員会開催日 2019（平成31）年 2 月 15 日（木）持ち回り会議
公開セミナー 2019（平成31）年 3 月 23 日（土）
- （２）審議事項 ・2018年度の行事報告（愛知・犬上医師連絡会、地域向け行事）
・2019年度の行事計画（愛知・犬上医師連絡会、地域向け行事）
・地域連携委員会構成メンバーについて
・その他、愛知犬上医師連絡会の行事計画・公開セミナー・豊郷町健康フェスティバル・その他地域行事・開業医からの救急・入院受け入れについてなど
- （３）人員構成 委員長 1 名 副委員長 1 名 委員 12 名

防火班

病院の災害を防止し、安全かつ適切な防災体制を確立する。

活動状況

- （１）開催時期 月 1 回 第 3 火曜日

防災訓練の実施

- ① 防火避難総合訓練（３病棟４階にて）

2018年10月16日（火）

- ② 初期消火避難訓練（３病棟６階にて）

2018年 ３月19日（火）

- (2) 審議事項 ・ 2018年度防火班事業活動計画書
・ 消防訓練の計画準備 年２回（春季及び秋季）
・ 災害対策マニュアルに沿った訓練の実施及び消防計画の内容の周知拡大
・ 消防設備、火災受信機など器具の取扱いマスター保守管理
・ 秋季及び春季火災予防運動期間中のポスター掲示及び旗による防火啓発
- (3) 人員構成 防火管理者１名 班長１名 班員13名

医療ガス安全管理委員会

医療ガス設備の安全管理を図り、患者の安全を確保する。

活動状況

- (1) 開催時期 年４回（研修・訓練含む）
- (2) 審議事項 ・ 在宅酸素療法における火気の取扱いについて
・ 火災等における緊急時のガス漏れ対応について
- (3) 人員構成 委員長１名 副委員長１名 委員６名

栄養管理委員会

入院患者・患者給食に対する栄養管理および給食業務の改善と合理化を図る。

活動状況

- (1) 開催時期 栄養管理委員会を年２回、栄養管理小委員会を年10回として活動
- (2) 審議事項 ・ 電子カルテ運用（入力）について
・ モバイル食の内容、形態について
・ 栄養補助食品の検討
・ 経腸栄養剤の変更
・ 栄養管理情報提供書書式
・ 備蓄食について
・ 声の巣箱・苦情対応について
・ インシデント内容とその対策について
・ アンケート結果の検討
・ 栄養指導件数報告
- (3) 人員構成 委員長 委員13名 日清医療食品（株）２名（小委員会：委員12名）

図書委員会

職員の専門的知識を深め、質の向上を図るため。

活動状況

- (1) 開催時期 不定期
開催日 2018年 7月11日
- (2) 審議事項 ・会計報告
・年間予算額の決定
- (3) 人員構成 委員長1名 委員4名

療養病棟運営委員会

療養病棟の運営についての諸問題を検討し、地域の高齢者医療に貢献するために必要な事項を決める。

活動状況

- (1) 開催時期 随時
- (2) 審議事項 今年度は、療養病棟運営会議が必要とされる事項に該当せず、委員長の判断で委員会の開催はなし
- (3) 人員構成 委員長 副委員長 委員12名

個人情報保護対策委員会

個人情報保護法の対策を検討し、個人情報の保護が行われているのかの監査を行い、職員に実施されることを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 不定期
- (2) 審議事項 個人情報保護対策委員会と情報セキュリティ委員会を統合することに決定
委員会規定の見直し
- (3) 人員構成 委員長1名 委員19名

手術室運営委員会

手術室運営委員会は、以下の事項を審議して安全に円滑に手術室運営が行えるようにする。

- ・手術室運営に関する事
- ・医療設備に関する検討
- ・医療機器の修理、新規購入に関する事項
- ・手術使用物品（ディスポ）に関する取り決め
- ・電子カルテに関する取り決め手順などの統一

活動状況

- (1) 開催時期 2ヶ月に1回
- (2) 審議事項 ・術前検査オーダーの内容について 感染症チェック
・手術室設備機器の更新及び購入についての検討
・手術室入口児童ドアの不調 撤去に向けての取り組みと検証について
・麻酔医の退職に伴う麻酔依頼・手術件数の低下・売り上げ減少の懸念
・シングルユース製品の再滅菌に関する取扱い 取り決め
・麻酔管理症例の依頼について
・電子カルテ操作方法取り決め
- (3) 人員構成 委員長 委員7名 手術室スタッフ

ボランティア運営委員会

地域との連携により社会力を活用し、患者サービスの向上と療養環境の充実を図る事を目的としてボランティアによる院内活動について協議する。

活動状況

- (1) 開催時期 年6回の定例会議、必要に応じて臨時会議を開催
- (2) 審議事項
 - ・ボランティアの受け入れと現場との調整について
 - ・ボランティア保険の加入について
 - ・催し（七夕コンサート／生け花の展示／病棟レクボランティア等）について
- (3) ボランティアの活動
 - 1、拡大紙芝居 毎月1回 定期実施（サロンひまわり）
 - 2、生け花展示 ①2018年 7月 4日～ 7月10日
②2018年12月11日～12月19日
 - 3、七夕コンサート
 - 開催日 2018年7月7日（土）14：00～15：00
 - 開催場所 内科外来にて
 - 内容 ボランティアによるコンサート（演奏ボランティアこまくさ）
拡大紙芝居の展示、生け花展示
⇒荒天により交通機関の影響があり紙芝居、生け花展示のみ実施
 - 4、花壇の整備
 - 5、療養病棟や精神科病棟、回復期病棟でのボランティア：臨時（単発）
- (4) 交流会の開催
 - 目的：ボランティアとの交流と情報交換及び催しの計画についての相談等
 - 開催日 ①2018年4月24日 ②2018年9月18日
- (5) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員6名

電子カルテ委員会

電子カルテの運用を検討し、保存義務のある情報を適切に保存するとともに、適正に利用することに資することを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第3木曜日
- (2) 審議事項
 - ・マスタの設定または運用の見直し
 - ・適正利用の確認
- (3) 人員構成 委員長1名 委員21名

診療情報管理委員会

診療情報管理の円滑な運営を図るため、診療情報管理及び診療記録に関する事項の検討を行う。

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第2水曜日
- (2) 審議事項
 - ・診療記載の開示等について
 - ・診療記録の記載について

- ・各文書の書式変更について
- ・メンバー変更について
- ・診療情報の共有について（オーダーでの文書管理）
- ・サマリーの記入率について
- ・その他

(4) 人員構成 委員長 1 名 診療情報管理士 3 名 委員 6 名

血液浄化センター運営委員会

豊郷病院の血液浄化センターが安全かつ適切な医療の提供体制を確立する。

活動状況

- (1) 開催日 センター長が必要と定めた時（2018年度は2019年1月16日開催）
- (2) 審議事項 火・木・土 2クール体制確立に向けて
- (3) 人員構成 委員長、副委員長含む5名

NST・褥瘡対策委員会

院内における栄養サポート対策・褥瘡対策を討議・検討し、栄養サポートの関する知識、褥瘡に関する知識の増進・普及を図り、日常生活自立度が低い入院患者に対して栄養サポート対策、褥瘡予防と対策を図るとともに、医療の向上の促進に貢献することを目的とする。

活動状況

- (1) 開催時期 毎週水曜日 回診、第3水曜日 16時～
研修会
〈院 外〉 平成30年5月19日（土） 京滋NST研究会 参加
平成31年1月26日（土） 京滋NST研究会 参加
平成31年3月30日（土） 滋賀県NSTネットワーク 参加
〈院 内〉 平成30年10月31日（水） 腸内フローラWeb研修会
〈全体研修会〉 平成30年12月5日（水）
「スキンケアについて」
彦根市立病院 皮膚排泄ケア認定看護師 西村 紀子 先生
- (2) 審議事項
 - ・栄養補助食品、経腸栄養剤の変更について
 - ・電子カルテの使い方について
 - ・NST回診について（日時、回診順等）
 - ・NST加算について（2019年1月～加算開始）
 - ・NST患者抽出、事例検討
- (3) 人員構成 委員長 委員17名

外来・救急運営会議

活動状況

- (1) 開催時期 2ヶ月に1回 第1金曜日 16時～
- (2) 審議事項
 - ・地域連携室を通しての予約状況について
 - ・救急外来患者数の統計（毎月）

- ・外来診療に関する事項について（一般外来・救急外来）
- ・待ち時間調査について

（３） 人員構成 委員長 副委員長２名 委員１０名

エコ委員会

公益財団法人豊郷病院の各事業所におけるエコ活動への継続的な取り組みを推進し、各職員が業務のムダ・ムラ・ムリを無くし、不要な経費を削減し、法人の収益改善に貢献することを目的とする。

活動状況

（１）開催時期 月１回最終月曜日

（２）審議事項・職場巡視（委員会終了後）

施設巡視によるムダの排除、並びに職員へのエコ意識の周知

- ・エコ強調月間にポスター配布による啓発活動や、点検票により各職場の点検を実施

４月…『廃棄物』 ７月…『電気』 １２月…『水』

- ・冷暖房の効率的な使用方法の検討及び周知

- ・節電対策の周知徹底

（３）人員構成 委員長 副委員長 委員２０名

関連施設委員会

法人内の関連施設が有機的に連携できるよう課題解決を図る会議

活動状況

（１）開催時期 年２回（２０１８年度実績）

（２）審議事項 ・法人全体でどのような連携体制を構築していくか、窓口整備をはじめ連携方法について検討する

- ・各関連施設の状況

- ・近隣デイサービスの休止について

- ・規約及び委員の見直しについて

- ・認知症の方への支援方法について

- ・１～３の利用方法について

- ・個別機能訓練の算定や看取り部屋の整備について

（３）人員構成 委員長１名 委員２０名

SPD委員会

物品管理状況の把握と経費削減を目的に、委員会にて報告と提案を行う。

活動状況

（１）開催時期 隔月第３火曜日

（２）審議事項 物品購買実績報告

物品消費実績報告

新規医療材料等導入案内

（３）人員構成 委員長１名 副委員長１名 委員１０名

その他委員会

- 表彰委員会
- 懲戒委員会
- 制服委員会
- 制服委員会専門部会 歯科衛生士の部
- 制服委員会専門部会 ケアワーカーの部
- 制服委員会専門部会 看護の部
- 制服委員会専門部会 事務員女子の部
- 制服委員会専門部会 介護職員の部
- 在院日数短縮推進委員会（中止中）
- 保育所運営委員会
- 乳がん健診対策とマンモグラフィ活用検討プロジェクト委員会
- ワークライフバランス推進委員会

〈藥 劑 部 門〉

〈医療技術部門〉

薬剤部理念

豊郷病院薬剤部は病院の基本理念に基づき、患者さまの安全を確保し、安心と満足が得られる質の高い医療の提供とサービスに努めます。

基本目標

1. 責任ある医薬品管理の徹底。
2. 適正な処方せんによる調剤。
3. 患者情報の収集・解析と適切な対応。
4. 医療事故防止策の周知徹底。
5. チーム医療への積極的な参画。
6. みんなが納得するサービスの提供。

1 薬剤部事業報告

薬剤部

① 概要

薬剤部では下記のスタッフにて、調剤業務、薬剤管理指導業務、配薬セット等の病棟業務、薬品管理業務、無菌調製業務（TPN、抗癌剤）、DI業務、手術・検査予定患者との外来での入院前面談業務など行っています。また、4年目となるTQM活動では診療部、看護部、医事課、地域連携室と協力して「患者さんの待ち時間が少なく、薬などの渡し忘れがなく、そして算定もれがない退院」をテーマとしたTQM活動に取り組みました。今後も、患者さんに満足していただける「スムーズな退院」の提供が定着するようにしていきたいと考えます。

② スタッフ 薬剤師 常勤：7人 事務員 常勤：1人 非常勤：2人

③ 活動実績

〔表1〕 薬剤管理指導（服薬指導）

	年間人数・件数	月平均人数・件数
薬剤管理指導人数	2,991	249.3
薬剤管理指導件数	5,920	493.3
薬剤管理指導料算定件数	5,301	441.8
麻薬指導加算件数	131	10.9
退院時指導件数	957	79.7

〔表2〕 無菌製剤

	年間延べ件数	年間延べ剤数
抗がん剤調製	175	250
TPN製剤調製	1,614	1,614

〔表3〕 入院調剤

	年間枚数	月平均枚数
入院処方箋枚数	36,538	3,045
入院注射箋枚数	38,443	3,204

薬剤処方関係

	院内				院外			
	処方料 6種類以下 (42点)	幼)処方料 その他 (45点)	処方料 7種類以上 (29点)	処方料乳 (向精神薬多剤投与) (28点)	処方箋料その他 (68点)	処方箋料7種類以上 (40点)	(乳)処方箋料(その他) (71点)	(幼)処方箋料(その他) (71点)
	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数	枚数
4月	281	2	6	6	5,510	189	6	40
5月	294	6	6	5	5,536	192	7	56
6月	252	0	5	4	5,454	188	10	39
7月	317	2	3	5	5,539	194	30	54
8月	304	0	6	4	5,752	227	14	31
9月	262	0	3	4	5,089	156	14	23
10月	297	0	5	4	6,027	203	21	30
11月	271	0	2	5	5,523	191	10	28
12月	288	0	5	120	5,509	207	21	35
1月	328	0	6	110	5,580	198	6	37
2月	274	0	1	107	5,102	197	13	22
3月	267	0	4	117	5,660	210	6	35
合計	3,435	10	52	491	66,281	2,352	158	430
平均	286	1	4	41	5,523	196	13	36

(統計：医事課)

2 医療技術部事業報告

栄養科

① 概要

栄養科では地域の中で安心して生活ができるように外来および入院患者様の栄養管理に努めています。2018年には1名増員し、栄養管理が病棟毎にきめ細かく対応ができるように多職種と連携して治療をサポートいたします。

② スタッフ

管理栄養士 4人

③ 活動実績

研究・発表会内容等

2018年6月10日

福祉サロン講座 日夏ニュータウンⅡ期絆クラブ
「糖尿病食について」

発表 篠原 ひづき

④ 研修活動

5月27日	滋賀県栄養士会研修会
6月20日	フレイルと認知症
6月29日	保健指導実践者研修会
7月7日	日本静脈経腸栄養学会近畿支部学術集会
8月4日	栄養士会生涯学習 データ処理の基本
9月1日	栄養士会生涯学習 乳幼児の食事
10月6日	NASH 緩和 献立と調理
12月1日	アレルギー 集団栄養指導
1月	日本病態栄養学会
1月26日	京滋NST研究会
1月27日	排泄ケアのABC
3月30日	滋賀県NSTネットワーク

栄養科 患者給食数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一 般 食	15,224	14,826	15,062	16,063	17,527	16,940	16,390	15,538	17,982	16,180	15,474	15,876	193,082
特 別 食	6,199	6,513	5,876	6,241	5,731	5,292	5,909	6,430	6,555	6,364	6,071	6,806	73,987
経 管 食	1,699	1,948	1,466	1,471	1,475	1,548	1,811	1,634	1,591	1,451	1,091	1,217	18,402
合 計	23,122	23,287	22,404	23,775	24,733	23,780	24,110	23,602	26,128	23,995	22,636	23,899	285,471
特別食加算の割合	26.8%	28.0%	26.2%	26.3%	23.2%	22.3%	24.5%	27.2%	25.1%	26.5%	26.8%	28.5%	25.9%

(統計：栄養科)

栄養指導実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入 院	糖 尿	7	6	4	7	13	4	5	9	4	13	11	6	89
	脂質異常症					1		1			1			3
	高 血 圧	5	7	7	12	14	11	11	14	8	21	24	13	147
	心 不 全					1	1	1		1			1	5
	腎 臓		1						1	3		1	1	7
	透 析		1	1	3	1			2	3	1	4	2	18
	呼吸器疾患					1								1
	胃 切 除 後						1		1	2				4
	肥 満							1			1			2
	嚥 下	1	2	1			1	2	1	1	1			10
	低 栄 養	1				1	1	3	3			2		11
	計	14	17	13	22	32	19	24	31	22	38	42	23	297
外 来	糖 尿	29	33	37	34	32	27	22	22	26	36	34	23	355
	脂質異常症	2	1	3	3	2	3	1	3	1	2	4	4	29
	高 血 圧	3		4		1	1	2	1	1	3	2	7	25
	心 不 全										1			1
	肝 臓										4	1	3	8
	腎 臓		1	4	2						1	2	2	12
	透 析	1	4	2	1	2	2	1		1		2	1	17
	高尿酸血症	1					1							2
	貧 血		1											1
	肥 満		1			1		2	4	2		2	2	14
	小 児	1	1								1		1	4
	特定保健指導		1			1	3	1		1		1	4	12
	計	37	43	50	40	39	37	29	30	32	48	48	47	480
総 合 計		51	60	63	62	71	56	53	61	54	86	90	70	777

(統計：栄養科)

臨床工学科

業務件数一覧

表1 急性血液浄化療案件数

	2016年度	2017年度	2018年度
血液透析	3,112	3,220	7,057
腹水濾過濃縮	0	0	0
リクセル	0	46	126
エンドトキシン吸着 (PMX)	0	4	6
LDL吸着	0	5	10
白血球除去療法 (LCAP)	0	0	0
白血球除去療法 (GCAP)	11	11	2
血漿交換 (PE)	0	0	0
CHDF	14	8	27
合 計	3,137	3,294	7,228

表2 検査業務件数

	2016年度	2017年度	2018年度
PSG解析	22	58	53
SAS-2100解析	29	56	54
PULSOX M24,Me300解析	15	28	22
CPAPカード,ICON解析	298	133	20
ネムリンク,Airview解析	870	241	42
ASV解析	1	2	0
体液量測定 (InBody)	271	488	328
エンドトキシン測定,生菌培養	76	143	133
合 計	1,582	1,149	652

表3 院内ME機器点検件数

	2016年度	2017年度	2018年度
人工呼吸器	122	143	106
ベッドサイドモニター	847	882	856
送信機	8	13	9
輸液ポンプ	84	178	169
シリンジポンプ	37	85	66
除細動器	9	6	6
超音波ネブライザー	46	75	120
バックバルブマスク	0	41	71
合 計	1,153	1,423	1,403

表4 透析関連機器保守点検件数

	2016年度	2017年度	2018年度
コンソールDCS-100NX	56	56	56
透析液供給装置DAB-20	936	939	936
RO水処理装置	936	939	936
個人用透析装置DBG-03	8	8	8
個人用透析装置DBB-100NX	4	4	4
A溶解装置	936	939	936
B溶解装置	936	939	936
合 計	3,812	3,824	3,812

表5 手術室保守点検業務

	2016年度	2017年度	2018年度
麻酔器	68	125	120
電気メス	1	0	0
手術台	0	3	0
合 計	69	128	120

業務実績

外部研修会

第79回湖北透析談話会	4月	長浜
第16回滋賀県臨床工学技士会総会・学術大会	4月	草津
新人ふれあいフェスティバル	4月	彦根
簡易SAS診断研究会	5月	名古屋
第28回日本臨床工学会	5月	横浜
豊郷認知症セミナー	6月	大阪
第63回日本透析医学会	6月	神戸
第13回びわこ臨床透析カンファレンス	7月	大津
湖北ばスキャラアクセス研究会	8月	長浜
医療機器における電波の安全性に関する説明会	7月	大阪
滋賀県臨床工学技士会CE代表者会議	8月	大阪
第22回血液浄化セミナー	8月	草津
医療機関において安心・安全に電波を利用するための手引き	9月	豊郷
第5回京都SAS MANABIYA	9月	京都
第39回日本アフェレイシス学会学術大会	10月	岡山
第79回湖北透析談話会	10月	長浜
第20回湖北透析ME談話会	11月	長浜
第6回ネーザルハイフロー療法勉強会	11月	大阪
医療ガス安全講習	11月	豊郷
第16回呼吸療法セミナー	12月	草津
第18回急性期NPPV研究会	12月	京都
COOPDECH1級メンテナンス講習会	12月	豊郷
BLS研修	12月	豊郷
MEスモールセミナー	1月	草津
第10回東近江透析医療連携フォーラム	2月	近江八幡
第3回京滋血液浄化講演会	2月	京都
第1回キャリアアップ研修会	3月	東京
在宅人工呼吸器に関する講習会	3月	大阪
第17回関西透析超音波研究会	3月	大阪

院内研修会

新人看護師研修	4月
新規CPS-120 シリンジポンプ	5月
新規CPS-120 シリンジポンプ	6月
Canon Sonosite	7月
富士フィルム Viano	7月
ネーザルハイフロー	7月
バスキュラーアクセス	7月
SAS ソムノスクリーン	8月
マスクフィッティング	8月
新人看護師研修(フォローアップ)	9月
モニター	9月
体外式ペースメーカー	10月
ハミルトンASVモード	10月
Nox A1(SAS)	10月
輸液ポンプ・シリンジポンプ	10月
人工呼吸器	11月
bellavista 人工呼吸器	12月
積層型ダイアライザー	11月
シリンジポンプ、加温加湿器	11月
特殊浄化	1月
透析アミロイド症、リクセル	2月
ALOKA ARIETTA	2月
除細動器	3月

放射線科

※活動状況及び放射線撮影データは(38)頁参照

臨床検査科

※活動状況及び検査データは(42)頁参照

〈看 護 部 門〉

看護部の理念

その人らしさの回復をめざし
その人らしく生きることを支える

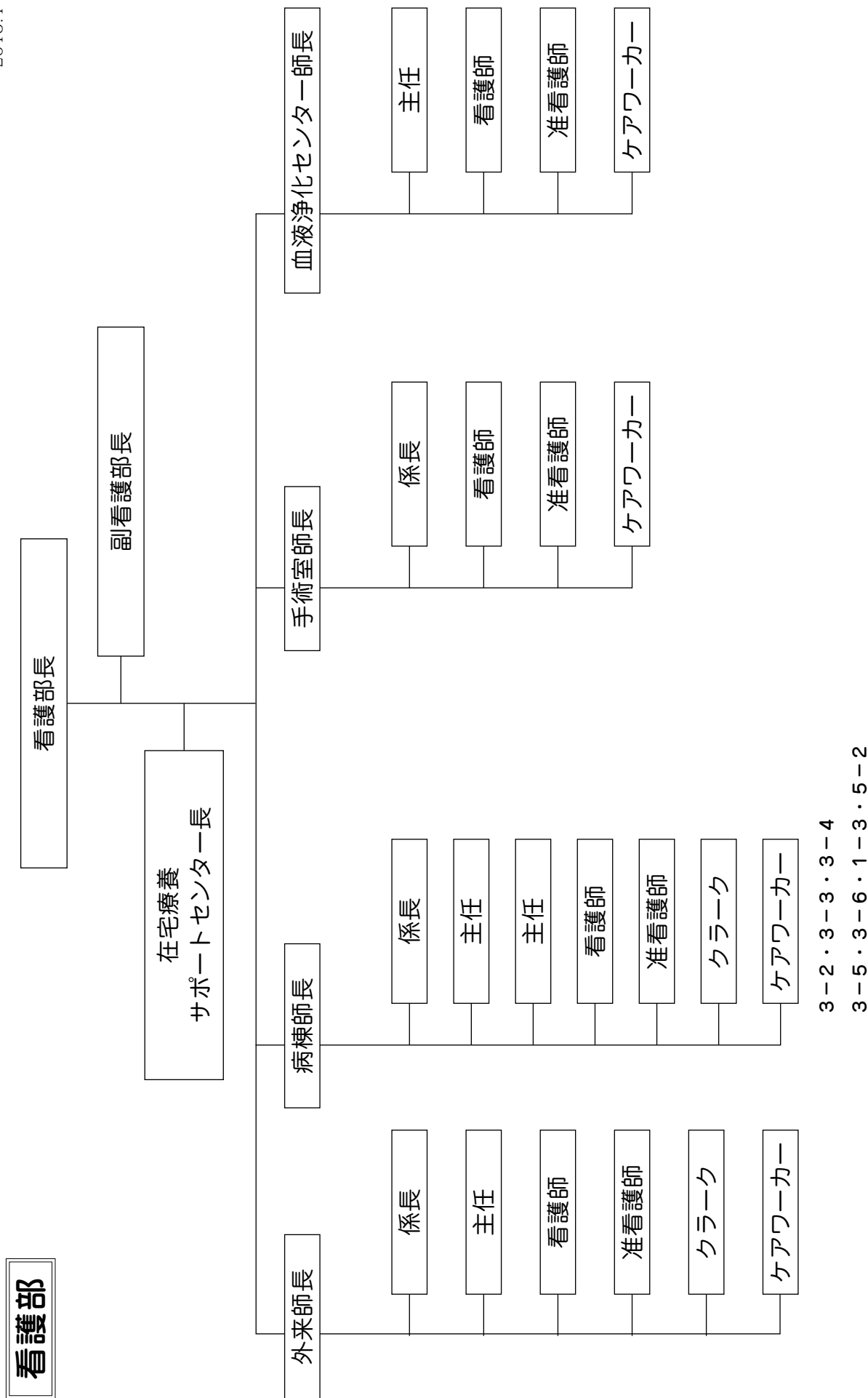
看護部の基本方針

- 地域医療計画に基づき、病棟、病院、地域、施設との看看連携を促進し、切れ目のない看護サービスを提供する
- 患者・家族を中心として仲間及び多職種と協働できる向上心ある組織風土を築く
- 自立支援、意志決定支援につながる看護技術およびコミュニケーション能力の向上をめざす
- 「育つ」「育てる」人材育成のできる教育的環境を整える
- リスクマネジメントを推進し、医療事故を未然に防ぐ
- コスト意識を高くもち、効率性を考えムダ・ムリ・ムラをなくす

公益財団法人 豊郷病院 看護部

2018.4

1 看護部組織図



2 看護部運営委員会組織図

看護部運営会議	
看護部長：力石	看護副部長：片山
レインボウ統括所長：谷川	看護副部長：外川
教育担当師長：川口	新人教育担当師長：木村
准看護学院：川合	パストラル師長：堀尾

看護サービスの質を向上させるための教育及び看護職員の人材活用を効率よく進めるための方向性を決める

不定期 17:00 ～

師長会	
看護部の目標に則り、次の事項を審議し決定する 看護管理（業務・労務・健康管理等）に関すること 各部署、各委員会の運営に関すること 看護職員、学生・研修生の教育・研修に関すること 他職種、事故対策に関すること その他看護部内の諸問題に関し、必要なこと	

月～土 8:15～8:25 朝ミーティング

ベッドコントロール

伝達事項

インシデント・アクシデントの情報共有

応援体制の調整

タイムリーな情報共有と部署連携

第2火曜日 15:00～16:50

第4木曜日 14:30～16:30

教育委員会	業務委員会	感染ナース委員会	NST・褥瘡リンクナース委員会	リスク検討委員会	看護記録委員会	クリニカルパス委員会 (病院組織)	看護倫理委員会	継続看護委員会	主任会	臨床指導者会	新人研修担当委員会	PNS推進委員会
委員長 川口 副委員長 野田	委員長 大辻 副委員長 寺田 CW業務委員会 委員長 古田 副委員長 種村	委員長 西川 副委員長 竹内	委員長 西村 副委員長 中江	委員長 田畑 副委員長 横田	委員長 古川 副委員長 田中	委員長 古川 副委員長 古川	委員長 古田 副委員長 山本	委員長 加藤 副委員長 外川	委員長 外川 副委員長 鉦立	委員長 古川 副委員長 伊知地	委員長 木村 副委員長 森田	委員長 猪田
第1木曜日 14:00	第3月曜日 14:00 第4金曜日 15:00	第2金曜日 14:00	第3水曜日 13:30	第2木曜日 14:00	第2月曜日 14:30	第2水曜日 15:00	第3木曜日 14:00	第3木曜日 15:30	年6回 時間未定	年4回 15:00	第3金曜日 15:00	不定期 第1金曜日 14:00 第4火曜日 14:00
院内教育計画の立案・研修会の運営・評価 看護研究発表・レビュー その他	看護基準・手順の検討及び見直し 業務改善検討 安全管理検討 その他	感染マニキュアル作成及び更新 新医療従事者への教育 サーベランスIC T委員会に所属し活動 その他	院内褥瘡対策チームとして作成 のレポート作成 対応策の検討 診療計画書作成 褥瘡回診 NSTリンクナースとしての活動 その他	提出レポートの分析 マニキュアルの作成 情報の共有化 リスクに関する教育・評価 その他	看護支援システムにおける問題点の抽出 記録監査 患者参画型看護計画の導入 医療・看護必要度に関する指導・研修 記録との連動に関する事項の検討 その他	クリニカルパスの開発と更新 地域連携パス検討 その他	日本看護協会の倫理綱領を元に事例検討 日常の態度・行動に関する職員教育 その他	退院調整に関するマニキュアルの検討と見直し 院内及び関連施設との連携 継続看護の体制整備 その他	スタッフ教育・指導 チームナースング チーム内業務改善 役割分担	実習計画 実習指導 実習評価 実習指導体制	新人臨床研修指導体制の構築 計画 指導 評価 プリセプターのサポート 新人サポート	PNSを推進するリーダーの育成 各部署におけるPNSの確立 改善方法の検討

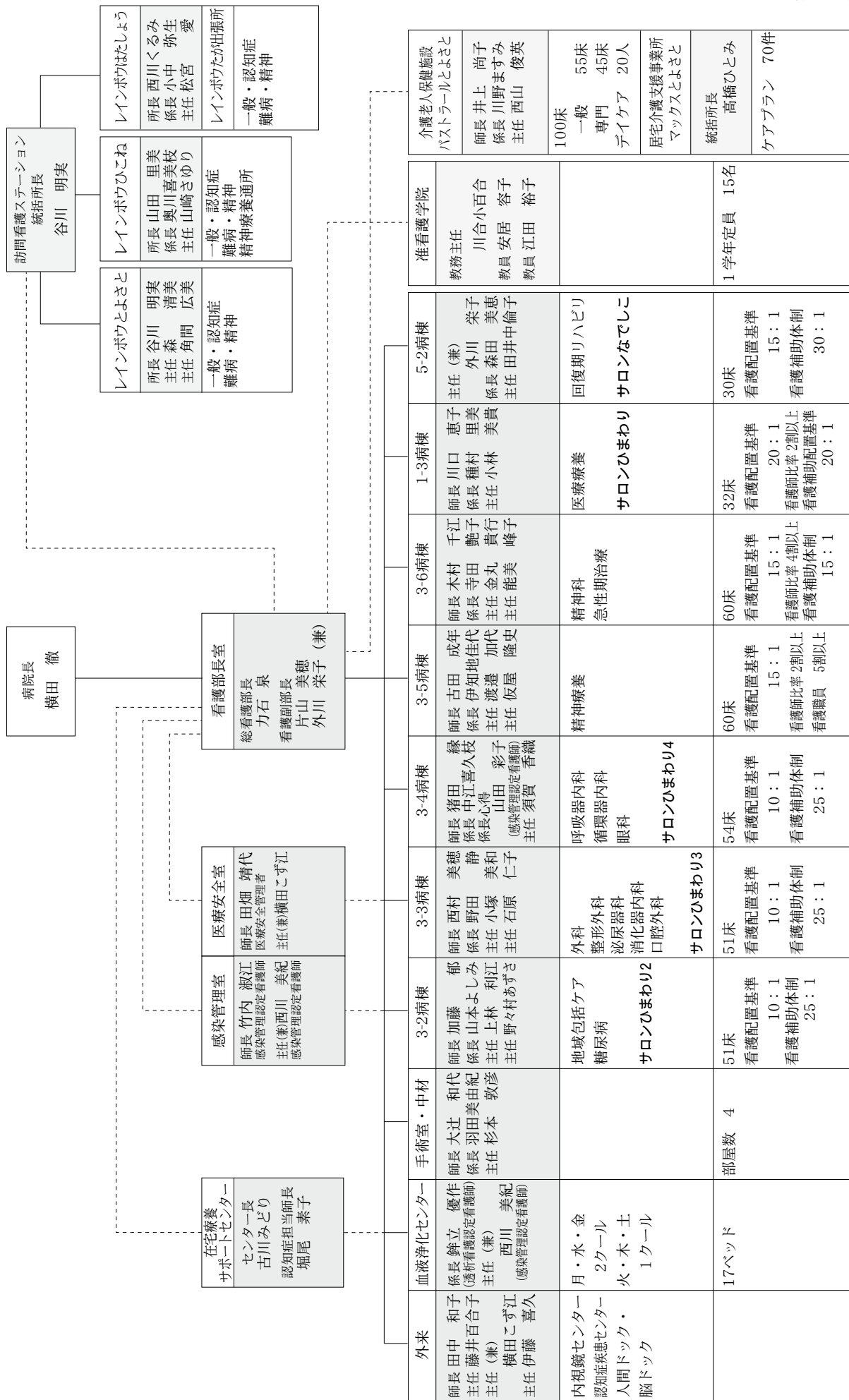
*上記の看護部運営委員会議事録は、第2会議室の棚に保管する。議事録は、3年間棚に保管することとする。

*第2会議室及び棚の鍵は、看護部長室に保管する。

*会議終了後、委員長は速やかに看護部長に報告すると同時に議事録を綴じて閲覧できるようにしておく。

3 看護サービス提供組織図

2019.1



4 看護部目標及び評価

部 署	目 標	評 価
看護部	1. その人らしい生活・生き方を支えるために、患者が主体となり受け持ち看護師とパートナーを組む。患者と受け持ち看護師が互いに以下の8つの要素をもって同じ目標に向かって取り組む。 1) 互いを理解する 2) 互いを信頼する 3) 互いを尊敬する 4) 患者のもつ力を引き出し、互いの持ち味を生かす 5) 互いの役割を理解する 6) 共に課題を乗り越える 7) 意思決定を共有する 8) 共に学ぶ 2. 新たな教育体制を活用し、個々の看護職員が自己の強みと弱みを認識し、看護実践能力・マネジメント能力向上を自覚し、努力する。 1) 患者のための看護実践能力の向上を考え行動する 2) チーム・組織のためのマネジメント能力の向上を考え行動する	1. 在宅療養サポートセンター（とよサポ）による地域との連携件数は、増加し続け、2019年度は年間1795件月平均150件となった。200件を超える月もあった。外来看護師が、患者へ関心をもつようになり多くの気づきが得られるようになった。外来看護師の気がかりは、とよサポ専従看護師に連絡し、地域からも十分な情報を得てアセスメントし対応できることもある。電子カルテ上、とよサポ看護師が介入していることが、わかるようにした。入院時に、認知機能や生活環境の情報がわかることで、入院当初より環境調整ができ、患者への個別対応につながることもあった。看護師が、受け持ち患者のカンファレンスをもちかけるなど少しずつ患者との相互理解に取り組んではいる。しかし、患者・家族との対話不足により、受け持ち看護師として患者と同じ目標に向かって取り組むまでには至らないこともある。今後は、そうした看護師への指導についてのしくみを考える必要がある。 2. 日本看護協会が公表したクリニカルラダーを基本に、看護部で行動レベルでの文言を追加しラダーを作成した。クリニカルラダーの評価方法が、看護師により異なっていたため、看護部として統一した評価基準を作成し、年度末に再評価した。教育委員会は、今年度よりラダー別の研修を活発に開催した。そのため個々の看護師は、自分のラダーを認識し看護実践能力を向上しようと積極的に研修に参加できた。評価結果を、次年度の目標管理に活かせるようにしていくためにマネジメント能力の向上もめざした。今年度日本看護協会がマネジメントラダーを公表した。しかし当面は、看護部独自で作成したマネジメントラダーを卒後3年目以上が評価することとし、年度末に評価した。主任会では後輩育成のための具体案を实践して評価できた。しかし、係長が各部署でのマネジメント能力をいかに発揮するか認識できず行動できていない。次年度の課題とする。

部 署	目 標	評 価
3-2 病棟	1. 患者本人の意思決定を支援し、退院支援を小チームで協力して行うことができる 1) 本人の意思・意向を確認し、コミュニケーションシートに入力して、情報を共有する 2) 決められた日に、チームカンファレンスの司会として役割を果たし、問題提起できる 3) 師長・係長・主任がファシリテートして、効果的なチームカンファレンスにする 4) カンファレンスを開催するにあたって、患者・家族はもちろん、主治医・栄養士・薬剤師・外来看護師に参加を呼びかける 5) 退院後に、自分たちの退院支援を振り返る「振り返りカンファレンス」(デスクカンファレンスも含めて)を行う 2. 新人看護師と共に、全スタッフが成長できる。 1) 新人看護師研修担当者・実地指導者を中心に、全員が新人看護師を育てる意識をもち、関わる 2) 共に働く仲間として新人を迎え、共に学ぶ姿勢で相互が協力する	1. 1) 受け持ち看護師を中心に患者や家族の思いを確認して、ケアに取り組んでいる。しかし退院支援に関しては、患者と家族の意向が違うこともあり、患者の思いに添えないこともあった。患者と家族の双方が納得して退院の日を迎えられるような調整が必要であった。他職種と口頭での情報交換はできているが、コミュニケーションシートへの記載が不十分で看護師とMSWしか活用していない。 2) 深夜看護師や前日に入院を担当した看護師を中心に、朝のカンファレンスを実施している。 3) カンファレンスが申し送りに移行してしまうことも度々あり、カンファレンスの進め方を再確認する必要がある。カンファレンスが業務に支障をきたさないように、リーダー看護師や管理職がファシリテートできるように学習する必要がある。 4) 受け持ち看護師がMSWと調整し、可能な限り他職種を交えた退院前カンファレンスを実施して必要な指導につなげている。 5) 実施できていない。 2. 後半は新人看護師が一人で動けるようになってきたことに加え実地指導者の退職が重なり、新人教育の意識が希薄になってしまった。新人教育を評価し情報を共有することができていなかった。新人には技術面ばかりでなく、内面的自立に向けたサポートが必要であった。

部 署	目 標	評 価
3-3 病棟	1. 看護の感性を高められるように取り組む 1) 受持ち患者を知ることからはじめ、共に目標に向かって看護していく 2) 考える力、気づく力、見極める力、解決する力をつける 2. 看護師個人のもつ強みを最大限にいかして、患者・家族により良い看護サービスを提供する 1) パートナーと共に委員会・病棟での係りの活動を行う 2) 個々の強みをいかす取り組みをする 3) PNSでのマネジメント力を鍛える(4年目以上) チーム目標 ○ブルーチーム 2ヶ月に1回、テーマを決め、メンバーにメッセージカードを書く。良いところや悪いところ、行動の傾向などをチームで意見交換する。自分に対する周囲の評価を聞いて、スキルアップに繋げる ○ピンクチーム 自分と違うところを発見する 1) 2週間に1回は受持ち患者と話す機会をつくる。その内容をコミュニケーションシートに記録として残し、看護に繋げる 2) 毎月、チームの誰かと会話する時間をもつ コミュニケーションをとって他人の意見や考えを知ることによって自分を振り返り、感性を高める機会にする ○イエローチーム なんか違う！に気づける 1) PNSパートナーとたくさん話をする 2) 考える力をつける(先輩は後輩が自ら考えられるように介入する) 3) 看護記録の充実をはかる(パッと見て患者の状況が分かるように)	1. 1) 受け持ち患者を知るために、ケアマネジャーからの情報提供書や患者本人・家族から情報を得る取り組みはできたが、看護計画を共有し共に目標に向かうことに関しては不十分な点があった。 2) 4つの力について中間・最終評価を行い、自己の振り返りを行った。成長や課題が見え、一定の成果があった。リーダーからのフィードバックも効果があった。 2. 1) 係の活動は、チームにより差はあったが成果があった。委員会活動は、委員だけが動いていた。 2) 個々の強みを自分も周囲も把握し、強みに応じた役割ができた。 3) 1名がリーダーとして自立し、もう1名も育成途中である。

部 署	目 標	評 価
3 - 4 病棟	1. 患者と共に考えることができる 1) カンファレンスで受持ち患者の看護計画を発表し、継続した安全な看護の提供に努め、患者の理解に繋げる 2) 患者の IC には必ず同席し、記録に残す。意思決定の場面では、患者・家族の気持ちを共有し、支援することができる 3) 看護の振り返りができるように、カンファレンスや病棟会議で患者を決めて話し合う場を設ける 2. 看護実践ラダー、マネジメントラダーを活用し、各自が目標に向かって実践できる 1) 全員が年間目標を設定し、評価、面接を行い、看護実践能力・マネジメント能力の向上に向けて実践できる 2) 全員がキャリアファイルを活用できる 3. PNS のパートナー同士が互いに高めあうことができ、受持ち患者の看護を共に考え、実践できる	1. 1) 火曜～土曜日まで、看護計画を発表する担当者と書記を決めた。受け持ち患者のカンファレンスを行うことで、スタッフの意識が上がった。ただ、患者がどのような生活をしていたか、患者や家族の思いなどの情報が不足していた。 2) IC の時には受持ち看護師が同席し、患者・家族の思いを聞くようにした。今後は、スタッフ間での情報共有が課題である。 3) 2 回のデスカンファレンスを実施した。スタッフは色々な思いを抱えて業務にあたっており、患者・家族の気持ちだけでなく看護ケアについても振り返ることは、今後のケアの質を高める取り組みになると考える。 2. ラダー表の活用は十分にできていない。目標を立て実践することには、個人差がある。看護をしていて楽しいと感じるスタッフが増えたことは、評価できる。 3. パートナーと話し合い共に考えることが十分でなく、PNS が機能していないと感じるところが多々ある。インシデントが多いのもそこに原因があると思う。お互いが、どう考えてどう行動すればよいのか見つめなおす必要がある。

部 署	目 標	評 価
3-5 病棟	1. 患者の生活支援・意思決定支援とともに、自律性を回復し「その人らしい生活」の獲得ができるように支援する。 1) 患者の全体像を理解した上で、患者・家族の意思確認に基づいた看護を提供する ①エンディングノートを再作成し、患者の意思確認・家族への伝達を行う ②医師と共に急変時の定義と対応を共有する ③看護要約（6ヵ月）の必要性を理解する 2) 有効なカンファレンスで、患者理解を深める ①カンファレンスの内容を定期的に見直す ②カンファレンスの運用マニュアルを見直す ③ ADL 表を見直し、患者の現状の把握に努める 3) 退院支援委員（PSW・Ns）を中心に、在宅療養を見据えた支援に取り組む ①患者の退院に関する意思を確認し、共有する ② PSW との情報共有化方法を確立する 2. 看護実践能力向上のため、スタッフのスキルアップを図る。 PNS の意味を理解し、患者に関心を高めて患者理解を深める 1) PNS 導入することの意味を理解する ① PNS 委員を中心に、勉強会などの実地と参加に取り組む ②パートナーと協働することで、個々の短所・長所を知る 2) 受持ち看護師と CW のサポート体制を明確にしておく ①業務委員と CW 委員を中心に業務基準・マニュアルを見直す 3) 病棟勉強会を開催し、精神科看護の理解を深める ① e-ラーニングを利用して、勉強会を毎月開催する	1. 1) ①今年度もエンディングノートを作成した。患者から聞き取った意思を記入することで、家人とのギャップが明確になった。しかし、家人に患者の意思は伝達できておらず、ギャップは埋まっていない。 ②医師と急変時の話し合いができていない。転棟してきた患者の意思確認ができていないケースもある。 ③7月と2月に看護要約をした。共通理解のためのカンファレンスはできていない。 2) ①②カンファレンスは、時間が超過することがある。司会者に、意識向上とスキルアップが必要である。 ③ ADL 表が適宜見直しできていないケースがある。ADL 表が使いこなせていないため、次年度は ADL 表のあり方を検討していく。 3) ①患者に聞き取りができていない。退院支援ファイルの活用もできていない。今後、具体的な対策を考える。 ② PSW が産休に入り連携が以前より取りにくくなっている。 2. 1) PNS 委員会の委員長を迎え、勉強会を実施した。PNS への理解は深まったと思われるが、ペアでの活動はできていない。スタッフ数が少ない中での PNS を考えていく必要がある。 2) マニュアルの見直しはできている。スタッフにより認識不足があり、インシデントにつながったケースもある。看護師と CW の協働体制はまだ確立しておらず、今後情報共有の場を作っていく必要がある。 3) 看護師は毎月 e-ラーニングをほぼ全員が視聴している。しかし CW には未視聴者がおり、啓発が必要と考える。勉強会は実施できていない。

部 署	目 標	評 価
3 - 6 病棟	1. 患者の入院前後の生活状況を情報収集し、その人らしい生き方を考え、安心・安全な生活のバランスが整うように支援する 1) 看護師は患者を理解し、患者のもつ力を引き出す 患者と看護師は互いの持ち味を活かし、意思決定を共有する ①看護師は、PNS で行動する ②看護師は、PNS 情報を共有する ③看護師は、PNS で患者と一緒に日々の計画を立てる ④患者の情報を日々の生活の中から収集する ⑤患者のできること、できないことを PNS で把握する ⑥カンファレンスで、患者にとってその人らしい生き方を他職種に伝え、連携する 2. 自己の目標が、患者中心の看護に繋がっている 個々の能力をアップするために、意識的に病棟の役割・研修会・e-ラーニング等に取り組む 1) 自己学習は計画的に行う 2) 病棟の役割は、計画を立て行う 3) 振り返りは年に 2 回 (9 月 3 月) 実施し、記録に残す	1. ①②③精神科急性期病棟となり多忙な中 PNS で動くよう努力しているが、今までになかった処置も増えスタッフのインシデントが目立った。スタッフに欠員が出て、PNS 活動も成立しなくなり患者と一緒に日々の計画を立てることはできなかった。 ④⑤受け持ち看護師は患者のできる事できない事を理解していても、看護サマリーには患者の個別性が反映されていない。 ⑥カンファレンスで、患者にとってその人らしい生き方を他職種に伝えることはできていない。 2. 年間計画書を書くことで目標ができ、学習する意欲に繋がっている。面接をし、振り返りすることができた。

部 署	目 標	評 価
5-2 病棟	スタッフ・患者・家族は、お互いがお互いを支えあい、尊敬し認め合う 1. 日常の正早安楽(せいそうあんらく) 正…より正しく 正確に、患者・家族に情報を伝える チーム間で正しい情報共有を行う 早…より早く 何事においても、患者・家族対応は早急に行う 家族には、早めに情報を伝える 仕事は速さも大切だが、確実にを行うことも大事 安…より安全に 患者に合せた環境調整を行い、安全を提供する 安心・安堵できる入院生活の提供 楽……より楽しく 仕事が楽しいと思える病棟をつくる 仲間意識、お互い様の気持ちを持つ 2. 毎朝の1分間スピーチ *何でもいい、一言でもいい (今日の自分、今の気持ち、やる気、今の色、俳句、川柳など) →相手の話をよく聞き、相手の考えを知る 3. 月1回、受持ち患者の事例検討 *受持ち患者を通して、今の状況・今後の方向性を語る →相手の意見を良く聞き、相手の意見を参考にする	スタッフ・患者・家族は、お互いがお互いを支えあい、尊敬し認め合う 1. 正：情報ツールとして患者が自身のことを一目で分かるように「わたしのしおり」を冊子で作成した。患者・家族に説明し、内容に変更があったときにも説明し、変更札をつけて、面会に来た家族にも目を通してもらえるように工夫した。チームでの情報共有としては、新たな情報は連絡簿に記入しカンファレンスでも報告している。また常日頃、来院した家族には必ず声を掛け、患者の様子を伝えている。 早：患者の転倒転落や、いつもと違う状況の時はキーパーソンに連絡し状況を説明できた。家人の面会には「いつもありがとうございます」「今こんな感じです」等、常に声を掛け良好な関係を保つようにしている。スタッフとの面談で、仕事の質に関したことを伝えている。 安：生活情報用紙を含めた事前情報でベッド環境を整え、入院した患者と家族の意見を反映して再度環境調整を実施している。入院中は、個々にあわせた関わりで、患者が安心安堵できる入院環境を提供したが、昨年度よりも転倒転落の発生が多かった。予測不可能なものもあったが、防止可能な転倒転落もあったのではないかと振り返った。 楽：「自分が変われば人は変わる、お互い様の心で」を人権目標としている。スタッフが急病の時は、嫌な顔をせず勤務交代ができています。互いに気遣うことができる雰囲気になっている。なでしこも患者とスタッフが寛ぐ良い雰囲気になっている。人手が足りない時にモチベーションを上げるために、スタッフの尊敬できるところをそれぞれが書いた「みんなのよいところなとこ」冊子を作成し、各自が自分はこの風に使われているのだと再確認した。 2. 5月から12月まで土日を除く毎日、1分間スピーチを実施した。担当者が用紙に内容を記入してファイルに綴じ込み、いつでも読めるようにしている。感動したり共感したり、毎朝楽しく聞いた。1月2月はスタッフ全員の良いところをメッセージカードにまとめた。 3. 5月からカンファレンス表に担当を書き込み、発表者とファシリテーターが召集をかけ事例検討を行った。スタッフの意見を聞き、今後の方向性が共有できている。ファイルに綴じ、振り返れるようにしている。

部 署	目 標	評 価
1 - 3 病棟	1. 受持ちになったら、必ず患者と家族に挨拶に行き顔を覚えてもらう 2. 受持ち患者と家族に積極的にかかわり互いを理解し意思決定を共有する 3. 受持ち患者の看護計画・評価を、スタッフに伝えることができる 1) 朝のカンファレンスで看護計画と評価をスタッフに伝達する 2) 患者の持つ力を引き出す看護計画を立案する 4. 患者の状態変化に応じて、看護計画を見直す 1) スタッフ間で、計画の見直しや追加の声を掛け合う 5. 自分の弱みと強みを理解し、目標を立てて学習に取り組む 6. 受持ち患者に関して必要な他職種と連携を考え、カンファレンスで提案し発言することができる	1. PNS 体制になり、朝に必ず挨拶に行くようになった。 2. 受け持ち看護師としての自覚ができ、患者に対する姿勢が変化した。病棟編成が決まった後には、受け持ち患者の転院サマリーは責任をもって作成できた。病棟編成に伴い、患者と家族の思いを聴き、病棟全体で思いを共有し患者支援につなげることができた。 3. 受け持ち患者の看護計画の立案と評価ができた。カンファレンスで定期的な発表はできなかったが、活発な意見交換はできた。後半になると、カンファレンスでスタッフみんながリハビリの計画を考えるなど、患者への関わり方や対応に関する計画を話し合うことが増えた。 4. 看護計画の見直しや変更には個人差があり、後追いになっていることもあった。転入ばかりであったが直接入院が増え、看護計画の立案もできた。 5. 目標を立てて学びを深めていくスタッフもいたが、そうでないスタッフもいた。 6. 他職種との連携は、その都度連絡を取った。患者の経過や変化を共有する場を持つことは少なかったので、今後はカンファレンスで共有していきたい。

部 署	目 標	評 価
外来	1. その人らしい生き方を支えるため、 外来看護師は病院と地域のつなぎ役 である事を意識する。必要時は、と よサポと連携をとって支援する 1) 情報を多方面（ケアマネ、訪看、 患者、家族、病棟スタッフ、医師 等）から得ることで、地域の生活 がイメージできる 2) 意思決定時には立会い、患者・家 族の思いを引き出す 3) 知り得た情報は記録に残し、スタッ フ間で共有する 2. 自己の強み・弱みを認識し、看護部 ラダーに沿った具体的行動レベルで の目標を設定し、年度末に評価でき る 1) 面談の実施 2) 研修会・勉強会への参加 3) e-ラーニング受講	1. 1) とよサポに相談することはできても、継続 して外来看護につなげることができていな い。業務優先で、患者への関心が薄いのと、 問題に気付いても対処方法などが理解でき ておらず、その結果とよサポに丸投げ状態 になっている。入院時にも、表面的な情報 は病棟に伝えても、患者・家族の思いや困っ ていることなど深い部分の伝達ができてい ない。外来・とよサポ・病棟の連携を密に するために、情報共有用紙を活用すること と、退院時カンファレンスに参加すること で患者に関心をもち地域での療養生活に思 いを馳せる時間をもつことが必要と考える。 2) 外来協力体制の強化を目的に、A・B・Cと 3つのグループに分けた。しかし、スタッ フの交代もあり、グループごとの動きや意思の 統一が現状図れていない。そのため、ACP 場面に同席するのは大半が外来看護師では なく、とよサポ対応となっている。まずは、 看護師が患者に関心を持ち、関係性を構築 するところからスタートする必要がある。 3) 外来での情報は、個人差はあるが入力でき るようになった。しかし病院での処置や現 状の記録が主で、自宅での様子が記録され ていることは少ない。必要な情報を記録に 残すため、記録委員と連携してスタッフへ の周知を検討していく。 2. 1) ラダー面談が十分でなく、曖昧なまま研 修に参加したスタッフもいた。次年度は、 ラダーや目標の設定を面談で丁寧に行う。 個々の目標設定が具体的でないために、自 己評価も難しく、やる気に繋がっていない。 2) 必須研修には参加できているが、やらされ 感がある。黒ファイルの活用も十分ではな い。自ら学びたいと院外研修を希望するス タッフも若干いた。他のスタッフへの刺激 となるよう、伝達交友の場を設けるなど工 夫していきたい。自己学習の必要性をス タッフが自覚するためにどう働きかければ よいのか、教育委員と検討していく。 3) 外来での e-ラーニング受講科目を 12 決め て表を作成したが、数名しか受講できてい ない。個人差が大きい。受講後のレポート 提出が課される等、負担が大きいと感じる スタッフは受講をしない。楽しみながら学 べる環境作りも必要と考える。教育委員と 協力して、受講率を上げていきたい。

部 署	目 標	評 価
とよサポ	1. 患者自身、または患者を取り巻く支援者らと連携・協働し、安定した在宅生活が維持でき、治療面と生活面の両方を支えるために、医療と介護の調整と指導に取り組む 2. 患者の入院前から外来看護師や多職種と協働して、計画的に退院支援・退院調整に繋げられるように連携し、患者が安心して入院生活に入れるようにする	1. この1年、相談件数は右肩上がりに増加してきた。外来看護師・医師からの報告・連絡・相談が増えている。訪問看護・ケアマネとの協働に加え、地域包括支援センターとの共同も増えた。ただ、病棟とのパイプは太くならないまま、退院前カンファレンスの連絡も相談室から入るケースが多い。次年度は、院内の看看連携に努めたい。 2. 予約入院のチェックリストを作成し、入院時支援に取り組んだ。相談室・栄養師・薬剤師と入院前から連携することで、入院直後から介入が可能になった。また、入院時オリエンテーションを担当することで、患者の様々な思いを聞くことができ、それを病棟につなげることができるようになった。次年度は、看護計画を含めた支援を考えていきたい。
血液浄化センター	「安全・安楽な透析を行うため、患者の思いを支援し、より良い医療・看護を提供する」 1. 患者と受持ち看護師が看護計画を活用し、課題を共有し予防的・継続的に関わる 1) 看護計画は定期的に評価を行い、患者と共通目標を持つ 2) 患者の意思決定支援を行い、必要な箇所へ繋いでいく 2. 安全・安心な透析治療 1) ベッドサイドでの観察を密にし、異常の早期発見をする 2) KYT・KYKを促進し、インシデントを減少させる 3) 環境整備を行う 3. 透析に関わる知識と技術の向上 1) 透析ラダーコルフ分類に応じた教育を行う 2) マネジメント力向上のために、自己学習に励む	1. 担当看護師を中心に看護計画を評価し、透析室全体で看護介入ができています。患者と看護師が共通目標をもつという点は、まだ十分ではない。共通目標に関して勉強会を実施した。 2. KYTは毎月担当者を決めて透析室全体で取り組んでいる。リスクマネジメントの強化も行っている。危機管理のためにも、患者の状態を理解するアセスメント力を強化する必要がある。KYKは3カ月ごとに実施して、医療事故防止に役立てた。 3. 透析ラダーを基にスタッフを育成している。新しいスタッフも増えたので小目標を立て育成し、リーダーの役割も担えるようになってきた。経験豊富なスタッフは指導的な立場を担っている。

部 署	目 標	評 価
手術室	1. チームとして継続看護を実践していく 1) 手術対象の患者を中心に、病棟看護師と共に周手術期患者の社会復帰を援助する ①病棟・外来・コメディカルとの連携を密にし、チームで情報の共有を図る ②術前訪問・術後訪問を行い、周手術期の看護問題を把握し計画実践していく ③患者の意思と希望をできるだけ尊重する 2. スタッフそれぞれが看護実践能力とマネジメント能力の向上に努力する 1) 手術室看護学会への出席や、その伝達講習を実施することで共に学びキャリアアップに繋げる 2) 看護の質を高めるために、術前ディスカッションと術後の振り返りを行う 3) 振り返りで得たものは、スタッフ間で共有する	1. 状況が許す限り患者には術前訪問をして、局所麻酔の患者にも術前訪問ができたことは、大きな変化である。必要に応じて病棟看護師とも情報交換して、問題を共有できている。患者からの希望があった場合は、丁寧に返答し不安の除去を図っている。しかし、術中のインシデントや皮膚の異常に関して、病棟での経過が手術室看護師に届くことはない。術後の情報を得ることで、今後の看護に生かすことができると考える。次年度の課題として考えていきたい。 2. 今年度は手術室クリニカルラダーを活用した。しかし、通常業務に追われ学会や院外研修にはほとんど参加できていない。個々人のレベルアップの必要性は痛感しているため、参加できるよう考えていきたい。
医療安全室	1. 医療安全マニュアルを遵守させ、インシデント・アクシデント事例の軽減に努める 1) 医療安全管理委員会メンバーが中心となり、医療安全ラウンドを行う 2) インシデント・アクシデント報告は速やかにレポート入力してもらう 3) レポート報告から、マニュアルが遵守されているか師長会を通じて確認し、状況によりラウンドの実施やマニュアルの見直しに繋げる 2. 現場の安全管理推進のために、リスクマネジメントを浸透させる 1) 職員の安全管理に対する感性を高める ①医療安全研修会の1回を「チームステップス」研修とする 2) リスクマネージャとの連携を図る ①事例報告の内容や改善策をRMと確認し、部署内で取り組んでいけるようにする	1. レポート報告事例を基にラウンドを実施した。ラウンド結果をRMに報告し、各部署で改善策の検討と周知をした。レポート報告が入力されていない時には、安全室からRMやリスク委員に連絡して入力を促した。師長会でマニュアルが遵守されているのかどうかの確認はできなかった。しかしマニュアルが周知できていない事例に関しては、情報収集とラウンドを行い、改善策を検討しマニュアルの見直しもした。 2. 1) チームステップスの研修会で、チーム力の大切さと「SBAR」での報告を理解してもらうことができた。現場での実践はまだ評価できていない。次年度の「RRS」への取り組みの中で、リスク委員を通じて状況を把握していく。 2) RMと事例検討(RCA分析)を行うことはできなかった。レポート報告事例についてはRMを通して情報収集し、各部署で検討した改善策を実施してもらった。

部 署	目 標	評 価
感染 管理室	1. 血液媒介病原体による職業感染対策の推進 1) 鋭利器材の適切な取り扱い ①リキャップしない ②安全装置器材の正しい使用 2) 防護用具の適切な使用 ①採血・静脈確保時の手袋 ②喀痰吸引時等のゴーグル ③救急外来や観血的処置時のフル PPE 3) サーベイランスの継続 4) 血液・体液曝露防止月間による啓発 5) 曝露事例発生時の HIV 検査の導入 2. 手指衛生の遵守率と消毒剤使用量の向上への取り組み 1) 手指衛生の実施状況調査 2) 手指消毒剤の使用量調査 3) <u>医師・コメディカル・事務への啓発</u> 4) 手指消毒の場面でクロスモニタリングの導入 3. CLABSI 発生ゼロ 1) サーベイランスの継続 4. 抗菌薬の適正使用 1) AST の結成 2) 届出抗菌薬使用量の減少 3) デーエスカレーションの重要性の啓発等 5. ムリムダムラのない感染対策の推進 1) 清潔リネン・不潔リネンの運搬方法の標準化または一元化 6. その他、TOPICS 1) 歯科機器や単回使用医療機器における再利用物品の見直し 2) 手指消毒剤等の消耗品の見直し、経費節減	1. 2018 年度の報告数は、針刺し 10 件、皮膚暴露 3 件の合計 13 件で前年度より 9 件の増加であった。針刺し事件はニードル針の針刺しが一番多く、皮膚暴露は 3 件とも患者に噛まれたものであった。不適切廃棄も 2 件あった。血液・体液曝露防止月間を設けているが、具体的な関りはできていなかった。次年度は、具体的な啓発を考えていく。HIV 検査には介入していない。 2. 全体研修を実施したが、手指消毒剤使用量は低下した。それに伴ってか MRSA 発生率は若干上昇した。手指消毒剤の使用量には個人差があるが、手指消毒の意識低下は大きな問題である。クロスモニタリングにより、手指消毒のタイミングを指摘し合い、個人差を少なくして部署全体の使用量を増やしていく必要がある。TQM での取り組みを考えてもいいかもしれない。 3. CLABSI 発生は、3-3 病棟で 2 件発生し、うち 1 件は透析由来のものであった。カテーテル管理における手指衛生のタイミングが遵守できているかチェックし、必要に応じて手技マニュアルの見直しを図る。 4. 2019 年度より AST 加算を取るようになった。それに伴い年に 2 回の研修会が必須となった。研修会は医師に働きかける機会になる。適正使用の必要性など理解が進めば、抗菌薬の使用量減少にもつながると考える。しかし、情報収集に膨大な時間を要するため、業務に支障が出る。多職種との協働が必要になる。 5. 実施できていない。 6. 1) 実施できていない。 2) 手指消毒剤はサニサーラより安価なウェルフォームを追加導入した。

部 署	目 標	評 価
レインボウ とよさと	1. 訪問看護師としての看護実践能力の向上を目指す 1) クリニカルラダーとステップアップシートを活用し、専門職としてスキルアップを図る 2) 定例カンファレンスの強化「見える化カンファレンス」 看護の振り返りと情報の共有で、スタッフ全員が意見を出せるようにする。事例検討会では、利用者の意思決定支援と利用者が望む生活を支援していく 3) 在宅で看取の場合は、ターミナル加算が算定できるようにガイドラインに沿って早期にプランを立てる 2. 明るい職場風土で、利用者や他職種から信頼されるステーションを目指す	1. 1) クリニカルラダーとステップアップシートを2回自己評価した。課題を具体的に抽出するには至らなかった。 2) カンファレンスは定着している。必ず発言するようになってきた。 3) 初回訪問時に看護計画を立案していく必要があるが、実際には訪問後に計画立案している。最近、早期に立案しようとする意識がスタッフに根付いてきた。 2. 利用者の維持はできているが、看護の質は評価できていない。
レインボウ はたしょう たが	1. 自己の看護実践能力を把握し向上させる 1) クリニカルラダーを用いて自己の到達度を把握し、課題に取り組む 2. 看取りの質を高める 1) 「人生の最終段階における医療とケアの指針」を踏まえ、看取りを行う 2) 利用者を取り巻く支援者との連携を強化する 3. 対象の理解を深める 1) 利用者、家族、支援者の声に耳を傾け、「聞く力」をつける	1. クリニカルラダーを使って、年度初めと中間、そして最終評価を各自で行った。自己評価を基に、面談で到達度を確認した。院外研修も、受講できた。 2. 年間9名の看取り利用者があった。看取りのケースでは、必ず振り返りカンファレンスを実施して学びの場としている。 「人生の最終段階における意思決定表ケアの指針」勉強会をした。「人生の最終段階における意志確認表」をもとに、本人・家族と、早期から終末期の過ごし方等について話をする機会が持てるケースが多くなった。エンゼルケアはスタッフ間でのバラつきを無くすためにマニュアルを作成した。グリーフケアの一環として、1周忌にカードを送っている。 3. ケアマネ事業所にアンケートを送り、他者評価を受けた。概ね良好な回答であったが、連携や緊急時の対応の不備を指摘された。ステーション会議で結果を共有し、対策を検討した。スタッフの聞く力には個人差があり、今後の課題である。スタッフのコミュニケーション能力の向上を図っていくことも必要である。

部 署	目 標	評 価
レインボウ ひこね	1. 利用者主体の意思決定支援をし、他職種と協働（統合）する 1) 利用者や家族、関係者の意思決定プロセスに、適切な支援ができる 2. 訪問看護における教育体制の整備に向けて準備をする 1) 訪問看護におけるクリニカルラダーを活用する 2) 訪問看護認定看護師教育課程を受講する	1. 在宅でも様々な場面で意思決定支援に関わることは多く、倫理的判断を要することも多かった。組織として事例を検討している。他職種連携としては「こころのケア研究会」に参加し、多様化（精神障害、感情障害）している精神疾患患者の地域での課題を検討していった。精神疾患をもつ利用者が多く、共感的に関わり可能性を広げる視点で考え、利用者の強みを引き出していけるような意志決定支援を行った。 2. クリニカルラダーを使って面談を実施した。訪問看護認定看護師教育課程を受講している。
バストラール	利用者を主体としたチームケアを実践することで、本人と家族が望む（考える）暮らしに近づく 1. 施設と地域の専門職が連携を取りながら利用者との対話を重ねることで、より良い暮らしへと導いていく 1) 施設職員が在宅訪問を経験することで、利用者が生活者であるという意識を高める 2) 在宅訪問件数を増やすことで、施設職員の活動の場を地域へと拡大していく	1. 看護師の在宅訪問はできなかった。在宅訪問は主に、相談員やリハビリスタッフが実施している。看護師が医療的な視点で観察やアドバイスができる利用者がいれば、在宅訪問を実施していきたい。 訪問看護を利用しているショートステイの利用者に関しては、訪問看護ステーションと連絡票を遣り取りして連携をとった。

5 各種委員会

看護部業務委員会

看護業務の改善、合理化の検討をし、資質の向上を図り業務に関する事項の統一を図る。

活動状況

- (1) 開催時期 毎月第3月曜日
- (2) 審議事項
 - ・ 分かりやすく、利用しやすい看護手順を作成・改定していく
 - ・ 各部署業務委員が手順の活用を促す
 - ・ 電子カルテ導入に伴い変更になった業務を洗い出し各部署業務の統一を図る
 - ・ リスク委員会・感染管理委員会と密に情報交換や問題の共有をして、看護手順の不足や内容の見直し円滑で安全な業務が出来るようにする。
- (3) 人員構成 委員長1名 各病棟看護師1名 外来看護師 パストラル1名

CW 業務委員会

患者さんを中心に考え、その人らしい生活や生き方を支えるために、統一した対応ができるよう看護師・看護補助者との連携を強化する。患者さんが、安全で生活しやすい療養環境を看護補助者が中心となり整備し提供する。

- (1) 開催時期 第4金曜日 15:00～
 - ・ 前年度目標の評価と今年度目標の検討
 - ・ 今年度のCW研修の予定
 - ・ 看護師・看護補助者の業務分担、見直し
 - ・ 業務上の問題・課題の検討
 - ・ 看護補助者業務マニュアルの再検討（リネンの取扱い・不潔物品の出し方）
 - ・ ポータブルトイレ敷物の検討
 - ・ 看護補助者研修会の検討・開催後の評価
 - ・ 看護業務分担表および、業務内容における注意事項一覧の作成
- (2) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員8名

看護記録委員会

簡潔明瞭な記録で情報が伝わり、各部署連携のツールとして活用できる。

活動状況

- (1) 開催時期 毎月第2火曜日 14:00～
- (2) 審議事項
 - ・ 重症度、医療・看護必要度研修の実施
 - ・ 年3回の記録監査
 - ・ 見やすい記録が書け、各部署が連携できるための検討
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員7名

クリニカルパス委員会

チーム医療の推進、インフォームド・コンセントの促進、リスクマネジメントの推進等を目的として、各種疾患に対するクリニカルパスの作成・使用推進を行う。

活動状況

- (1) 開催時期 月 1 回 第 2 火曜日 14 時～
- (2) 審議事項
 - ・使用中のクリニカルパスの修正について
 - ・新しいクリニカルパスの開発について
 - ・クリニカルパスの運用方法について
- (3) 人員構成 委員長 1 名 副委員長 2 名 委員 7 名

感染リンクナース委員会

感染に関する知識を深め、統一した感染対策を実施する。お互いに指定・助言し合い、適切な感染対策を実施することで医療関連感染の防止・低減に繋げる。

- (1) 開催時期 毎月 1 回 第 2 金曜日 14 時～
- (2) 業務改善、実践
 - ・中心ライン関連サーベイランス
 - ・手指消毒剤使用量サーベイランス
 - ・手指衛生強化月間（4 月・8 月・12 月・3 月）
 - ・針刺し・体液曝露防止強化月間（6 月・10 月・1 月）
 - ・手指消毒剤ウエルフォーム（泡タイプ）の導入
 - ・外来診察室の手指消毒剤使用量チェック、医師へフィードバック
 - ・クロスモニタリング、アサーティブコミュニケーションの方法を動画撮影
 - ・環境クロスのお試し
 - ・積極的な培養検査、血培 2 セット採取の強化
 - ・シリンジポンプに使用するルート、三方活栓の交換頻度の統一
 - ・マニュアルの作成・改訂

＜感染マニュアル＞

- ・院内感染対策組織（指針、委員会規定、メンバー表、抗菌薬適正使用支援チームの設置について）
- ・感染症の類型分類と届出について
- ・感染症、食中毒患者など診断時の保健所への連絡事項および連絡先
- ・手指衛生
 - ・安全装置付き注射針等の使い方
 - ・廃棄物の取り扱い
- ・中心静脈カテーテル関連血流感染サーベイランス
 - ・微生物サーベイランス
- ・不潔器材の回収手順、洗浄手順
 - ・鋼製小物、衛生材料、倉庫物品等、滅菌物の管理
- ・麻疹
 - ・麻疹、風疹疑いの患者発生時のフローチャート

(3) 研修会の開催

時 期	対 象	内 容
4 / 3	新規入職者	標準予防策・感染経路別予防策
4 / 18	新人看護師	防護用具の着脱実践・カテーテル関連尿路感染防止技術・喀痰吸引
4 / 19	新人看護師	手指衛生のタイミング・血液媒介感染症対策・針の取り扱い カテーテル関連血流感染防止技術・ミキシング・プライミング
9 / 5、9 / 6	全職員	流行性ウイルス疾患(麻疹・風疹・水痘・ムンプス)について
5 / 15	新人看護師	CVルート交換・刺入部消毒・固定、サーフロー留置実践・血培採取
11/29 11/30	全職員	「Team STEPPS を活かした感染対策～職種・職位を超え、お互いが指摘し合える環境を目指して～」

★院外研修参加

8 / 21 滋賀県感染ネットワーク主催 感染対策看護研修会 リンクナース 1 名

(4) 人員構成 委員長 1 名 委員 10 名 アドバイザー 1 名

看護リスク検討会

看護師の医療安全に関する知識を深め、医療現場における安全性の確保と看護の質の向上を図る。

活動状況

- (1) 開催時期 月 1 回 第 2 木曜日
- (2) 審議事項
- ・医療安全マニュアルの見直し
 - ・新人研修 転倒・転落研修会
 - ・K Y T 分析の学習会
 - ・出張の伝達講習
 - ・転倒・転落の各部署の事例報告と情報共有
 - ・転倒・転落防止対策への取り組み
 - ・各部署の事例報告と情報共有
- (3) 人員構成 委員長 1 名 副委員長 1 名 委員 11 名

看護部教育委員会

看護職員の相互理解と資質の向上、および関係者の親睦を図る。

キャリア開発プログラムに沿った目標管理、教育計画の立案、実施、評価を行う。看護研究を推進し、看護師の質の向上をめざす。

活動状況

- (1) 開催時期 月 1 回 第 1 木曜日
- (2) 審議事項
- ・看護研修の推進
 - ・レベル別及び全体を対象とした教育計画の企画立案、実施、評価
- (3) 人員構成 委員長 1 名 副委員長 1 名 委員 10 名

看護倫理委員会

臨床倫理を考え、適切な処遇を提供し確立する

活動状況

- (1) 開催時期 第3木曜日 14時～
- (2) 審議事項
 - ・前年度目標評価と今年度目標の検討
 - ・看護研究倫理審査
 - ・2018年度の役割分担・計画作成
 - ・役割分担の実施・マニュアルの見直し
 - ・身だしなみのチェック（7月・12月）
 - ・各部署の倫理問題
 - ・教育委員会倫理研修
 - ・新人研修の内容検討と実施
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員8名

継続看護委員会

患者中心の医療と療養と生活を繋ぐ

活動状況

- (1) 開催時期 月1回 第3木曜日 15時半～16時半
- (2) 審議事項
 - ・事例検討会
 - ・部署間の継続看護、看看連携における内容の検討
 - ・スタッフへの継続看護の教育的役割
 - ・継続看護の質の均一化を図るための、マニュアルの見直し・修正・作成
（退院支援と退院調整に関するツールの作成）
 - ・院外研修を基にした学習会（e-ラーニング活用も含む）
- (3) 人員構成 委員長1名 アドバイザー1名 委員（各部署係長）8名

看護部主任会

豊郷病院看護部における主任業務遂行のため、看護チームの円滑な運用及び効果的な教育・指導を実践する

活動状況

- (1) 開催時期 年5回（偶数月）
- (2) 審議事項
 - ・主任として、自部署の効果的な運用、スタッフの育成リーダー育成についての指導とその振り返りとしての情報交換
 - ・課題達成に向けて勉強会
 - ・チームリーダーとしての役割の把握
- (3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 各部署主任全員

新人研修委員会

豊郷病院看護部に入職する新人看護職員を全職員が共に支え合い、成長することを目指すために、また新人看護職員が臨床現場に順応し、臨床実践能力を獲得するための支援体制を整える。

活動状況

(1) 開催時期 月1回 第3金曜日

(2) 審議事項 ・本委員会は厚生労働省の示す新人看護職員研修ガイドラインを基に以下の事項を審議、実践する。

①施設及び看護部門の教育方針に基づき、研修プログラムを策定・企画

②策定された研修プログラムを元に、より具体的な研修方法・研修内容等について審議

③教育担当者・実施指導者の研修に関する審議

(3) 人員構成 委員長1名 副委員長1名 委員8名

NST 褥瘡リンクナース委員会

公益財団法人豊郷病院における院内栄養サポート、褥瘡予防対策と治療を討議・検討し栄養サポートと褥瘡に関する知識の増進・普及を図り、日常生活自立度が低い入院・入所患者に対して栄養サポート・褥瘡予防対策と治療を図るとともに医療の向上、看護のケアの促進に貢献することを目的とする。

活動状況

(1) 開催時期 リンクNs委員会 月1回第3水曜日 13:10～

褥瘡回診 毎週水曜日 14:30～

褥瘡ラウンド 月1回第3水曜日 14:30～

(2) 審議事項 保有患者症例検討

褥瘡計画表・評価表・マニュアルの見直し

電子カルテでの計画書の運用

褥瘡発生率・治癒率の確認

マット点検

体交枕の検討

保有患者の症例検討

レンタルマットの検討

院外研修の伝達講習

創傷ケア通信発信

研 修 会 2018年12月5日 17:30～18:30 (全体研修)

スキンケアについて

2018年12月18日・19日 17:00～ 看護部対象

モルテン 体圧分散マット導入に伴い勉強会

(3) 人員構成 委員長1名

各セクション看護師各1名ずつ計9名 (パストラル含む)

臨地実習指導者委員会

各学生の実習目標が達成できるように、学校教育と連携をとりながら、指導・支援出来る。

活動内容

- (1) 開催時期 不定期 年3回 15時～16時
- (2) 審議事項
 - ・実習の振り返り
 - ・病棟内のソフト面・ハード面の整備
- (3) 人員構成 委員長1名 委員8名

認知症ケア看護委員会

各部署の認知症ケア向上のための活動

活動内容

- (1) 開催時期 月1回 第1水曜日 14時～16時
- (2) 審議事項
 - ・事例検討会
 - ・部署間の認知症看護、看看連携における実践内容の検討
 - ・スタッフへの認知症看護の教育的役割
 - ・認知症看護の質の均一化を図るためのマニュアルの見直し・修正・作成
(認知症看護に関するツールの作成)
 - ・院内研修を基にした学習会
- (3) 人員構成 委員長1名 委員8名

6 看護教育委員会事業報告書

レベル	【実践能力】・テーマ	開催日	参加者数	内容
Ⅰ	【ニーズをとらえる力】 アナムネをとるということ 患者・家族を知ること	8/13(月) 8/22(水) 17:30～18:30	34名	記録委員会とのコラボ研修 患者の情報が書かれた用紙からグループでアナムネを埋めていきその後グループワークを行なった。情報をとるだけでなく患者家族の思いを知り、何が必要かをアセスメントしながら情報収集をすることの重要性を学べた研修であった。
	【ケアする力】 ケーススタディ発表会	7/3(火) 13:10～15:45	発表者:12名 出席者:50名	講師:力石総看護部長 片山副部長 座長:木村師長
	【協働する力】 コミュニケーションスキルアップ	9/3(月) 9/13(水) 17:30～18:30	28名	講師:種村係長 DVD「看護師のマナー」視聴 グループワーク 発表 パーソナルスペースについて体験 看護師としてのマナーを振り返ることができたという感想が多くスキルアップに繋がれた研修であった。
Ⅰ・Ⅱ	Ⅰ・Ⅱ合同 【ニーズをとらえる力】 e-ラーニングを見なきゃ損！フィジカルアセスメント	年間を通じて視聴 テストあり 受講報告書記載	74名	必須研修としてe-ラーニングを視聴してテストを受けるという企画であった。救急蘇生やフィジカルアセスメントは実践的な研修を希望する意見もあり次年度は検討する。
	Ⅰ・Ⅱ合同 【意思決定を支える力】 意思決定支援について学ぼう	1/17(木) 2/21(木) 17:15～18:15	77名	倫理委員会とのコラボ研修 事例検討とグループワーク 事例を通して倫理について再度考えられ振り返ることができた研修であった。
Ⅱ	【ニーズをとらえる力】 欲しいサマリーはどこにある？サマリーを充実させよう！	10/4(木) 10/18(木) 17:30～18:30	48名	講師:野田係長・山本係長 実際に入院していた患者のサマリーを具体例として提示(がん患者・高齢者・在宅・訪問看護がキーワード)。グループワークで患者の人物像、家族のとらえ方、指導、関わりについて読み取る。そこからディスカッションしながら何が必要であるかを学んでいくという研修。情報を受ける側に立って書くことが大切であるということ、連携についての大切さを学べた研修であった。
	【協働する力】 アサーション	2/8(金) 2/14(木) 17:20～18:40	47名	講師:金丸主任 アサーションについての講義、アサーションチェックシートでの自己チェック、事例を用いてグループワークを行なった。自分の性格や傾向を知り、互いにアサーティブに関わることで気持ちよく仕事ができるという感想が多かった。 他のレベルでもこのような研修をするべきという意見も多かった。
Ⅲ	【ケアする力】 さあ急げ！急変事の対応	12/10(月) 12/17(月) 17:30～19:00	51名	講師:富田Dr・伊部Dr e-ラーニング基礎習得コースを視聴しテストを受けるという研修前課題あり。急変時のアクティブラーニング研修。挿管、CPR時の除細動、薬剤について講義を受けDVDでBLS、ALS死戦期呼吸を視聴。受講者全員が役割分担を行ない実践形式での研修。
	【意思決定を支える力】 身体拘束を体験しよう	2/7(木) 17:30～18:30	32名	研修前に勤務時間内で1時間半身体拘束を体験し、体験して感じたことをレポートにまとめ、研修でグループワークを行なった。 実際に体験することで患者の気持ちや苦痛を理解することに繋がりが拘束ではなく何が必要かを考えることができた。
	【ニーズをとらえる力】 退院支援に必要な情報とは？	3/7(木) 17:30～18:55	39名	講師:中江係長・森田係長 訪問看護ステーションでの研修体験と退院支援に必要な情報についての講義・グループワークを行なった。実際の体験を基にした退院支援について講義は非常に分かりやすく理解できたという感想が多かった。退院支援について理解が深まった研修であった。
	【協働する力】 ファシリテーション	12/6(木) 12/7(金) 17:20～18:50	37名	講師:仮屋主任 ファシリテーションについての講義とグループワークを行なった。部署内でうまくいってる事、困っている事、活性化に向けてできる事をテーマにグループワークを役割を決めて行なった。ファシリテーションの理解と部署内での現状が聞けよかったという感想が多かった。
Ⅳ	【ニーズをとらえる力】 退院支援に必要な情報とは？	3/7(木) 17:30～18:55	39名	講師:中江係長・森田係長 訪問看護ステーションでの研修体験と退院支援に必要な情報についての講義・グループワークを行なった。実際の体験を基にした退院支援について講義は非常に分かりやすく理解できたという感想が多かった。退院支援について理解が深まった研修であった。
	【意思決定を支える力】 看取り	6/29(金) 17:30～18:30	29名 (レベルⅣ以外の参加者 6名)	講師:力石総看護部長 その人らしい人生を送れ、最後を迎えられるように意思を尊重し、意思決定を支援する役割の重要性を学べた。その人らしさとはその人を知ることから始まる。
	【ニーズをとらえる力】 師長研修 「身体拘束を体験しよう！」	8/7		師長全員が身体拘束を体験しレポートにまとめグループワークを行なった。拘束患者の苦痛や思いを共通理解でき拘束が及ぼす影響を考えることができた。部署内でスタッフへの助言やカンファレンスの場で活かすことができる研修となった。
	地域住民の生活・住民のニーズを知り効率よい入院支援・退院支援のしくみをつくろう！	11/13(火) 17:30～18:30	24名	講師:片山副部長 地域包括支援センターの役割、相談内容、地域で暮らす高齢者の生活を体験を通しての具体的な講義内容であった。グループワークでは今後の課題、何ができるかを話し合った。さまざまな部署からの意見が聞け今後の入退院支援に繋がれる研修となった。
	【協働する力】 ファシリテーター	11/1(木) 17:30～18:30	17名	講師:上林主任 看護協会研修に参加後の伝達講習 パワーポイントを使った非常にわかりやすい講義で、ファシリテーションについて理解が深まった。グループワークでは部署の現状を共有し分析、活性化するためにはというテーマでファシリテーターを体験しながら進められた。さまざまな部署の意見が聞けてよかったという意見もあった。

全体 研修	教育委員会総会 講演 地域包括ケアシステムにおける豊郷病院の役割 講師：カ石総看護部長 とよサボ活動報告 講師：加藤師長とよサボセンター長	4/27(金) 17:30～18:30	91名	毎年土曜午後開催していた総会を今年度より平日の勤務時間終了後に変更した。 時間も1時間と設定し、内容も大幅に変更。今年度から教育体制が変更となり、キャリアファイルの内容説明も行なった。講演もあり参加者は例年より大幅に増えた。トとよサボの活動内容が理解でき、部長の講義では鳥の目、虫の目、魚の目の3つの目で患者・家族を見ていく重要性を学んだ。
	ナラティブ発表会	9/13(木) 17:30～18:40	74名	例年総会後に行なっていたが、今度より平日の勤務時間終了後へ変更した。参加者も大幅に増えた。12名の発表があった。12の看護のドラマを聴き、感動し振り返りができた発表会となった。
	看護研究 「研究をしよう」	準備研修 毎月第4(木) 発表会 12/22(土) 13:10～15:30	68名	年間を通して計画、実践、まとめた研究成果を発表し、学びの共有の場となった。 発表部署 3・2・3・3・3・4・3・5・OP・血液浄化センター 講評 北村隆子教授 座長 田中師長
	【ケアする力】 認知症研修 認知症患者の対応を考える <対応編>	10/28(水) 17:30～18:30	110名	講師：カ石総看護部長 当院における認知症患者への医療、看護の現状おアアシスの利用推移、オレンジファイルの利用状況、院内ディの実績、身体拘束についての講義があった。場面設定の中でのロールプレイングを行なった。わかりやすい講義内容でロールプレイングの中で振り返り、気づきができた研修であった。
	認知症患者の対応を考える <基礎編>	10/31(水) 17:30～18:55	98名	講師：成田D r 認知症の基本的な病態生理、対応についての講義があった。中核症状、せん妄についても理解が深まり関わりと環境調節の重要性が学べた研修であった。
	認知症患者の対応を考える <特別編>	3/27(水) 17:30～18:30	87名	講師：堀尾師長 認知症ケアチームのラウンドの現状・事例・対応についての講義があった。認知症患者の体験している目線などの講義があり、実践に活かせる内容であった。楽しい研修であったとの感想も多かった。
	リフレッシュ研修	9/28(金) 10/10(水) 10/26(金) 18:30～20:30	23名 32名 45名	魚忠(水幸亭) 日々の業務を忘れリフレッシュでき楽しいひと時を過ごせた。

7 院内（外）研究発表会

平成 30 年 12 月 22 日（土）13：10～15：40 9－2 ホールにて

1. 地域包括ケア病棟における退院支援の現状

3－2 病棟 徳島知佳 田村舞

2. 転倒転落の減少に向けた取り組み ～取り組みによる効果と今後の課題～

3－3 病棟 鈴村真里奈 高岡美紀 恒吉祐樹 河野真鈴

3. A 病棟における看護師の口腔ケアの実態に関する研究

3－4 病棟 棕田有果 川端真以 玉城邦明 田畑彩子

4. 精神科療養病棟におけるエンディングノートへの意識向上に向けた取り組み

3－5 病棟 山村由紀恵 森佐緒里 川口智未 間宮奈緒

5. 総合病院の精神科急性期治療病棟導入における看護師の意識変化に関する研究

3－6 病棟 渡辺悠子 脇真郷 寺田艶子

6. 当院の手術看護師におけるストレスの実態調査

～主観的・客観的にストレスデータを測定する～

手術室 堀江祐樹 杉本篤彦 田中隆江 高橋伸子

7. 当院における透析患者のサルコペニアの実態調査

～握力は本当に下肢筋力と相関するのか～

血液浄化センター 中島 香織 円城美由紀 鉾立優作

8. 遺族を招いたデスカンファレンスを導入して

～治療やケアの振り返りとグリーフケア～

血液浄化センター 鉾立優作 西村美穂 西川美紀 村瀬端
円城美由紀 中島香織 西川真未 青木清子

（透析医学会、滋賀県・透析研究会で用いた報告）

〈地 域 連 携 室 部 門〉

〈医療福祉相談室部門〉

医療福祉相談室理念

豊郷病院の基本理念に基づき、疾病に伴い生ずるさまざまな生活上の問題を共に考え、その解決に向け質の高い援助を提供します。

基本目標

1. 患者さんにご家族の人権を尊重し個人としての尊厳を擁護します。
2. 患者さんにご家族のプライバシーを尊重し秘密を保持します。
3. 患者さんにご家族が自らの問題解決に主体的に取り組めるよう支援し、自己決定権を保障します。
4. 院内の他職種、及び地域の保健・医療・福祉の関係機関との連携を強めます。
5. 質の高い援助を提供するために、常に専門職としての研修・研鑽に努めるとともに、後輩の育成に努めます。
6. 専門職の立場から社会活動を行い、社会資源の活用と開発を図ります。

1 地域連携室事業報告

地域連携室

① 概要

「地域連携室」は、地域の医療機関、診療所の先生方と円滑な連携を図り、患者さまに迅速で適正な医療・検査を提供できるよう、2003（平成 15）年 5 月に設置された。

② スタッフ 室長 上野志保 主任 多林晴美 担当 1 名

《業務内容》

1. 病病、病診連携業務

- 1) 診察・検査予約調整
(地域の医療機関からの予約受付及び地域の医療機関への予約依頼)
- 2) 各種問合せの対応
(地域の医療機関からの問合せ及び地域の医療機関への問合せ)
- 3) 転院調整
- 4) 紹介患者来院・入退院報告書処理
- 5) 診療結果報告書等処理(持参・郵送)
- 6) 紹介患者データ統計処理・分析
- 7) びわ湖あさがおネットの公開処理
- 8) 医療機関・福祉施設・行政への訪問

2. 近隣医師会との連携業務

愛知・犬上医師連絡会

3. 広報紙活動

- 1) 広報紙の発行・配布
- 2) 外来診療担当表・及び病院からのお知らせ等配布
- 3) 医療情報収集・発信

4. 地域との連携業務

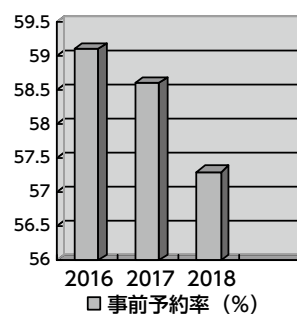
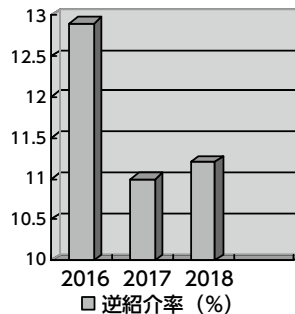
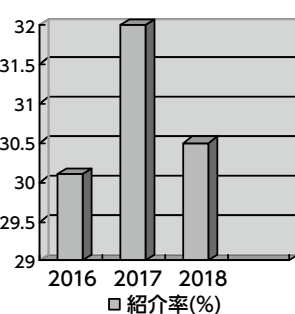
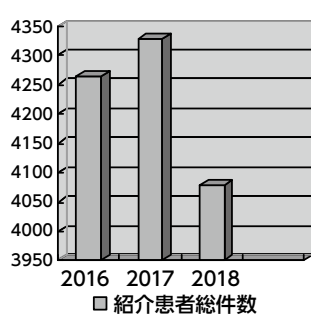
- 1) 地域向け行事の開催
- 2) 地域行事への参加

5. その他調整業務

③ 活動状況

1. 紹介患者

	2016(H28)年度	2017(H29)年度	2018(H30)年度
紹介患者総件数	4,264	4,328	4,049
紹介率	30.1%	32.0%	30.5%
逆紹介率	12.9%	11.0%	11.2%
事前予約率 (地域の医療機関からの予約)	59.1%	58.6%	57.3%



2. 研修会

□ 愛知犬上医師連絡会

日時・場所・内容：

○ 2018 (H30) 年 6 月 8 日 (金) 14:00 ～

パストラルとよさと 研修室

『高齢者心不全と戦う』

内科 (循環器) 医長 富田 行則 医師

○ 2018 (H30) 年 9 月 14 日 (金) 14:00 ～

パストラルとよさと 研修室

『敗血症 (Sepsis について)』

院長 (外科) 横田 徹 医師

○ 2019 (H31) 年 1 月 24 日 (木) 17:30 ～

パストラルとよさと 研修室

『精神医学からみたリーダー論』

—創造性、リアズム、共感、レジリエンス—

京都大学医学部附属病院 精神神経科 教授 村井 俊哉 先生

3. 広報紙発行

豊郷病院広報紙「医心伝心」の発行

○ 定期号 4 回発行 4 月・7 月・10 月・1 月

○ 号外版 1 回発行 7 月 (“頭痛専門外来”)

4. 各紹介元データ

紹介元医療機関

医療機関名	患者数	医療機関名	患者数	医療機関名	患者数	医療機関名	患者数
青葉メディカルクリニック	1	ステラ整骨院	1	ほりお眼科	1	東近江総合医療センター(元国立滋賀病院)	60
アップルクリニック	2	曽我医院	1	ホシデン(株)	1	彦根市立病院	181
いがわ耳鼻咽喉科	3	そのだ耳鼻咽喉科	1	真木アスリート整骨院	14	彦根中央病院	49
いけだ耳鼻咽喉科	2	高崎医院	8	榎田医院	4	日野記念病院	21
池田クリニック	1	高山内科循環器科	2	松木診療所	9	琵琶湖病院	1
石川耳鼻咽喉科	5	田口診療所	2	松尾医院	4	マキノ病院	2
石川医院	15	だいき歯科クリニック	1	松本医院	5	守山市民病院	1
イチロー内科クリニック	1	たかとり歯科医院	1	松本医院(眼科)	23	水口病院	1
石塚医院	1	たかはし整形外科	2	水原医院	3	野洲病院	3
いしやまクリニック	2	竹中医院(城医院)	13	水谷整形外科医院	7	友仁山崎病院	50
石部医療センター	1	たけは内科医院	117	南彦根クリニック	11	阿部クリニック	1
井関診療所(眼科)	4	辰巳医院	4	宮尾医院	2	赤城高原ホスピタル	1
伊藤内科医院	2	たなか小児科(彦根)	2	宮本整形外科	1	青山病院	1
えがわ整形外科	1	たなか小児科(東近江)	1	宮路医院	1	医療法人あけぼの会	1
近江鉄道健康管理室	3	田中クリニック	6	宮下内科	3	いわくら病院	1
大辻医院 川相診療所	18	玉川スマイルクリニック	1	三河眼科	1	大倭病院	2
おおはし内科循環器科クリニック	1	玉川医院	1	村田眼科医院	16	大宮厚生病院	1
大林内科循環器科	8	田宮こども診療所	1	村田製作所健康管理室(野洲)	2	関西健康管理センター	1
岡診療所(日野)	1	塚本医院	1	村田製作所健康管理室(東近江)	2	ききょうの丘健診プラザ	1
岡田医院	1	つじ泌尿器科クリニック	6	明愛眼科	7	京都工場保健会診療所	2
おかもと眼科	2	つたむね眼科	2	メープルクリニック	2	京都医療センター	1
おがわ耳鼻咽喉科クリニック	4	つちだ内科医院	5	目加田眼科	1	京都大学医学部附属病院	3
沖野診療所山田内科	2	堤医院	1	森井眼科医院	1	京都民医中央病院	1
小串医院	2	堤整形外科	2	森寺眼科医院	1	近畿日本鉄道 大阪健康管理センター	3
おくの内科	17	出目医院	1	安澤内科診療所	15	国立循環器研究センター	1
おくだ医院	1	徳田医院	3	矢部医院	84	埼玉病院	1
おざき内科医院	1	トップグループ健保組合	1	山岡整形外科医院	1	聖路加国際病院	1
おした整形外科医院	79	どひ整形外科クリニック	1	山元医院	1	聖隷富士病院(静岡県)	1
小田原医院	1	鳥越医院	2	やまぐち内科クリニック	12	心療クリニックパティオちた	1
かがりの整骨院	5	東洋アルミニウム㈱日野製造所	1	やまもと内科・外科クリニック	1	角谷整形外科病院	1
かがい医院	1	中川クリニック	46	山崎クリニック	1	鈴鹿サーキットメディカル	1
金岡医院	1	なかつか内科医院	132	山崎整骨院	6	摂津ひかり病院	1
かみやキッズクリニック	3	中西医院	7	山崎外科	1	武田総合病院(京都)	1
かわせ整骨院	1	中橋整形外科クリニック	7	山下医院	10	阪奈サナトリウム	1
川端医院(八幡)	1	中村医院	1	世一クリニック	32	千船病院	1
上林医院	13	菜の花診療クリニック	14	横野医院	8	トヨタ記念病院	1
北村医院(愛荘町)	10	成美記念クリニック	93	吉川整形外科クリニック	16	なかむかいクリニック	1
北村整骨院	1	成宮クリニック	46	若松医院	70	西奈良中央病院	1
きたむら内科	1	西川医院	3	わだ医院	128	二宮整形外科	1
木村歯科医院	1	布引内科クリニック	2	ヴォーリス記念病院	1	福田記念病院	1
近畿健康管理センター	6	布留クリニック	1	近江温泉病院	16	星ヶ丘医療センター(大阪)	1
草津アイクリニック	1	野口小児科	2	近江八幡市立総合医療センター	39	蛍田診療所(神奈川)	1
小菅医院多賀診療所	8	橋本医院	9	大津市民病院	1	広兼医院	1
こすぎクリニック	2	馬場医院	11	大津赤十字病院	5	ほしの整形外科	1
小森医院	2	はちまんコスモスクリニック	3	神崎中央病院	7	松原病院(福井)	1
さいクリニック	1	パナソニック㈱アソシエイトス八日市健康管理室	2	草津総合病院	3	みどり健康管理センター	1
坂田整形外科	9	東近江市あいとう診療所	20	甲南病院	2	洛和会丸太町病院	1
坂田メディケアセンター	1	東近江市休日急患診療所	2	公立甲賀病院	4		
さつき診療所	2	東近江市湖東診療所	6	湖東記念病院	122		
澤田医院	1	彦根中央ハビリテーション	3	湖南病院	7		
澤井医院	1	ヒフ科クリニック山本	2	滋賀八幡病院(元八幡青樹会病院)	5		
重森医院	25	ひつじクリニック	3	済生会滋賀県病院	4		
滋賀県厚生農協共同組合連合会	26	ひらたクリニック	1	滋賀里病院	1		
滋賀県立障害者総合診療所	1	広田整形外科(元広田クリニック)	26	滋賀医科大学医学部附属病院	116		
滋賀保健研究センター	17	ひろた皮膚科医院	2	滋賀県立小児保健医療センター	3		
滋賀県産業医	3	びわこ学園医療福祉センター草津	1	滋賀県立精神医療センター	8		
しみずクリニック	8	びわこ学園	1	滋賀県立成人病センター	11		
しもいけメディカルクリニック	7	福田眼科	1	JCHO 滋賀病院(元社会保険滋賀病院)	15		
城東眼科	3	ふじた医院	7	市立長浜病院	14		
白石外科・胃腸内科	42	藤本クリニック	3	セフィロト病院(元長浜青樹会)	6		
しらいし耳鼻咽喉科	2	ふせクリニック	5	長浜赤十字病院	20		
菅原メンタルクリニック	7	古川 AS 衛生管理室	4	東近江市能登川病院	24		
相本整形外科	4	古道医院	7	東近江市蒲生医療センター	1		
すみよしクリニック	8	㈱平和堂健康管理室	1	東近江敬愛病院(元山口病院)	9		

歯科紹介元医療機関

医療機関名	患者数	医療機関名	患者数	医療機関名	患者数	医療機関名	患者数
青木歯科	1	北村医院	3	たなか歯科クリニック	1	藤本歯科医院	4
あかい歯科（戸賀）	6	北村歯科医院	8	塚本歯科医院	8	文村歯科医院	10
あかい矯正歯科（大藪）	20	北村歯科医院（城町）	4	つつみ歯科	2	ふれあい歯科医院	28
旭ヶ丘歯科クリニック	11	木村歯科	1	中川クリニック	1	堀口歯科医院	2
朝比奈歯科医院	2	キョート矯正歯科クリニック	1	中島歯科医院	3	マナベ歯科医院	1
石川耳鼻咽喉科	1	クリア歯科石山	1	なかつか内科医院	7	三希子歯科医院	8
いけだ歯科高宮	2	湖東記念病院	6	中村歯科医院	1	みなみ歯科	1
井田歯科東診療所	3	こば歯科・矯正歯科クリニック	1	にとべ歯科クリニック	5	宮川歯科医院	2
いだはいしゃ	1	滋賀医科大学付属病院	4	のとがわ中央歯科	9	宮澤歯科医院	31
市田歯科医院	1	桜井歯科医院	1	野村歯科医院	4	御幸歯科クリニック	1
今村歯科医院	1	しがや歯科	7	橋本医院	1	ミント歯科	1
井本歯科医院	3	歯科白石医院	13	はしもと歯科医院	1	むらお矯正歯科	1
大村歯科医院	1	白石外科	1	秦荘歯科診療所	7	安澤歯科小泉診療所	2
小川歯科医院	2	白石歯科	26	はなよし歯科矯正歯科	1	やまだ歯科	1
沖野診療所山田内科	1	曾我歯科	9	東近江市あいとう診療所	2	やまだファミリー歯科	3
加藤歯科医院（五個荘）	2	曾我歯科医院	2	東近江敬愛病院	1	吉田歯科医院	1
加藤歯科医院（横溝）	2	たかとり歯科医院	26	樋上歯科医院	1	吉川整形外科クリニック	1
かわせ大村歯科医院	1	たきい歯科医院	15	ヒコネ矯正歯科	15	若松歯科医院	4
川南歯科医院	1	竹中医院	1	彦根市立病院	19	わだ医院	1
きたがわ矯正歯科	17	たけは内科医院	1	藤居歯科医院	1		

検査依頼

医療機関名	患者数	医療機関名	患者数	医療機関名	患者数	医療機関名	患者数
いけだ歯科	1	坂田整形外科	192	白石外科・胃腸内科	6	東近江市あいとう診療所	13
石川医院	1	さつき診療所	1	しもいけメディカルクリニック	2	東近江市湖東診療所	5
イシカワ歯科医院	1	重森医院	12	しらいし耳鼻咽喉科	7	ヒコネ矯正歯科	2
近江温泉病院	1	柴田医院	1	せんだ歯科クリニック	1	藤本クリニック	1
おうみリウマチ膠原病・内科クリニック	1	白石外科・胃腸内科	6	たけは内科医院	114	水谷整形外科医院	71
おがわ耳鼻咽喉科クリニック	1	しもいけメディカルクリニック	2	堤整形外科	1	矢部医院	19
おした整形外科医院	386	しらいし耳鼻咽喉科	7	とび整形外科	1	やまぐち内科クリニック	4
かさい整形外科	1	せんだ歯科クリニック	1	中川クリニック	53	世一クリニック	12
上林医院	2	重森医院	12	なかつか内科医院	140	吉川整形外科クリニック	11
貴島会クリニック	2	柴田医院	1	成美記念クリニック	8	わだ医院	112

2 医療福祉相談室事業報告

医療福祉相談室

1、新規ケースの紹介経路

表①

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H30年度 計	H29年度 計
院内医師	5	10	10	5	5	7	9	4	2	2	7	2	68	109
院内看護師	25	13	13	8	24	15	10	11	17	14	17	16	183	138
院内他職員	4	2	3	4	3	1	0	2	1	4	5	1	30	40
法人内施設	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	3	7
本人	3	6	2	0	1	3	4	2	3	2	0	3	29	30
家族	8	5	9	7	10	9	8	11	7	9	8	11	102	116
他病院	12	11	11	14	10	6	15	15	9	13	17	17	150	162
行政機関	6	4	8	11	4	5	14	14	9	14	8	9	106	95
社協	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3
居宅	4	2	7	5	3	4	11	6	4	7	9	17	79	48
法人外施設	3	0	1	3	2	2	3	2	1	2	1	2	22	33
その他	2	4	2	3	1	2	3	1	3	1	4	1	27	25
計	72	57	66	62	63	55	77	68	56	68	77	80	801	806

※主体性のある者を紹介経路とすること

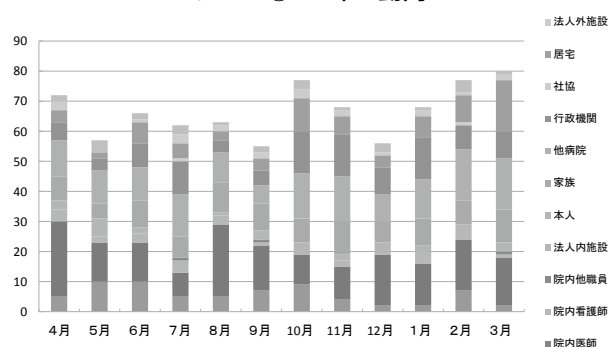
例「本人がMSWに相談したいと言っている」と本人に代わって医事課から連絡があった場合→本人

「相談に乗って欲しい人がいるので・・・」と本人の意思ではなく医事課の判断により連絡があった場合→医事課（院内他職員）

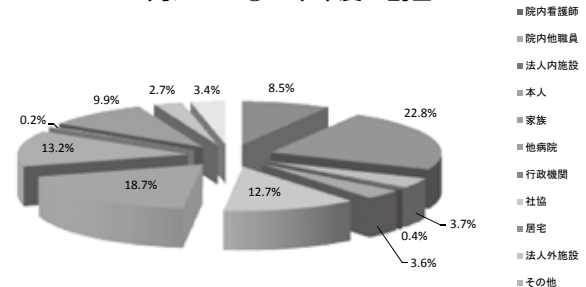
※法人内・外を判断した後、下記の分類に該当する経路を選択すること

法人内	院内医師	院内の医師
	院内看護師	院内の看護師(当法人内でも訪問看護など院外は含まない)
	院内他職員	医師・看護師以外で病院のスタッフ リハビリスタッフ(アイルを含む)や医事課の職員など
	法人内施設	パストラル・MAX・レインボウ・きらら・ゆうゆう・らくらくのスタッフ
法人外	本人	本人
	家族	同居・別居に関係なく、血族・親族 及び、内縁関係・後見人にあたる者
	他病院	当院以外の病院・医院(職種を選ばない) 長期療養型の病院 等
	行政機関	市町村各課 地域振興局 保健所 福祉事務所 児童相談所 等の行政窓口
	社協	県・市町村社会福祉協議会
	居宅	MAX・レインボウ・社会福祉協議会以外の居宅介護支援事業所
	法人外施設	紹介内容や職種に関係なく、下記の建物内から連絡を受けた場合 ・老人－特養・養護・軽費老人ホーム、ケアハウス、ゆうゆう、らくらく以外のGH、パスト以外の老健 きらら・けやき以外のデイサービスセンター 等 ・障害－更生施設、福祉ホーム、GH、授産施設、通所寮、デイサービスセンター、援護寮 等 ・児童－乳児院、養護施設、短期治療型施設、自立支援施設、障害児施設 等 ・生保－救護施設、更生施設、授産施設 等 ・レインボウ以外の訪問看護ステーション等サービス事業所
	その他	知人、民生委員、他患、上記に当てはまらない紹介者・紹介経路

グラフ① 1年の動向



円グラフ① 本年度の割合



2、援助方法

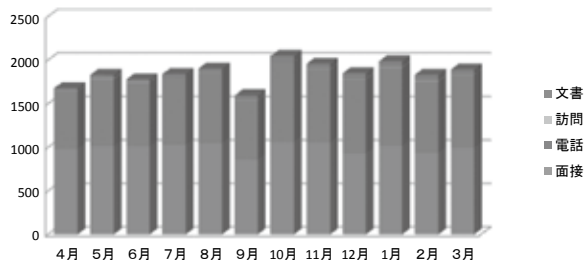
表②

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H30年度 計	H29年度 計
面 接	992	1024	1021	1040	1057	869	1072	1068	940	1030	946	1007	12066	12229
電 話	649	759	723	768	800	676	908	823	842	885	810	828	9471	8604
訪 問	5	8	7	2	1	4	2	4	6	8	7	4	58	47
文 書	33	40	29	33	47	48	70	66	64	67	70	56	623	432

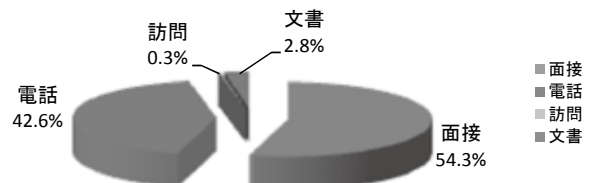
(件)

面 接	面談室や病室等における患者本人や家族との面接。また、院内スタッフや関係者との情報提供・収集(内線電話を含む)。
電 話	外線電話を使用した電話面接。院外の関係者との外線による電話連絡。
訪 問	退院前の自宅訪問や他施設への訪問、院外でのケースカンファレンスなど。
文 書	診療情報提供書・診断書等の郵便物(FAX含む)の送付、受け取り。連絡表による紹介・報告書による報告。

グラフ② 1年の動向



円グラフ② 本年度の割合



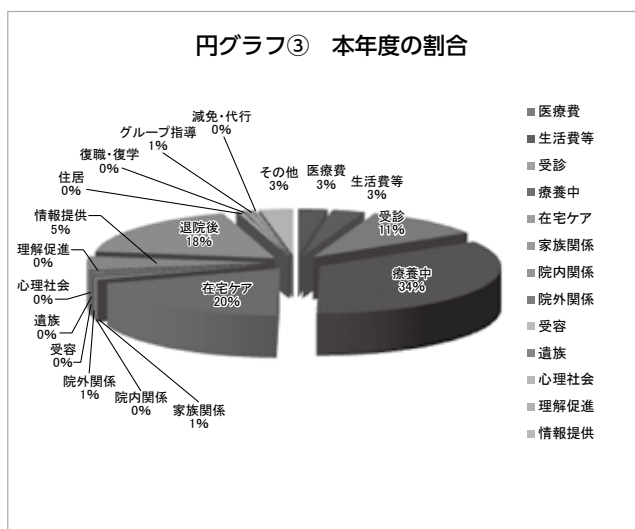
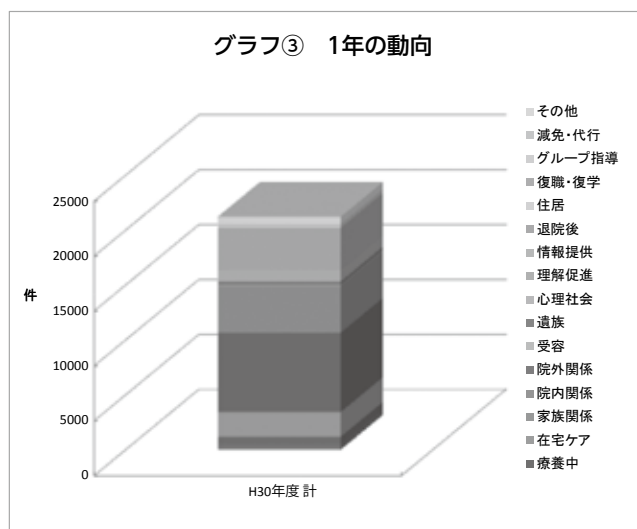
3、援助内容

表③

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H30年度 計	H29年度 計
医 療 費	43	52	68	55	61	37	54	60	36	42	45	45	598	452
生 活 費 等	47	53	79	68	65	49	46	53	41	32	43	41	617	401
受 診	141	162	181	202	178	144	199	177	192	234	245	204	2259	2057
療 養 中	724	777	528	501	682	522	512	560	572	655	603	589	7225	9517
在 宅 ケ ア	276	331	402	410	427	296	398	353	264	312	331	363	4163	4105
家 族 関 係	9	8	22	13	10	18	19	21	28	19	16	7	190	141
院 内 関 係	3	2	8	3	4	2	2	13	6	5	5	1	54	20
院 外 関 係	22	18	21	18	21	31	34	28	26	10	16	9	254	169
受 容	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1
遺 族	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
心 理 社 会	0	0	0	1	0	0	0	3	0	3	0	0	7	1
理 解 促 進	3	0	8	5	7	4	1	1	1	2	1	2	35	17
情 報 提 供	48	48	151	178	233	75	86	60	58	42	16	32	1027	599
退 院 後	279	292	424	377	329	211	278	318	289	380	318	332	3827	2402
住 居	13	15	18	5	9	7	1	4	12	10	8	3	105	124
復 職・復 学	1	6	0	5	0	1	6	0	0	0	1	0	20	28
グ ル ー プ 指 導	19	12	18	15	17	14	14	16	17	18	0	0	160	200
減 免・代 行	4	2	1	1	7	4	10	11	10	7	6	1	64	23
そ の 他	77	91	56	42	56	46	58	42	32	48	49	41	638	555

(件)

1.医 療 費	医療費に関する問題の解決、調整救助。医療費の支払いに関して、医療保険制度などの活用。
2.生 活 費 等	生活費等に関する問題の解決、調整救助。医療費以外の問題があり、生活保護や年金、その他の制度を活用。
3.受 診	受診や入院についての手続き、不安等の問題の解決を援助。入院依頼、受診方法、入院に対する精神的不安などへの対応。
4.療 養 中	患者療養中の家事、育児、教育、職業等の問題の解決を援助。生活問題について安心して療養できるように社会資源を活用。
5.在 宅 ケ ア	在宅ケアの諸サービスの活用を援助。在宅生活を可能とするために、資源(介護保険、身障など含む)を活用。
6.家 族 関 係	家族関係の調整。夫婦・親子など、家族関係の葛藤を調整する。
7.院 内 関 係	患者同士や職員との人間関係の調整を援助。公平な態度で関係を調整する。
8.院 外 関 係	学校、職場、近隣等地域での人間関係の調整を援助。
9.受 容	がん、難病、精神病の疾病や障害に対して受容ができない場合の、公平な立場から情報提供・生活の再設計を含めた援助。
10.遺 族	遺族への精神的ケア、遺族の生活再設計援助。亡くなった患者の家族に対して、ブリーフメントケアを行う。
11.心 理 社 会	診断、治療を拒否するなどの理由となっている家庭や仕事上の問題、心理問題を解決し、治療を受けられるようにする。
12.理 解 促 進	診断、治療内容に関する不安がある場合の理解促進援助。医師や看護師との関係を仲介するなど、理解できない言葉の説明。
13.情 報 提 供	診療に参考となる情報等を担当医師やスタッフに提供する。
14.退 院 後	病院や老健などの情報を提供し、転院の為に医療機関、退院・退所後の社会福祉施設等の選定を援助。
15.住 居	在宅生活を可能とするために、住居を確保したり住宅の改造を計画する。
16.復 職・復 学	特別な配慮が必要かどうか、受け入れ準備に必要なことを調整し、スムーズに復帰できるようにする。
17.グ ル ー プ 指 導	精神科デイケアなどグループワークを行う。
18.減 免・代 行	高額療養費の申請や年金の申請手続きを代行する。減免に関しての事務手続きを行う。
19.そ の 他	上記以外の援助。

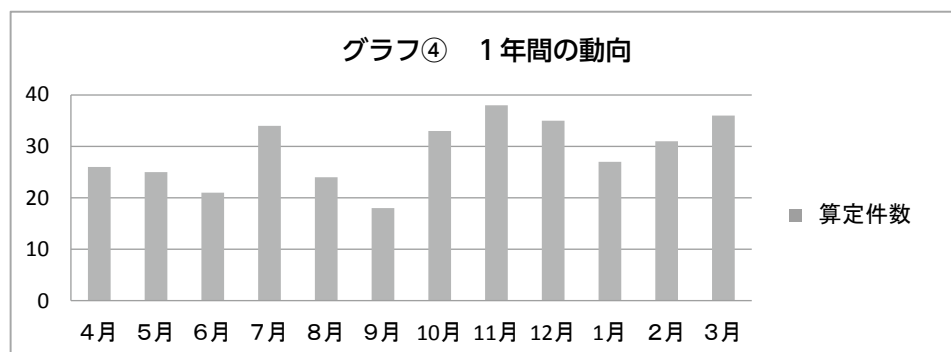


4、退院支援計画書算定

表④

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H30年度 計	H29年度 計
算 定 件 数	26	25	21	34	24	18	33	38	35	27	31	36	348	283

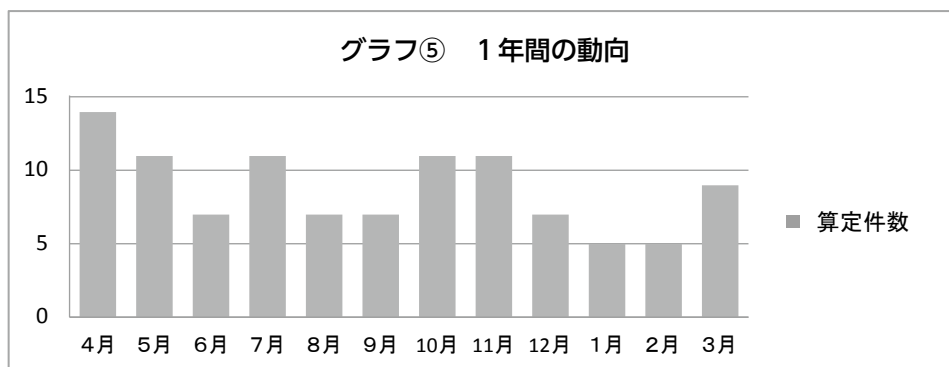
(件)



5、介護支援連携指導料算定

表⑤

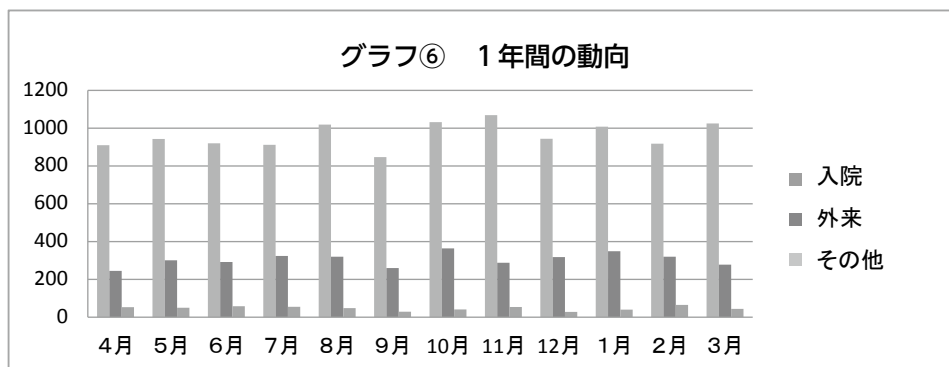
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H30年度 計	H29年度 計
算 定 件 数	14	11	7	11	7	7	11	11	7	5	5	9	105	80



6、入院 / 外来区分

表⑥

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H30年度 計	H29年度 計
入 院	910	943	920	912	1019	847	1032	1069	944	1008	918	1025	11547	11177
外 来	245	301	292	324	320	260	364	288	318	349	320	278	3659	3457
そ の 他	53	50	58	55	48	29	41	54	28	40	65	44	565	452



◇集計結果

新規ケース数は前年度とほぼ同数。紹介経路は「院内看護師」「居宅」が増加している。看護師やケアマネジャーとの連携が強化されており、処遇困難ケース等に関して初期段階から介入できている。援助内容に関しては前年度に引き続き「退院後」の項目が増加していることに加え、「医療費」「生活費等」の増加が挙げられる。処遇困難、在宅復帰が難しいケースの増加に伴い、金銭面での各種制度利用や患者家族に即した退院先の選定支援なども増加している。退院支援計画書、介護支援連携指導料の算定数は前年度から引き続き増加しており、相談員が精力的に多くのケースへ介入できている。

7、定期会議・委員会・地域活動等

院内	課科長師長会、外来救急運営会議、事務部会、准看護学院講師 病院管理会議、防災訓練、事務部課長会、事務部管理会議 療養病棟運営会議 血液浄化センター運営委員会	上野
	ボランティア運営委員会、ボランティア交流会、互助会総会、課長補佐会議 整形リハビリカンファレンス、七夕コンサート、看護部研修会	高田
	3-2病棟カンファレンス、3-3病棟カンファレンス、3-4病棟カンファレンス	高田 中山 中川 笹木 西村
	患者支援カンファレンス	上野 高田
	1-3入院判定会議	上野 西村
	精神科新規入院カンファレンス、医療観察法多職種チーム会議 新春学術講演会、地域移行支援会議研修会	上野 出口 早川 高田
	1-3病棟再編会議	上野 西村
	5-2病棟カンファレンス、クリニカルパス委員会、5-2病棟クリスマス会	西村
	3-5病棟カンファレンス、退院支援委員会	出口 高田
	エコ委員会	出口 笹木
	医療保護入院者退院支援委員会、行動制限最小化委員会 事後審査委員会、3-6病棟カンファレンス、地域移行支援会議	出口 早川
	内科リハビリカンファレンス	中山
	接遇サービス向上委員会 3-6病棟OT会議	早川
	互礼会	上野 高田 西村 出口 早川 笹木
	互助会美化運動	上野 高田 西村 出口 早川 笹木 中川
院外	湖東地域ネットワーク会議、自立支援障害程度区分認定審査会 管内5病院事務担当地域連携会議、入退院支援ルール合同会議	上野
	豊郷町多職種協働会議、湖東圏域難病対策地域協議会 MSW協会理事会	高田
	湖東4病院MSW連絡会議	高田 西村 笹木 中川
	湖東地域脳卒中地域連携検討会、湖東地域脳卒中パスワーキング部会 ひこっパス研究会、東近江脳卒中地域連携連絡会議	西村
	認知症疾患医療センター情報交換会、認知症医療連携協議会 湖東圏域認知症担当者会議、退院後支援ガイドライン等説明会および情報交換会	出口 高田
	彦根地区新入社員ふれあいフェスティバル	中川
	平成30年度湖東圏域退院支援ルール評価検討事業/病院・介護支援専門員合同会議(第1回)	高田 中川
	豊郷町健康フェスティバル	上野 西村
	平成30年度滋賀医科大学地域医療診関連病院協議会	上野
	多職種連携のりしろプロジェクト	笹木

8、各種研修会等

4月	新人研修	中川
	人権研修	中川
5月	滋賀県医療ソーシャルワーカー協会平成30年度通常総会/記念講演会	高田
	TQMキックオフ研修会発表会	上野 高田 出口
	精神保健医療福祉業務従事者研修	
6月	三方よし研究会	西村
	精神保健医療福祉業務従事者研修	中川
	豊郷 認知症セミナー	上野 高田 早川 中川
8月	滋賀県医療ソーシャルワーカー協会平成30年度通常総会/記念講演会	高田
	滋賀県医療ソーシャルワーカー協会初任者研修	中川
	平成30年度医療観察法研修	早川
9月	地域移行研修会	出口 早川
	三方よし研究会	西村
10月	第1回感染対策研修会流行性ウイルス疾患について	上野 高田 出口 早川 笹木 中川
	東近江敬愛病院説明会	高田 西村 笹木
11月	第1回措置入院者等の退院後支援のあり方検討会議	早川
	認知症疾患医療センター全国研修会 滋賀県大会	出口
	滋賀県医療ソーシャルワーカー協会 研修会	高田 西村 早川 笹木
	医療ガス安全研修会	高田 出口 笹木 中川
	退院支援機能強化事業全体研修会	笹木 中川
12月	医療安全・感染防止対策研修	高田
	院内研修:NST、褥瘡	高田 西村 出口 早川 笹木
	院内研修「つなげよう、みんなの手で」大切な命 一時救命処置を学ぼう	高田 中川
1月	三方よし研究会	西村
	医療ソーシャルワーカー協会研修会	高田
2月	病院・ケアマネ入退院支援を考える合同会議	西村
	第2回措置入院者等の退院後支援のあり方検討会	早川
3月	公開セミナー	上野 高田 笹木 西村知
	医療安全研修	高田 西村 早川 西村知

〈事 務 部 門〉

〈診療情報管理室部門〉

〈各 種 統 計 資 料〉

事務部理念

豊郷病院事務部は病院の基本理念に基づき、医療の質とサービスの向上につとめ、合理的で安定した運営管理を行い、地域医療に貢献する

基本目標

1. 地域に必要な医療設備と患者さま本位の快適な環境の整備に努める。
2. 人権を尊重し、思いやりの心で明るく優しい対応に努める。
3. 優秀な人材確保と育成に努める。
4. 法令遵守と安全・安心・信頼を築く。
5. ムダをなくし、経費削減に努め、健全経営を行う。
6. 地域に開かれた運営と連携に努める。

1 事務部・診療情報管理室事業報告

管理課

① 概要

職員の労務管理。

具体的には労働時間管理、給与・福利厚生、職員のライフイベントに沿って生じる諸手続きの管理、任免・賞罰、労使関係、教育研修、職員採用、人権関係など。

② スタッフ

課長 宇野玲子、課長補佐 熊木英夫、課員 2 名

③ 活動実績

看護職のための豊郷病院見学・相談会

H30 5/19、7/14、8/18、9/29、11/17 H31 1/19、3/9 計 7 回

13 組参加（4 名就職）

〈一般活動〉

- ・ 各種法改正への対応と適正管理 税制改正による「配偶者控除」
- ・ 2019 年 4 月スタートの働き方改革「労働時間法制の見直し」に向けた情報収集と対応準備
- ・ 人材確保に向けた多様な広報活動の検討および実施

〈課内研修会と 5S 活動〉

5/28～6/1 5S 活動

7/26 接遇研修『美しい姿勢と身だしなみ』

8/21 『算定基礎(定時決定)と月額変更(随時改定)』について

9/7 人権DVD研修『同和問題、差別のない明るい社会を』

10/22～26 5S活動

12/25 人権学習2『差別語について』

残業時間の上限について

12/25～28 5S活動

1/22 厚生年金制度について

2/21 働き方改革「労働時間法制の見直し」について

企画財務課

① 概要

2018年12月より経営企画部門を新たに設置、総務課経理係と統合し、『企画財務課』として発足。
なお、事務所は管理課と同室。

② スタッフ

課長 山本 保 課長補佐 山本洋道 課員 2名

③ 活動実績

- ・収益UPに向けた企画立案、コンサルタント会社と法人各担当者と折衝
- ・各部署の目標や課題、その取り組み内容の把握と、実績評価
- ・現・預金の出納管理、各税金・保険料等の納税納付、法定調書の作成と申告、財務諸表の作成・分析・報告、各金融機関・行政・税務署などと交渉・調整

2018.6.6 会計監査 2018.6.22 決算役員会

2018.11.21 中間役員会 2019.3.27 予算役員会

④ 研修活動

2018.8.28 課内人権研修

医事課

① 概要

診療報酬明細書（レセプト）作成、請求業務、外来受付業務、入退院業務、患者サービスに関する業務、各種データ作成・分析、経営分析、診療収入／未収金関係

② スタッフ

課長 堤 俊博、課長補佐 岡村昌彦、係長 上林真紀、森田克哉、主任 関口康江、課員10名 外部委託25名

③ 活動実績

〈院外活動〉

2018（平成30）年12月11日（火）17：30～18：00	2018（平成30）年9月13日（月）17：20～18：00
人権学習 ビデオ学習と感想レポートの提出による学習	サービス向上委員会による
ビデオ題名「心の教育 研修会」	接遇基礎研修
～子供大人も居心地の良い学校家庭地域社会をめざして～	
医事課内 参加者 約23名	

2019（平成31）年2月12日（火）17：30～18：00	2019（平成31）年3月11日（火）17：20～18：00
個人情報学習 個人情報想定事例集による研修	サービス向上委員会による
事例集を職員が考え回答と解説を行った。	身だしなみについての研修
医事課内 参加者 13名（職員のみ）	

④ 研修活動

〈医事課内活動〉

- | | |
|--|--------------------------------------|
| イ 保険診療減点等検討会
(毎月1回 10日頃 17:00～18:00)
出席人数 約35名程度 | ニ サービス向上委員会(毎月1回 30分程度)
出席人数 8名程度 |
| ロ 業務改善委員会(毎月1回 25日頃 1時間程度)
出席人数 5名 | ホ レセプト博士委員会(毎月1回 30分程度)
出席人数 6名程度 |
| ハ 保険証強化日(毎月2回 日を決めて実施) | ヘ 未収金強化日(毎月1回 日を決めて実施) |

〈院外活動〉

私立病院協会の研修会開催(年4回開催)

2018(平成30)年9月12日(水) 14:00から 算定の正しいとり方研修会

2018(平成30)年10月24日(水) 14:00から 医療改定後の取り組み研修会

2018(平成30)年11月20日(火) 14:00から 未収金に関する研修会

2019(平成31)年2月19日(火) 14:00から 暴力団不当要求に関する研修会

豊郷町人権問題学習講座 場所:豊郷町地域総合センター

2018(平成30)年7月26日(木) 19:30～21:00

「人権ってだれのもの?学ぶのはなぜ?」 杉江 範昭氏

参加者 4名

2018(平成30)年8月24日(金) 19:30～21:00

「古典芸能と人権」 藤田 隆行氏

参加者 3名

2018(平成30)年9月13日(木) 19:30～21:00

「男女共同参画について」 諏訪 直美氏

参加者 2名

2018(平成30)年10月4日(木) 19:30～21:00

「心の健康について」 甘佐 京子氏

参加者 3名

2018(平成30)年10月25日(木) 19:30～21:00

「ヘイトスピーチを許さない社会をつくるために」 河 かおる氏

参加者 3名

2018(平成30)年11月15日(木) 19:30～21:00

「人権ライブ～出会ってくれてありがとう～」 ちめいど氏

参加者 4名

総務課

① 概要

総務、資材、営繕、リネン、宿舍、電気、保育、学童、警備、清掃

- ・開設事項、役員会の業務、施設の改変事務、設備管理、社宅管理、施設基準、諸補助金並びに各種申請報告に関すること。
- ・諸契約事項及び通達、文書物件の収発管理に関すること。
- ・病院内諸会議事項及び病院内連絡調整に関すること。
- ・当直業務、保安、警備、防災、救急情報センター業務、電話交換業務、自動車運行管理に関すること。
- ・リネン、清掃、給食業務の各委託業務管理に関すること。
- ・ボイラー、給水湯、冷暖房、自家発電装置、電気、ガス、上下水道、廃水、コ・ジェネレーション等設備管理に関すること。
- ・医療機器、事務機器、医療材料消耗品、事務消耗品、被服、伝票類、発注購買、検収、保管、管理及び入出庫業務に関すること。

② スタッフ

課長 岩佐 武、主任 山本真弓

総務担当 3 名、資材担当 2 名、営繕担当 3 名、リネン担当 2 名、宿舍担当 1 名

③ 活動実績

1 病棟給水主配管改修工事

ガスエンジン発電機（コージェネ）1 号機 E 点検と改修工事

④ 研修活動

人権研修

接遇研修

表彰関係

【院内表彰】

2019／1／4 永年勤続20年表彰

医師(副院長)	曾我 弘樹
理学療法士(係長)	近藤 則子
ソーシャルワーカー(室長補佐)	高田 知希
看護師(主任)	角間 広美
看護師(係長)	野田 静
事務員(係長)	上林 真紀
事務員(係長)	山本 洋道
介護福祉士(主任)	若松 悦子
介護福祉士(主任)	西川 明美

【院外表彰】

2019／1／20 滋賀県病院協会永年勤続表彰(勤続15年以上)

理学療法士(部長)	吉田 環	理学療法士(主任)	織部 恭史
看護師(教務主任)	川合 小百合	看護師(訪問看護所長)	西川 くるみ
看護師	林 こず恵	看護師	中村 悦子
看護師	外川 はつえ	看護師	川筋 麻由
准看護師	村越 紀子	ケアワーカー	今村 政孝
ケアワーカー	深瀬 愛香	ケアワーカー	田中 吉子
事務職員(係長)	森田 克哉	事務職員	近藤 裕子
リネン	外村 美和子	介護福祉士(所長)	米谷 利子
介護福祉士(所長)	西山 健一	介護福祉士(係長)	北川 くに子
介護福祉士(係長)	柴田 健太郎	介護福祉士(係長)	土川 裕人
介護福祉士(主任)	山崎 京子		

診療情報管理室

2 各種統計資料

各科月別新患者統計（保険別）

（自2018.4.1～至.2019.3.31）

科別	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
循環器科	国 保	10	15	13	9	9	9	12	9	8	7	12	6	119
	健 保	22	18	15	19	15	14	22	14	18	24	18	26	225
	後期高齢	12	11	12	15	18	2	11	17	9	12	12	15	146
	生 保	1	2		1	2	2	2	1			1	1	13
	労 災													0
	自 費	2	1	3		4		1		1	1	2	6	21
	そ の 他													0
	合 計	47	47	43	44	48	27	48	41	36	44	45	54	524
消化器科	国 保	17	24	25	29	45	18	32	14	26	26	22	34	312
	健 保	47	52	40	55	72	54	47	53	64	60	58	54	656
	後期高齢	19	18	21	28	29	14	22	16	16	14	22	24	243
	生 保	5	1	2	2	3	2	3	4	5	1	3		31
	労 災								1				1	2
	自 費	7	3	3	5	6	3	5	5	8	2	4	10	61
	そ の 他		1										1	2
	合 計	95	99	91	119	155	91	109	93	119	103	109	124	1,307
内科（糖尿・透析）	国 保	8	5	13	7	10	10	10	11	8	11	6	5	104
	健 保	10	19	14	22	30	11	10	17	18	33	11	8	203
	後期高齢	6	4	8	8	14	7	9	7	5	12	5	6	91
	生 保			2	4	1	3	3					1	14
	労 災		1											1
	自 費	2	3	3	5	5	6	4	3	4	4	3	6	48
	そ の 他													0
	合 計	26	32	40	46	60	37	36	38	35	60	25	26	461
呼吸器内科	国 保	15	32	23	30	27	16	27	18	21	50	25	22	306
	健 保	42	55	51	34	56	36	57	38	58	99	56	48	630
	後期高齢	29	21	31	21	59	24	25	35	24	17	23	17	326
	生 保	1	1		2	4	1	1	2	2	2		3	19
	労 災		1							1				2
	自 費	5	2	2	6	1	1	3	2	1	3	8	5	39
	そ の 他													0
	合 計	92	112	107	93	147	78	113	95	107	171	112	95	1,322
呼吸器外科	国 保													0
	健 保													0
	後期高齢													0
	生 保													0
	労 災													0
	自 費													0
	そ の 他													0
	合 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	国 保	7	18	13	15	17	13	15	13	16	15	26	26	194
	健 保	17	17	33	33	32	21	27	28	23	18	25	28	302
	後期高齢	12	19	14	13	9	6	16	18	9	25	17	10	168
	生 保	2	1	2			1	1			3	1	1	12
	労 災									1				1
	自 費				2	1		2	1	2		1		9
	そ の 他													0
	合 計	38	55	62	63	59	41	61	60	51	61	70	65	686

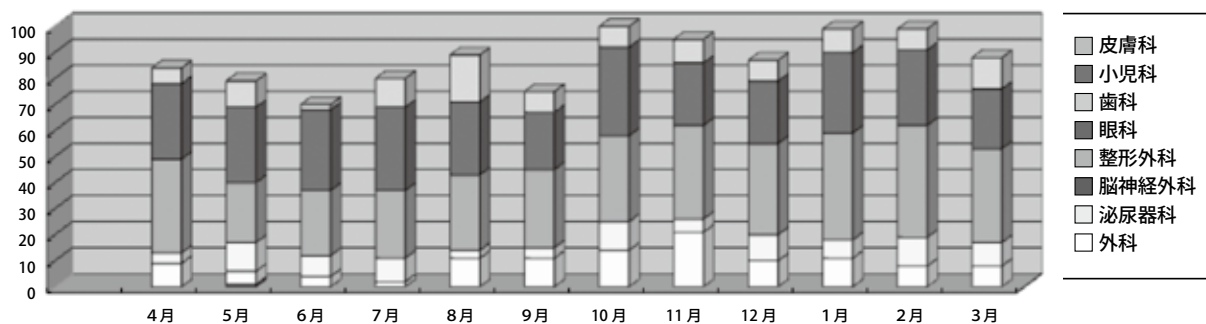
科別		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
透析	国保			1											1
	健保														0
	後期高齢														0
	生保														0
	労災														0
	自費														0
	その他														0
	合計		0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
外科	国保		13	17	14	15	17	18	11	12	17	12	16	22	184
	健保		30	26	21	24	35	36	40	31	29	29	31	27	359
	後期高齢		12	10	6	11	9	12	15	14	12	13	15	11	140
	生保		1	1	1	1	1		2		2	1	1	1	12
	労災														0
	自費		2	9	5	11	15	10	11	28	12	18	9	9	139
	その他														0
	合計		58	63	47	62	77	76	79	85	72	73	72	70	834
脳神経外科	国保		6	7	12	14	3	11	14	7	5	2	10	9	100
	健保		8	14	5	15	19	18	15	9	10	15	10	22	160
	後期高齢		6	12	9	7	8	8	9	9	9	16	9	10	112
	生保		1		2			3		2	1	1	2		12
	労災														0
	自費					1	1		1	1		1	1	1	7
	その他				2		1	1				1		1	6
	合計		21	33	30	37	32	41	39	28	25	36	32	43	397
脳神経内科	国保							1				1	2		4
	健保		1	1	4	2		1	1		1		1	4	16
	後期高齢		1	1		3	1	2				2		1	11
	生保														0
	労災														0
	自費														0
	その他														0
	合計		2	2	4	5	1	4	1	0	1	3	3	5	31
整形外科	国保		79	62	78	78	77	56	80	71	57	49	59	67	813
	健保		114	152	132	143	127	144	173	122	109	143	123	143	1,625
	後期高齢		59	62	69	57	55	41	61	58	44	62	48	60	676
	生保		1	2	4	7	1	4	7	4	5	4	5	6	50
	労災			1		1			1		1	1	2		7
	自費		14	17	19	37	10	13	19	15	27	31	13	14	229
	その他		7	6	15	13	12	2	5	8	2	5	7	4	86
	合計		274	302	317	336	282	260	346	278	245	295	257	294	3,486
眼科	国保		26	25	29	25	30	32	33	29	26	25	18	35	333
	健保		43	36	38	57	46	29	39	31	36	31	23	39	448
	後期高齢		23	30	26	31	30	26	25	28	17	24	19	26	305
	生保		1	6	2	1	2	3	4	1	1	4	2	2	29
	労災				1				1						2
	自費		2	1			1			3		2	4	1	14
	その他					1									1
	合計		95	98	96	115	109	90	102	92	80	86	66	103	1,132

科別		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
耳鼻咽喉科	国保		14	23	11	16	11	12	24	12	14	9	19	23	188
	健保		38	29	40	37	34	39	37	23	23	30	42	75	447
	後期高齢		16	12	8	16	18	19	24	15	10	15	22	13	188
	生保		2		1	2	4	3	2	3		5	4	2	28
	労災														0
	自費			1	1	2		2		1		1		2	10
	その他							2	1						3
	合計		70	65	61	73	67	77	88	54	47	60	87	115	864
皮膚科	国保		6	23	15	15	23	10	15	19	14	14	9	12	175
	健保		25	25	29	30	49	25	23	29	16	23	14	19	307
	後期高齢		13	19	20	17	28	16	27	12	23	22	16	25	238
	生保		4	4		2	3	1		3	2	4	2	4	29
	労災														0
	自費				1					3					4
	その他													1	1
	合計		48	71	65	64	103	52	65	66	55	63	41	61	754
歯科・歯科口腔外科	国保		37	21	42	34	37	31	35	42	24	34	47	48	432
	健保		51	55	52	57	62	55	51	62	54	47	51	66	663
	後期高齢		51	40	42	42	45	37	58	45	41	41	53	57	552
	生保		4	5	7	2	7	4	5	6	5	2	5	4	56
	労災														0
	自費			3	1		3	2			2	1			12
	その他														0
	合計		143	124	144	135	154	129	149	155	126	125	156	175	1,715
婦人科	国保			2	1	1	2		3	1	1	3	1	3	18
	健保		3	2	4	7		2	3	3	8	3	6	3	44
	後期高齢					2	2		2	1	1	1	1		10
	生保														0
	労災														0
	自費														0
	その他														0
	合計		3	4	5	10	4	2	8	5	10	7	8	6	72
小児科	国保		23	25	22	17	17	17	21	13	18	21	28	20	242
	健保		61	102	94	95	66	66	77	82	87	113	63	61	967
	後期高齢														0
	生保		3	2	1	1	1	1	1	1	2	2	4	1	20
	労災														0
	自費		1		1							5		1	8
	その他											2			2
	合計		88	129	118	113	84	84	99	96	107	143	95	83	1,239
精神科	国保		10	15	15	20	12	10	12	14	15	13	6	13	155
	健保		16	22	30	18	18	25	18	21	27	11	21	15	242
	後期高齢		13	23	27	32	30	17	22	22	20	16	29	27	278
	生保			2	3	2	2	2	4	2	2	2	2		23
	労災														0
	自費		5	3	1	3	3	1	2	5	6	1		5	35
	その他														0
	合計		44	65	76	75	65	55	58	64	70	43	58	60	733

科別		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心療内科	国保														0
	健保														0
	後期高齢														0
	生保														0
	労災														0
	自費														0
	その他														0
	合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	国保		271	314	327	325	337	264	344	285	270	292	306	345	3,680
	健保		528	625	602	648	661	576	640	563	581	679	553	638	7,294
	後期高齢		272	282	293	303	355	231	326	297	240	292	291	302	3,484
	生保		26	27	27	27	31	30	35	29	27	31	32	26	348
	労災			3	1	1			2	1	3	1	2	1	15
	自費		40	43	40	72	50	38	48	67	63	70	45	60	636
	その他		7	7	17	14	13	5	6	8	2	8	7	7	101
	合計		1,144	1,301	1,307	1,390	1,447	1,144	1,401	1,250	1,186	1,373	1,236	1,379	15,558

手術の件数

科別		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科(消化器内科)															0
呼吸器科				1											1
外科			9	5	4	2	11	11	14	21	10	11	8	8	114
泌尿器科			4	11	8	9	3	4	11	5	10	7	11	9	92
脳神経外科															0
整形外科			36	23	25	26	29	30	33	36	35	41	43	36	393
眼科			29	29	31	32	28	22	34	24	24	31	29	23	336
歯科			6	10	2	11	18	8	8	9	8	9	8	12	109
小児科															0
精神科			3	7	2						6	8	7		33
皮膚科															0
合計			87	86	72	80	89	75	100	95	93	107	106	88	1,078



各科診療取扱患者数《外来・通所》

(自 2018.4.1 ～至 .2019.3.31)

(医 療)

科別	月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合計
循環器内科		888	858	909	840	897	730	915	830	833	822	799	812	10,133
消化器内科		546	596	620	693	781	569	692	592	667	627	612	683	7,678
内科一般		479	514	526	553	564	488	544	521	505	558	504	499	6,255
呼吸器内科		838	924	875	888	913	894	1,031	964	988	1,042	854	940	11,151
呼吸器外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外科		283	259	241	235	358	330	404	343	368	287	289	336	3,733
泌尿器科		585	647	655	663	647	603	682	652	625	628	635	695	7,717
透 析		604	676	657	600	635	588	649	614	619	622	550	638	7,452
皮膚科		282	333	277	291	387	257	304	349	309	290	240	283	3,602
脳神経外科		175	189	195	214	200	222	227	201	185	184	174	221	2,387
脳神経内科		52	24	56	45	36	55	57	36	45	41	51	55	553
整形外科		1,888	1,936	1,868	1,896	1,859	1,642	1,949	1,815	1,719	1,729	1,679	1,948	21,928
婦人科		35	36	48	51	47	16	65	56	46	46	45	39	530
耳鼻咽喉科		338	352	304	336	298	307	351	261	328	323	322	445	3,965
眼 科		815	796	834	853	838	757	880	777	761	723	643	760	9,437
歯 科		583	515	612	584	636	500	571	599	580	491	549	596	6,816
小児科		166	222	200	202	194	167	191	197	213	241	187	182	2,362
心療内科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科		1,490	1,444	1,445	1,569	1,633	1,445	1,698	1,578	1,514	1,450	1,436	1,528	18,230
合 計		10,047	10,321	10,322	10,513	10,923	9,570	11,210	10,385	10,305	10,104	9,569	10,660	123,929

(介 護)

訪問看護ステーション	1,551	1,564	1,604	1,554	1,662	1,356	1,646	1,577	1,359	1,288	1,396	1,423	17,980
介護老人保健施設	296	290	280	264	261	237	281	285	258	249	246	264	3,211
彦根デイサービス	767	851	778	760	783	735	857	807	719	789	761	801	9,408
甲良デイサービス	415	431	432	411	380	361	399	419	404	389	376	451	4,868

各科診療取扱患者数《入院・入所》

(自 2018.4.1 ～至 .2019.3.31)

(医 療)

科別	月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	合計
循環器内科		190	397	375	348	323	321	374	482	449	541	404	456	4,660
消化器内科		1,385	1,149	1,216	1,285	1,440	1,177	849	935	868	697	762	845	12,608
内科一般		108	112	44	119	186	66	41	37	68	134	151	187	1,253
心療内科		58	77	41	44	38	94	121	120	90	63	52	3	801
呼吸器内科		726	859	625	583	637	702	739	626	686	750	728	706	8,367
呼吸器外科		247	203	143	119	161	230	245	198	281	280	201	173	2,481
外科		119	182	173	141	103	188	306	296	268	310	296	492	2,874
泌尿器科		261	289	216	287	255	253	272	137	259	172	265	167	2,833
脳神経外科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科		846	608	607	813	944	856	882	921	947	917	973	882	10,196
眼 科		90	101	116	126	77	58	110	88	75	102	83	85	1,111
歯 科		8	23	12	28	44	21	12	14	11	34	28	37	272
小児科		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科		2,819	2,863	2,908	3,107	3,053	3,019	3,054	2,945	3,040	3,068	2,786	3,089	35,751
療養病棟		916	939	852	852	856	847	887	847	833	763	621	668	9,881
回復期リハ		801	854	842	838	902	864	840	855	911	908	806	908	10,329
合 計		8,574	8,656	8,170	8,690	9,019	8,696	8,732	8,501	8,786	8,739	8,156	8,698	103,417

(介 護)

介護老人保健施設	2,625	2,712	2,767	2,830	2,811	2,687	2,648	2,653	2,801	2,835	2,477	2,871	32,717
彦根グループホーム	270	279	268	269	255	270	279	270	279	255	251	251	3,196
甲良グループホーム	270	279	270	279	279	270	272	266	271	279	252	279	3,266

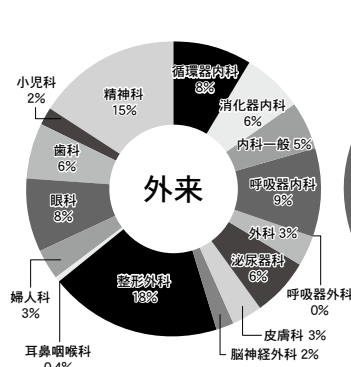
外来地域別診療患者数 (自2018.4.1～至.2019.3.31)

郡 市	犬 上 郡			愛知郡	三 市			その他	合 計
	豊郷町	甲良町	多賀町	愛荘町	彦根市	東近江市	近江八幡市		
内 科	1,252	930	271	1,281	1,344	526	30	112	5,746
消化器内科	1,313	842	313	1,559	1,359	527	25	161	6,099
循環器内科	2,652	1,180	403	2,270	1,690	654	63	238	9,150
外 科	555	306	138	592	570	156	17	63	2,397
脳神経外科	469	200	88	484	571	194	15	35	2,056
整形外科	2,512	2,022	841	2,850	3,314	1,083	196	321	13,139
婦 人 科	93	72	13	113	82	53	3	9	438
耳鼻咽喉科	950	538	143	775	610	213	9	79	3,317
眼 科	1,967	1,321	512	2,175	1,476	610	37	73	8,171
精 神 科	1,186	695	448	1,167	5,117	2,589	332	823	12,357
脳神経内科	88	54	8	120	118	45	1	1	435
歯 科	1,078	426	203	856	1,128	472	46	144	4,353
呼吸器科	1,398	740	471	1,870	3,344	1,173	116	225	9,337
泌尿器科	1,102	833	397	1,581	1,527	759	14	125	6,338
皮 膚 科	913	473	174	674	487	197	15	41	2,974
小 児 科	869	150	59	615	139	23	3	34	1,892
透 析	142	113	10	130	168	0	0	0	563
オアシス	118	186	147	189	584	136	12	28	1,400
合 計	18,657	11,081	4,639	19,301	23,628	9,410	934	2,512	90,162

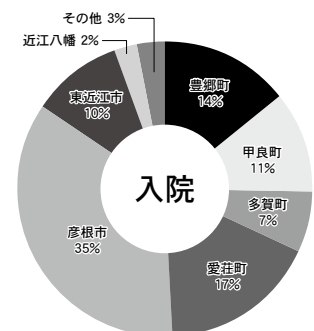
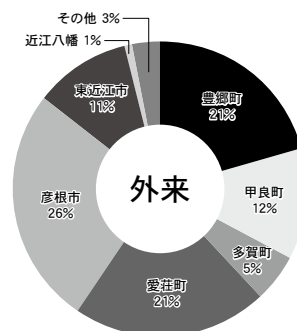
入院地域別診療患者数 (自2018.4.1～至.2019.3.31)

郡 市	犬 上 郡			愛知郡	三 市			その他	合 計
	豊郷町	甲良町	多賀町	愛荘町	彦根市	東近江市	近江八幡市		
内 科	19	20	11	18	27	3	0	0	98
消化器内科	233	131	82	267	469	58	8	13	1,261
循環器内科	62	32	25	59	69	11	3	13	274
外 科	48	30	26	52	75	16	3	3	253
脳神経外科	18	18	8	34	63	20	0	0	161
整形外科	113	152	67	170	291	89	16	29	927
眼 科	46	47	27	66	57	24	2	2	271
精 神 科	77	41	67	91	626	250	86	102	1,340
歯 科	18	3	4	24	50	16	2	1	118
呼吸器科	143	111	59	125	210	48	6	7	709
泌尿器科	43	42	9	76	56	36	4	2	268
心療内科	1	10	2	4	36	8	0	2	63
合 計	821	637	387	986	2029	579	130	174	5,743

各科別収容比率



地域構成比率



診療科別・月別・患者数（入院実人数）

診療科		総数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	死亡	剖検
総 数	計	2,314	200	195	185	195	222	170	201	197	197	180	187	185	162	-
	男	1,155	103	96	96	93	113	79	92	102	117	96	82	86	72	-
	女	1,159	97	99	89	102	109	91	109	95	80	84	105	99	90	-
内 科	計	67	3	5	5	8	12	3	4	5	4	5	5	8	3	-
	男	33	3	4	3	6	6	1	-	2	2	1	1	4	3	-
	女	34	-	1	2	2	6	2	4	3	2	4	4	4	-	-
消 化 器 科	計	522	57	41	44	48	54	43	47	44	38	45	33	28	76	-
	男	252	22	20	24	22	27	18	21	28	18	27	12	13	34	-
	女	270	35	21	20	26	27	25	26	16	20	18	21	15	42	-
循 環 器 科	計	115	3	12	10	11	14	7	7	9	11	9	13	9	25	-
	男	38	1	3	5	3	5	3	2	3	7	2	4	-	5	-
	女	77	2	9	5	8	9	4	5	6	4	7	9	9	20	-
外 科	計	161	8	3	6	8	11	9	20	19	22	20	11	24	11	-
	男	89	7	2	2	2	9	4	8	8	17	13	7	10	2	-
	女	72	1	1	4	6	2	5	12	11	5	7	4	14	9	-
脳神経外科	計	30	1	1	4	4	3	3	1	3	1	2	2	5	-	-
	男	15	1	-	2	-	1	3	-	2	1	1	2	2	-	-
	女	15	-	1	2	4	2	-	1	1	-	1	-	3	-	-
整 形 外 科	計	384	42	29	30	30	32	31	27	34	38	27	33	31	1	-
	男	157	17	9	13	15	15	15	9	16	16	9	13	10	-	-
	女	227	25	20	17	15	17	16	18	18	22	18	20	21	1	-
婦 人 科	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
耳鼻咽喉科	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
眼 科	計	249	23	17	21	21	26	19	21	21	21	22	21	16	-	-
	男	105	10	2	8	11	14	7	7	9	13	10	6	8	-	-
	女	144	13	15	13	10	12	12	14	12	8	12	15	8	-	-
精神神経科	計	146	11	12	11	14	12	12	16	11	17	7	12	11	2	-
	男	62	4	8	4	5	3	4	7	2	10	6	5	4	1	-
	女	84	7	4	7	9	9	8	9	9	7	1	7	7	1	-
歯 科 口 腔 外 科	計	80	4	7	2	10	17	4	3	5	5	6	5	12	-	-
	男	30	-	4	-	4	7	2	2	1	1	5	2	2	-	-
	女	50	4	3	2	6	10	2	1	4	4	1	3	10	-	-
呼 吸 器 科	計	258	17	40	25	21	20	18	20	22	16	16	25	18	25	-
	男	155	11	24	19	12	11	8	13	13	12	8	11	13	17	-
	女	103	6	16	6	9	9	10	7	9	4	8	14	5	8	-
泌 尿 器 科	計	186	16	19	16	15	16	11	21	11	15	10	16	20	8	-
	男	147	15	15	12	10	12	7	18	8	13	9	11	17	5	-
	女	39	1	4	4	5	4	4	3	3	2	1	5	3	3	-
呼吸器外科	計	82	14	7	6	2	4	6	10	9	6	8	8	2	9	-
	男	55	11	4	3	2	2	4	4	8	5	4	6	2	4	-
	女	27	3	3	3	-	2	2	6	1	1	4	2	-	5	-
皮 膚 科	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小 児 科	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
心 療 内 科	計	34	1	2	5	3	1	4	4	4	3	3	3	1	2	-
	男	17	1	1	1	1	1	3	1	2	2	1	2	1	1	-
	女	17	-	1	4	2	-	1	3	2	1	2	1	-	1	-
麻 酔 科	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

時間内救急患者

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転 帰 別	入 院	35	27	33	40	43	28	30	28	30	34	19	33	380
	そ の 他	58	60	63	92	92	82	71	80	58	92	65	75	888
	計	93	87	96	132	135	110	101	108	88	126	84	108	1,268
来 院 方 法	救 急 車		25	24	26	35	22	22	30	23	28	25	10	270
	そ の 他	93	62	72	106	100	88	79	78	65	98	59	98	998
	計	93	87	96	132	135	110	101	108	88	126	84	108	1,268
種 別	交通事故		1	3	4	6	2	2	6	4	3	4	3	38
	そ の 他	93	86	93	128	129	108	99	102	84	123	80	105	1,230
	計	93	87	96	132	135	110	101	108	88	126	84	108	1,268
1 日 平 均		3.9	3.6	3.7	5.3	5.2	4.8	3.9	4.5	3.8	5.5	3.7	4.3	4.3
日 数		24	24	26	25	26	23	26	24	23	23	23	25	292

※平 日 8:30～16:50

土曜日 8:30～12:40

時間外救急患者

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転 帰 別	入 院	18	29	28	31	28	21	30	30	17	27	27	22	308
	そ の 他	113	128	92	165	119	123	150	130	157	187	121	113	1,598
	計	131	157	120	196	147	144	180	160	174	214	148	135	1,906
来 院 方 法	救 急 車		32	39	57	41	29	56	46	31	45	28	72	476
	そ の 他	131	125	81	139	106	115	124	114	143	169	120	63	1,430
	計	131	157	120	196	147	144	180	160	174	214	148	135	1,906
種 別	交通事故		6	5	9	2	4	10	9	8	11	5	2	71
	そ の 他	131	151	115	187	145	140	170	151	166	203	143	133	1,835
	計	131	157	120	196	147	144	180	160	174	214	148	135	1,906
1 日 平 均		4.4	5.1	4.0	6.3	4.7	4.8	5.8	5.3	5.6	6.9	5.3	4.4	5.2
日 数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
診 療 科 別	内 科	44	46	56	73	73	50	65	51	56	80	51	37	682
	心療内科													0
	呼吸器科	14	13	5	6	6	5	6	13	13	14	8	10	113
	外 科	19	23	12	21	20	28	27	26	22	17	25	14	254
	泌尿器科	1	1	4	6	6	4	3	14	3	7	12	3	64
	皮 膚 科			2	1	1			1		1			6
	脳神経外科	1		1			2	4			2	1		11
	整形外科	35	54	28	63	33	42	62	44	62	81	33	50	587
	婦 人 科													0
	耳鼻咽喉科	6	1		7		1			4			1	20
	眼 科		1					2			1			4
	小 児 科	1												1
	精 神 科	9	16	12	19	8	11	10	10	13	9	18	19	154
	オアシス										1			1
	歯科・歯科口腔外科	1	2				1	1	1	1	1		1	9
	透 析													0
	計	131	157	120	196	147	144	180	160	174	214	148	135	1,906

※日曜・祭日 8:30～ 翌8:30

土曜日 12:40～ 翌8:30

(統計:総務課)

病歴統計

疾病別・診療科別・患者数（大分類）

コード	国際分類大項目分類	総数	内科	消化器	循環器	外科	脳外科	整形外科	婦人科	耳鼻科	眼科	精神科	歯科	呼吸器	泌尿器	呼外	皮膚科	小児科	心内	麻酔科
不明		計	70	-	3	2	1	-	7	-	-	1	3	51	2	-	-	-	-	-
		男	31	-	2	1	-	-	4	-	-	-	2	20	2	-	-	-	-	-
		女	39	-	1	1	1	-	3	-	-	1	1	31	-	-	-	-	-	-
総数		計	2244	67	519	113	160	30	377	-	-	248	143	29	256	186	82	-	-	34
		男	1124	33	250	37	89	15	153	-	-	105	60	10	153	147	55	-	-	17
		女	1120	34	269	76	71	15	224	-	-	143	83	19	103	39	27	-	-	17
I 感染症及び寄生虫症		計	53	9	23	6	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	6	-	-	-
		男	28	6	9	2	1	-	-	-	-	-	-	-	7	-	3	-	-	-
		女	25	3	14	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-
II 新生物(悪性新生物)		計	213	1	64	-	54	-	9	-	-	-	-	-	15	62	8	-	-	-
		男	125	-	28	-	21	-	6	-	-	-	-	-	11	55	4	-	-	-
		女	88	1	36	-	33	-	3	-	-	-	-	-	4	7	4	-	-	-
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害		計	6	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
		男	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
		女	3	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患		計	61	17	29	5	2	-	-	-	-	-	-	-	7	-	1	-	-	-
		男	19	8	7	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
		女	42	9	22	4	1	-	-	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-
V 精神及び行動の障害		計	159	2	7	2	1	-	1	-	-	-	127	-	1	-	2	-	-	16
		男	64	1	-	1	1	-	-	-	-	-	55	-	-	-	-	-	-	6
		女	95	1	7	1	-	-	1	-	-	-	72	-	1	-	2	-	-	10
VI 神経系の疾患		計	116	-	15	3	2	-	15	-	-	-	12	-	47	-	9	-	-	13
		男	73	-	7	1	-	-	12	-	-	-	3	-	35	-	5	-	-	10
		女	43	-	8	2	2	-	3	-	-	-	9	-	12	-	4	-	-	3
VII 眼及び付属器の疾患		計	247	-	-	-	-	-	-	-	-	247	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	105	-	-	-	-	-	-	-	-	105	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	142	-	-	-	-	-	-	-	-	142	-	-	-	-	-	-	-	-
VIII 耳及び乳様突起の疾患		計	13	3	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
		男	6	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
		女	7	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
IX 循環器系の疾患		計	120	3	19	45	13	26	1	-	-	-	-	-	6	1	5	-	-	1
		男	59	1	11	15	9	13	1	-	-	-	-	-	3	1	4	-	-	1
		女	61	2	8	30	4	13	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-
X 呼吸器系の疾患		計	287	14	58	24	3	-	-	-	-	-	-	-	142	1	44	-	-	1
		男	159	8	25	9	2	-	-	-	-	-	-	-	83	-	32	-	-	-
		女	128	6	33	15	1	-	-	-	-	-	-	-	59	1	12	-	-	1

コード	国際分類大項目分類	総数	内科	消化器	循環器	外科	脳外科	整形外科	婦人科	耳鼻科	眼科	精神科	歯科	呼吸器	泌尿器	呼吸器	皮膚科	小児科	心内	麻酔科
XI	消化器系の疾患	計 288	-	192	2	63	-	-	-	-	-	-	29	2	-	-	-	-	-	-
	男	173	-	117	1	45	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-
	女	115	-	75	1	18	-	-	-	-	-	-	19	2	-	-	-	-	-	-
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	計 12	2	3	-	1	-	4	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
	男	5	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	7	1	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	計 116	-	7	3	5	2	97	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
	男	46	-	3	1	1	2	38	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	女	70	-	4	2	4	-	59	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計 143	7	15	11	2	-	-	-	-	-	-	-	11	97	-	-	-	-	-
	男	83	4	3	2	2	-	-	-	-	-	-	-	3	69	-	-	-	-	-
	女	60	3	12	9	-	-	-	-	-	-	-	-	8	28	-	-	-	-	-
XV	妊娠、分娩及び産じょく	計 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI	周産期に発生した病態	計 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII	先天奇形、変形及び染色体異常	計 2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	男	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類	計 76	6	45	9	1	-	-	-	-	-	1	1	7	4	2	-	-	1	-
	男	36	3	20	4	-	-	-	-	-	-	1	1	3	3	2	-	-	-	-
	女	40	3	25	5	1	-	-	-	-	-	-	-	4	1	-	-	-	1	-
XIX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	計 287	3	15	1	8	1	245	-	-	1	3	-	-	4	4	-	-	2	-
	男	113	-	8	-	4	-	92	-	-	-	1	-	-	4	4	-	-	-	-
	女	174	3	7	1	4	1	153	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	2	-
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計 45	-	17	1	3	1	4	-	-	-	-	-	-	5	13	1	-	-	-
	男	25	-	6	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	2	13	1	-	-	-
	女	20	-	11	1	1	1	3	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
XXII	特殊目的用コード	計 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病別・在院期間別・患者数 (大分類)

コード	国際分類大項目分類	総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	32～61日	62～91日	3～6月	1～2年	2年～	平均在院日数
	不明	計	70	52	4	1	2	4	3	-	4	382.4
		男	31	22	1	1	1	1	2	-	3	651.4
		女	39	30	3	-	1	3	1	-	1	168.5
	総数	計	2244	870	378	156	146	321	209	117	15	39.6
		男	1124	503	204	69	66	129	83	48	8	33.9
		女	1120	367	174	87	80	192	126	69	7	45.3
I	感染症及び寄生虫症	計	53	16	15	11	2	5	2	2	-	21.3
		男	28	8	12	3	2	2	1	-	-	16.4
		女	25	8	3	8	-	3	1	2	-	26.9
II	新生物(悪性新生物)	計	213	98	49	7	15	27	3	10	3	28
		男	125	60	32	3	9	14	-	4	1	26.5
		女	88	38	17	4	6	13	3	6	1	30.1
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	6	2	2	-	1	1	-	-	-	14.2
		男	3	1	1	-	1	-	-	-	-	12
		女	3	1	1	-	-	1	-	-	-	16.3
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	61	12	12	11	5	11	7	3	-	30.2
		男	19	4	7	2	1	3	2	-	-	24.3
		女	42	8	5	9	4	8	5	3	-	32.9
V	精神及び行動の障害	計	159	22	11	12	9	35	37	19	4	127.1
		男	64	10	3	6	5	8	15	9	2	152.7
		女	95	12	8	6	4	27	22	10	2	109.8
VI	神経系の疾患	計	116	77	5	5	5	9	5	3	1	52.9
		男	73	59	3	2	2	2	2	2	-	14.7
		女	43	18	2	3	3	7	3	1	4	117.6
VII	眼及び付属器の疾患	計	247	165	82	-	-	-	-	-	-	5.4
		男	105	72	33	-	-	-	-	-	-	5.3
		女	142	93	49	-	-	-	-	-	-	5.4
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	13	10	-	2	-	1	-	-	-	9.3
		男	6	6	-	-	-	-	-	-	-	4
		女	7	4	-	2	-	1	-	-	-	13.9
IX	循環器系の疾患	計	120	26	14	7	5	23	8	30	1	99.1
		男	59	18	6	2	1	15	2	13	-	76.5
		女	61	8	8	5	4	8	6	17	1	120.9
X	呼吸器系の疾患	計	287	46	56	39	43	57	26	13	5	40.2
		男	159	21	32	22	23	32	16	8	4	41.2
		女	128	25	24	17	20	25	10	5	1	39

コード	国際分類大項目分類	総数	1～8日	9～15日	16～22日	23～31日	32～61日	62～91日	3～6月	6月～1年	1～2年	2年～	平均在院日数
XI	消化器系の疾患	計	288	187	43	18	10	17	10	2	1	-	13.1
		男	173	120	26	8	4	7	7	-	1	-	12.4
		女	115	67	17	10	6	10	3	2	-	-	14.1
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	計	12	2	3	3	2	1	-	-	1	-	39.7
		男	5	1	1	1	1	1	-	-	-	-	24.8
		女	7	1	2	2	1	-	-	-	1	-	50.3
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	116	16	10	6	13	50	15	6	-	-	40.5
		男	46	7	5	4	2	21	5	2	-	-	40.2
		女	70	9	5	2	11	29	10	4	-	-	40.8
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計	143	43	40	13	16	19	6	5	1	-	23.5
		男	83	34	24	5	7	9	2	2	-	-	17.8
		女	60	9	16	8	9	10	4	3	1	-	31.3
XV	妊娠、分娩及び産じょく	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI	周産期に発生した病態	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII	先天奇形、変形及び染色体異常	計	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	46
		男	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	46
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類不能	計	76	38	12	7	5	6	5	1	1	-	25.1
		男	36	21	6	3	1	2	2	-	-	-	24.5
		女	40	17	6	4	4	4	3	1	1	-	25.6
XIX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	287	77	23	15	14	55	80	21	1	-	45.8
		男	113	41	12	8	6	12	26	7	-	-	39.1
		女	174	36	11	7	8	43	54	14	1	-	50.2
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	45	33	-	-	1	4	4	2	1	-	26.9
		男	25	20	-	-	1	1	2	1	-	-	16.5
		女	20	13	-	-	-	3	2	1	1	-	40
XXII	特殊目的用コード	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病別・年齢階層別・患者数(大分類)

コード	国際分類大項目分類	総数	0歳～4歳	5歳～9歳	10歳～14歳	15歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳～	平均年齢	
	不明	計	70	-	1	-	19	15	6	3	1	6	4	9	3	2	1	-	43.3
		男	31	-	1	-	6	6	6	3	1	2	4	-	1	1	-	-	40.5
		女	39	-	-	-	13	9	-	-	-	4	-	9	2	1	1	-	45.6
	総数	計	2244	-	1	4	32	58	70	103	161	315	533	347	345	185	85	5	72.3
		男	1124	-	-	3	17	34	43	71	104	187	290	152	150	62	11	-	69.1
		女	1120	-	1	1	15	24	27	32	57	128	243	195	195	123	74	5	75.6
I	感染症及び寄生虫症	計	53	-	-	1	2	4	2	3	8	7	9	9	5	3	-	71	
		男	28	-	-	1	-	1	-	2	2	5	7	4	4	1	-	-	68.1
		女	25	-	-	-	-	2	2	-	1	3	-	5	5	4	3	-	74.2
II	新生物(悪性新生物)	計	213	-	-	-	-	-	1	3	11	40	76	35	29	10	8	-	75.8
		男	125	-	-	-	-	-	-	3	4	28	44	22	19	4	1	-	75.1
		女	88	-	-	-	-	-	1	-	7	12	32	13	10	6	7	-	76.7
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	計	6	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	1	2	-	-	78.5	
		男	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	82.7
		女	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	74.3
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	61	-	-	-	-	-	-	-	5	6	10	11	18	5	6	-	81
		男	19	-	-	-	-	-	-	-	4	2	3	4	5	1	-	-	75.4
		女	42	-	-	-	-	-	-	-	1	4	7	7	13	4	6	-	83.5
V	精神及び行動の障害	計	159	-	-	1	2	7	15	21	35	27	21	10	9	10	1	-	60.3
		男	64	-	-	1	2	2	7	10	16	11	5	3	4	3	-	-	57.3
		女	95	-	-	-	-	5	8	11	19	16	16	7	5	7	1	-	62.2
VI	神経系の疾患	計	116	-	-	-	1	9	10	11	17	18	27	9	9	4	1	-	61.6
		男	73	-	-	-	-	9	8	10	13	11	17	1	2	2	-	-	55.7
		女	43	-	-	-	1	-	2	1	4	7	10	8	7	2	1	-	71.7
VII	眼及び付属器の疾患	計	247	-	-	-	-	-	1	-	5	57	103	59	16	6	-	-	74.8
		男	105	-	-	-	-	-	-	1	-	2	27	43	22	7	3	-	74.2
		女	142	-	-	-	-	-	-	-	-	3	30	60	37	9	3	-	75.2
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	13	-	-	-	1	-	1	3	3	3	-	3	2	-	-	-	65.7
		男	6	-	-	-	-	1	-	1	2	2	-	-	-	-	-	-	53.7
		女	7	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	3	2	-	-	76
IX	循環器系の疾患	計	120	-	-	-	-	-	3	2	8	9	16	20	28	17	17	-	80.8
		男	59	-	-	-	-	-	2	2	7	8	11	10	12	5	2	-	74.6
		女	61	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	5	10	16	12	15	-
X	呼吸器系の疾患	計	287	-	-	-	2	1	2	2	8	19	50	55	76	47	25	-	81.9
		男	159	-	-	-	-	1	2	2	7	13	36	29	45	19	5	-	79.5
		女	128	-	-	-	2	-	-	-	-	1	6	14	26	31	28	20	-

コード	国際分類大項目分類	総数	0歳～4歳	5歳～9歳	10歳～14歳	15歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～84歳	85歳～89歳	90歳～94歳	95歳～99歳	100歳～	平均年齢		
XI	消化器系の疾患	計	288	-	-	-	7	19	14	25	23	54	66	35	27	15	3	-	64.9	
		男	173	-	-	-	4	8	10	14	19	36	46	20	13	3	-	-	63.7	
		女	115	-	-	-	3	11	4	11	4	18	20	15	14	12	3	-	66.7	
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	計	12	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	1	1	-	3	-	79.2	
		男	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	1	-	-	-	72.8	
		女	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	3	-	83.7
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	116	-	-	2	-	3	2	1	9	24	42	14	17	1	1	-	70.7	
		男	46	-	-	1	-	2	-	1	8	8	17	3	6	-	-	-	66.9	
		女	70	-	-	1	-	1	-	2	-	1	16	25	11	11	1	1	-	73.1
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	計	143	-	-	-	-	1	2	13	10	9	33	24	26	16	7	2	76.1	
		男	83	-	-	-	-	1	1	12	8	7	21	14	11	7	1	1	-	71.3
		女	60	-	-	-	-	-	1	1	1	2	2	12	10	15	9	6	2	82.7
XV	妊娠、分娩及び産じょく	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVI	周産期に発生した病態	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVII	先天奇形、変形及び染色体異常	計	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	38	
		男	2	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	38
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
XVIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類	計	76	-	-	-	-	3	1	1	3	8	7	19	18	13	2	1	78.4	
		男	36	-	-	-	-	2	1	1	-	3	4	3	11	7	3	2	-	75.3
		女	40	-	-	-	-	1	-	-	1	-	4	4	8	11	10	-	1	81.2
XIX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	287	-	1	1	18	11	14	19	18	21	57	38	49	30	8	2	68.4	
		男	113	-	-	1	9	7	8	14	7	14	25	6	12	10	-	-	-	60.5
		女	174	-	1	-	9	4	6	5	11	7	32	32	37	20	8	2	73.6	
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	計	45	-	-	-	-	1	1	1	2	9	13	4	10	4	-	-	74.5	
		男	25	-	-	-	-	1	1	1	-	1	9	9	1	3	-	-	69.4	
		女	20	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	4	3	7	4	-	-	80.9
XXII	特殊目的用コード	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

診療科別・I C D 中分類別・死亡（剖検）患者数

コード	I C D分類	総数	内科	消化器	循環器	外科	脳外科	整形外科	婦人科	耳鼻科	眼科	精神科	歯科	呼吸器	泌尿器	呼吸	皮膚科	小児科	心内	麻酔科	剖検率	
不明		計	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
総数		計	161	()	3	()	76	()	25	()	11	()	-	()	1	()	-	()	-	()	2	()
		男	72	()	3	()	34	()	5	()	2	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	89	()	-	()	42	()	20	()	9	()	-	()	1	()	-	()	-	()	-	()
I (A00-B99)感染症および 寄生虫症		計	5	()	-	()	1	()	4	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	2	()	-	()	1	()	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	3	()	-	()	-	()	3	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
A41 その他の敗血症		計	4	()	-	()	1	()	3	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	2	()	-	()	1	()	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	2	()	-	()	-	()	2	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
A49 部位不明の細菌感染症		計	1	()	-	()	-	()	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	1	()	-	()	-	()	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
II (C00-D48)新生物		計	43	()	-	()	23	()	-	()	6	()	-	()	1	()	-	()	-	()	-	()
		男	21	()	-	()	11	()	-	()	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	22	()	-	()	12	()	-	()	5	()	-	()	1	()	-	()	-	()	-	()
C16 胃の悪性新生物		計	5	()	-	()	5	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	4	()	-	()	4	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	1	()	-	()	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
C18 結腸の悪性新生物		計	3	()	-	()	3	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	1	()	-	()	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	2	()	-	()	2	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
C20 直腸の悪性新生物		計	2	()	-	()	-	()	-	()	2	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	2	()	-	()	-	()	-	()	2	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
C22 肝及び肝内胆管の悪性新 生物		計	2	()	-	()	2	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	1	()	-	()	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	1	()	-	()	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
C24 その他及び部位不明の胆 道の悪性新生物		計	5	()	-	()	4	()	-	()	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	2	()	-	()	2	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	3	()	-	()	2	()	-	()	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
C25 膝の悪性新生物		計	6	()	-	()	6	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	3	()	-	()	3	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	3	()	-	()	3	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
C32 喉頭の悪性新生物		計	1	()	-	()	-	()	-	()	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	1	()	-	()	-	()	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
C34 気管支及び肺の悪性新生物		計	9	()	-	()	-	()	-	()	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	5	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	4	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
C50 乳房の悪性新生物		計	3	()	-	()	2	()	-	()	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	3	()	-	()	2	()	-	()	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()

コード	I C D 分類	総数		内科		消化器		循環器		外科		脳外科		整形外科		婦人科		耳鼻科		眼科		精神科		歯科		呼吸器		泌尿器		呼吸器		皮膚科		小児科		心内		麻酔科	剖検率	
		死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検			
C60	陰茎の悪性新生物	計	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
C61	前立腺の悪性新生物	計	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
C65	腎盂の悪性新生物	計	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
C66	尿管の悪性新生物	計	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
C67	膀胱の悪性新生物	計	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
C78	呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物	計	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
D46	骨髄異形成症候群	計	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
III	(D50-D89)血液および造血器の疾患ならびに	計	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
IV	(E00-E90)内分泌、栄養および代謝疾患	計	5	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	4	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
E86	体液量減少(症)	計	5	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	4	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
V	(F00-F99)精神および行動の障害	計	3	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	2	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
F03	詳細不明の認知症	計	2	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	2	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
F05	せん妄、アルコールその他の精神作用物質によらないもの	計	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
VI	(G00-G99)神経系の疾患	計	5	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	3	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	2	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
G20	パーキンソン病	計	2	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		男	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()
		女	1	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()	-	()

[illegible]

コード	I C D分類	総数		内科		消化器		循環器		外科		脳外科		整形外科		婦人科		耳鼻科		眼科		精神科		歯科		呼吸器		泌尿器		呼吸器		皮膚科		小児科		心内		麻酔科		剖検率				
		死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検					
J15	細菌性肺炎,他に分類されないもの	計	2	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	2	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
		男	2	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	2	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
		女	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
J18	肺炎,病原体不詳	計	18	(-)	(-)	13	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	4	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
		男	10	(-)	(-)	6	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	3	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
		女	8	(-)	(-)	7	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
J44	その他の慢性閉塞性肺炎疾患	計	2	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
		男	2	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
		女	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
J69	固形物及び液体物による肺臓炎	計	14	(-)	(-)	7	(-)	2	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	4	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
		男	5	(-)	(-)	3	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	2	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
		女	9	(-)	(-)	4	(-)	2	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	2	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
J84	その他の間質性肺炎疾患	計	6	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	4	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
		男	3	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	3	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		女	3	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
J96	呼吸不全,他に分類されないもの	計	2	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
		男	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
		女	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
J99	他に分類される疾患における呼吸器障害	計	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
		男	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
		女	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
XI	(K00-K93)消化器系の疾患	計	8	(-)	(-)	7	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
		男	2	(-)	(-)	2	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
		女	6	(-)	(-)	5	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
K51	潰瘍性大腸炎	計	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
		男	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
		女	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
K55	腸の血行障害	計	1	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
		男	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
		女	1	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)								

コード	I C D分類	総数		内科		消化器		循環器		外科		脳外科		整形外科		婦人科		耳鼻科		眼科		精神科		歯科		呼吸器		泌尿器		呼吸器		皮膚科		小児科		心臓		麻酔科		剖検率					
		死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検								
XIII	(M00-M99)筋骨格系および結合組織の疾患	計	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)					
		男	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)					
		女	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)					
M35	その他の全身性結合組織疾患	計	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
		男	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
		女	4	(-)	(-)	(-)	1	2	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
N10	急性尿管間質性腎炎	計	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)				
		男	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
		女	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
N12	尿管間質性腎炎、急性又は慢性と明示されないもの	計	1	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
		男	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
		女	1	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
N18	慢性腎不全	計	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
		男	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
		女	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
N19	詳細不明の腎不全	計	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
		男	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		女	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
N39	尿路系のその他の障害	計	1	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
		男	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
		女	1	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
XV	(O00-O99)妊娠・分娩および産じょく(褥)	計	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)			
		男	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
		女	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	
XVI	(P00-P96)周産期に発生した病態	計	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
		男	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)																	

コード	I C D分類	総数		内科	消化器		外科	脳外科	整形外科	婦人科	耳鼻科	眼科	精神科	歯科	呼吸器	泌尿器	呼吸器	皮膚科	小児科	心内	麻酔科	剖検率
		死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	死亡	剖検	
R60	浮腫、他に分類されないもの	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		男	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		女	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
R63	食物及び水分摂取に関する症状及び徴候	計	2	(-)	(-)	2	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		男	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		女	2	(-)	(-)	2	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
R68	その他の全身症状及び徴候	計	1	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		男	1	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		女	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
XIX	(S00-T98)損傷、中毒およびその他の外因の影響	計	3	(-)	(-)	2	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		男	3	(-)	(-)	2	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		女	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
S06	頭蓋内損傷	計	1	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		男	1	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		女	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
S14	頸部の神経及び脊髄の損傷	計	1	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		男	1	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		女	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
T82	心臓及び血管のプロセス、挿入物及び移植片の合併症	計	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		男	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		女	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
XX	(V01-Y98)傷病および死亡の外因	計	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		男	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		女	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
XXI	(Z00-Z99)健康状態に影響をおよぼす要因	計	2	(-)	(-)	(-)	(-)	2	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		男	1	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		女	1	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
Z90	臓器の後天性欠損、他に分類されないもの	計	2	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		男	1	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		女	1	(-)	(-)	(-)	(-)	1	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
XXII	(U04-U89)特殊目的用コード	計	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		男	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
		女	-	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)

Ⅱ

介護事業の部

訪問看護ならびに介護事業は 2018 年の診療報酬と介護報酬の同時改定でスタート、2025 年に向けてより効率的効果的な提供体制を構築すべき年と位置づけられました。

内容は訪問看護については、新規利用者の減少と長期入院や施設入所が多かったことが響き低調に推移しました。一方介護事業では特にパストラルとよさについては入所はショートステイを強化した結果、稼働率アップになりました。また、介護職員の絶対的な不足はこれからも続く可能性があります。

また、通所事業所の減少については、利用者の空間及びサービス内容を変更するなど、改善策を講じているところです。併せて、今後は、利用者ニーズに応えることができるようリハビリ（機器使用を含めて）の充実を図ります。

経営理念

施設を通じて地域社会に密着し人間らしく
心豊かに暮らせるよう 仁愛の精神で奉仕し
生活文化向上に役立ち社会に貢献する

基本方針

- ・自立支援と家庭復帰をめざす。
- ・明るい家庭的雰囲気づくり。
- ・施設、地域、家庭の結びつき重視。
- ・親切、快適、安心、満足、可能性の追求。

行動規範

- ・誠心誠意のサービスの提供をしよう。
- ・柔軟発想で創造しよう。
- ・バイタリティーあふれる考動をしよう。
- ・頑強な心身をつくろう。

バストラールとよさと

経営理念

しあわせな老後をめざし普通の生活を活力
をつけてゆったり気分で仲間といっしょに
楽しむためにあたたかいもてなしの心で提
供し、地域社会に貢献する。

彦根市デイサービスセンター **きらら**
彦根市在宅介護支援センター
甲良町デイサービスセンター **けやき**

彦根市グループホーム **ゆゆう**
甲良町グループホーム **らくらく**

1 介護事業・各事業所業績

1 各種教室・講師派遣

I 訪問看護レインボウ

イ <レインボウとよさと>

(講師派遣、その他)

豊郷町地域リーダー会議 (森) 甲良町認知症ケアパス会議 (谷川)

介護職員初任者研修講師 (谷川)

滋賀県難病対策推進協議会 (谷川)

オレンジファイブ (右近)

ロ <レインボウはたしょう>

(講師派遣、その他)

愛荘町地域ケア会議 (西川) 地域リーダー会議「チームたが」(西川)

愛荘町医歯薬連携会議 (西川) 愛荘町高齢者虐待対応会議 (小中)

ハ <レインボウひこね>

(講師派遣、その他)

・自殺未遂ネットワーク会議 (山田)

・心のケア研究会発表 (山崎、和氣)

・彦根市地域ケア会議 (山田)

・訪問看護認定看護師教育課程修了 (山田)

II 介護事業部

イ <彦根市地域包括支援センター きらら>

金亀体操関連講座実施…講師派遣

日程	学区	会場	団体名	定例実施曜日 (※)	介護予防運動指導員の有無 (※) (有の場合、名前を記入)	講座種別	参加人数
5月18日	若葉	日夏Ⅳ期自治会館	なごみ会参加者	未定	無	出前講座	47人
7月7日	河瀬	堀町公民館	堀町老人会	未定	無	出前講座	20人
11月15日	城陽	日夏町島公民館	日夏町島老人会	未定	無	出前講座	30人
11月29日	城陽	日夏町島公民館	日夏町島老人会	未定	無	体操講座1	18人
12月6日	城陽	日夏町島公民館	島福寿会	第2第4木曜日	無	体操講座2	20人

出前講座	3回	97人
体操講座	2回	38人
フォローアップ講座	0回	0人
計	5回	135人

ほっとかない 認知症講座実施…講師派遣

日時	小学校区	会場	団体名	参加人数	脳の健康チェック実施者数	12点以下の人数	フォロー対象者内容
平成30年 6月17日 13:00~14:30	河瀬	出町公民会	出町老人会	15名	7名	0名	
平成30年 8月9日(木) 10:30~11:30	城陽	日夏公民館	ひだまりの会	15名	12名	4名	1) 4名 2) 0名
平成30年 12月3日(月) 10:00~13:00	河瀬	葛籠町公民館	葛籠町福寿会	40名	33名	5名	1) 5名 2) 0名
出前講座回数		3回		出前講座参加人数		70	

1) 12点以下でフォローが必要な人の人数

2) 13点以上でフォローが必要な人の人数

ロ〈甲良町デイサービスセンターけやき・グループホームらくらく〉

◎介護予防普及啓発事業

- ・シンポジウム「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」

1. 認知症の人の今を知る

2. 成田先生に聞いてみよう (2018年11月17日63名参加)

◎認知症サポーター養成講座

- ・認知症啓発事業

2018.7～2019.3 (全10回10字訪問) 2名派遣

8/30 フォローアップ研修：2名派遣

2/6 中学校：5名派遣

◎家族介護支援事業

- ・介護者のつどい「笑福の会」毎月第2木曜日開催(毎月平均5名の参加)

◎認知症カフェ事業

- ・認知症カフェ「よって亭」毎月第3火曜日開催(毎月平均20名利用)

11月から3月の期間は地域に出向き出張カフェの開催

2. 研修受入状況

イ パストラールとよさと

学生受入 延 177人

学校 滋賀県立大学、聖泉大学、京都文教短期大学、専門学校他

ロ デイサービスきらら

学生受入 延 13人

学校 彦根総合高校、京都女子大学、京都橘大学
河瀬中学、豊郷病院准看護学院、滋賀大学

ハ 地域包括支援センターきらら

学生受入 延 2人

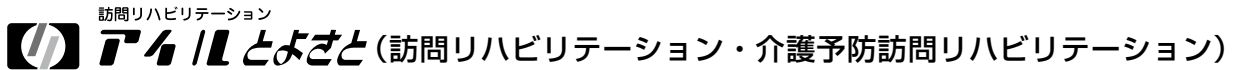
学校 聖泉大学

ニ グループホームゆうゆう

学生受入 延 4人

学校 豊郷病院准看護学院

2 介護事業・各事業所別事業報告



概要

開設日	平成 13 年 5 月 1 日
責任者	吉田 環
定 員 (サービス提供量)	理学療法士 1 名当たり 12 回 / 日
職 員	理学療法士 3 名 (山田知美 小椋法子 木村香奈子)

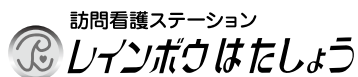
事業経過

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
訪問回数(回)	412	454	522	496	504	426	480	462	386	362	338	368
利用者数(人)	38	40	44	46	43	42	39	40	37	35	35	36
新規者数(人)	0	3	2	0	2	0	1	3	0	1	1	1
終了者数(人)	2	0	0	3	2	2	2	1	3	3	1	1

要介護度	要支援 1.2	9	年齢	40 歳代	0	地域	彦根市	37	疾患	脳血管	23
	要介護 1	14		50 歳代	3		豊郷町	7		整形	25
	要介護 2	16		60 歳代	3		甲良町	5		特定疾患	3
	要介護 3	11		70 歳代	18		多賀町	0		呼吸器	3
	要介護 4	6		80 歳代	28		愛荘町	9		内科	1
	要介護 5	2		90 歳代	6		圏域外	0		廃用	3

利用状況

- ・延べ利用者数は 475 名、延べ訪問回数は 5210 回。
- ・1 か月平均で利用者数は約 40.75 名、訪問回数は約 434 回と昨年より減少。
- ・新規利用は 1 年間で 15 名、短期集中加算対象者は 12 名と昨年に比べ減少。
- ・要介護度では、要介護 1・2 が 5.2 割、要介護 3～5 が 3.3 割、要支援は 1.5 割となった。要介護 3～5 の割合が減少し、要介護 1・2 の割合が増加した。
- ・年齢別では 80 歳代が多く、利用の約 5 割。
- ・地域別では前年同様に彦根市の利用が最も多い。
- ・疾患別では整形外科疾患が最も多く、次いで脳血管疾患。それぞれ、全体の約 4 割を占める。



(訪問介護・介護予防訪問看護・居宅療養管理指導・介護予防居宅療養管理指導)

概要

レインボウとよさと

所長・統括所長兼務 谷川 明実

看護師 常勤6人 非常勤2人 OT1人常勤(3ステーション兼務) 事務員1人

レインボウはたしょう・たが

所長・西川 くるみ

看護師 常勤4人 非常勤2人 OT1人 非常勤(3ステーション兼務) 事務員1人(パート)

レインボウひこね

所長 山田 里美

看護師 常勤5人 非常勤2人 PT1人 常勤(3ステーション兼務) 事務員1人

事業経過

訪問看護ステーション レインボウとよさと、レインボウはたしょう、(出張所たが)、レインボウひこね

平成30年度事業報告

平成30年度はレインボウ全体の収益が前年度より-37%、一日平均利用者は-5%となりました。

とよさと、はたしょうの新規利用者の減少や利用回数の多い利用者が数名長期入院や入所となったことも大きなダメージでした。大規模化を目指しはたしょうと、とよさとの統合についても検討してきましたが現段階では保留となりました。出張所たがについては3月31日をもって廃止となりました。

(レインボウとよさと) 30年度は月平均利用者は104名で前年度より13名減少、年間収益は-110%の減収となりました。とよさとは平均単価が低く回数の割には収入に直結していませんが、予防の段階から介入の依頼、独居や認知症夫婦への介入依頼が多くありますので地域のケアマネージャーや多職種との関係を大事にしています。今年度は死亡終了者の50%が在宅での死亡となりました。認知症グループホーム3か所(4ユニット)B型就労支援作業所にも医療連携契約で訪問しています。

(レインボウはたしょう、出張所たが) 月平均1件ある在宅看取りにはグリーンケアを充実させる取り組みができスタッフのモチベーションの向上につながっています。今後どのように新規獲得していくかが大切となってきます。地域とのつながりを密にしながら地域に必要とされるステーションとなるように地域住民や関係機関と連携を強化していきます。

(レインボウひこね) 今年度は月平均利用者が144名と4名増加、収益も前年度比7.2%増収となりました。管内での精神疾患事例検討会では、看護師とセラピストによる事例提供を行いPRにつとめ、職員全員が地域包括システムにおける訪問看護ステーションの役割を認識した活動ができています。また研修において地域診断を実施し地域課題を明確にでき、今後課題解決に尽力したいと考えます。

事業所別利用者前年比較表

		平成29年度	平成30年度	増加率	備考
とよさと	新規利用者	69	49	▼30%	グループホーム3カ所 定期訪問。就労継続支援 B型作業所訪問
	延べ人数	1,395	1,238	▼28%	
	訪問延べ回数	6,732	6,112	▼10%	
はたしょう	新規利用者	67	55	▼18%	グループホーム1カ所 定期訪問
	延べ人数	1,204	1,140	▼16%	
	訪問延べ回数	6,457	5,113	▼21%	
ひこね	新規利用者	59	37	▼38%	グループホーム1カ所 定期訪問
	延べ人数	1,684	1,730	2%	
	訪問延べ回数	6,946	6,755	▼3%	

職員研修

＜レインボウとよさと＞

奇数月	ことう地域チームケア研究会	毎月	こころのチームケア研究会
5月	「訪問看護見える化研修会」		
7月	「訪問看護見える化研修」		
8月	「看護実践力育成の工夫」		
9月	「生活支援における高次脳機能障害のとらえ方と対応」		
11月	「心不全の緩和ケア」		
12月	「在宅におけるターミナルケア」		
1月	「認知症にかかる医療と介護の滋賀県大会」		
2月	「老化と認知症～それって本当に認知症？」		
3月	「代表的な神経難病の基本的な知識の理解」		

＜レインボウはたしょう＞

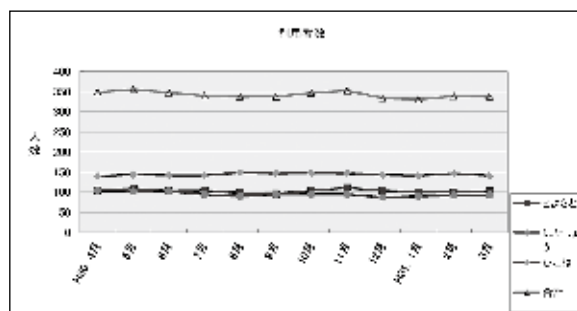
奇数月	ことうチームケア研究会
6月～9月	訪問看護eラーニング
4月	「精神科訪問看護基本療育費算定要件研修」
5月	「ストマケア」
6月	「ストレスケアについて」
7月	「排泄ケア研修会」「事務業務について」
9月	「リスクマネジメント研修」
10月	「口腔ケア研修会」「多系統萎縮症のケアについて」
11月	「在宅医療セミナー」「退院支援」「心不全研修」
12月	「スキンケアについて」「滋賀県看護学会」
1月	「要介護度改善研修」
2月	「ハラスメント研修」「フットケアについて」
3月	「見える化研修」

＜レインボウひこね＞

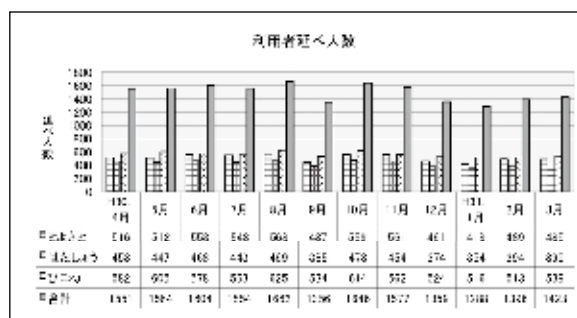
奇数月	ことう地域チームケア研究会
毎月	こころのケアチーム研究会
5月	「看護の見える化研修」「臨床宗教師～寄り添う日々」
6月	「看護におけるリスクマネジメント」
8月	「タクティールケア」
9月	「最新の糖尿病治療と看護」「実践知を涵養する経営能力取得向上セミナー」
10月	「看護倫理研修会」「口腔機能を学ぼう研修会」
12月	「これからのリハビリテーション」「心不全治療と緩和ケアを学ぶ」
2月	「アサーション」「意思決定支援について学ぼう」
3月	「心のSOS発信をキャッチする」

経過・実績報告(グラフによる)

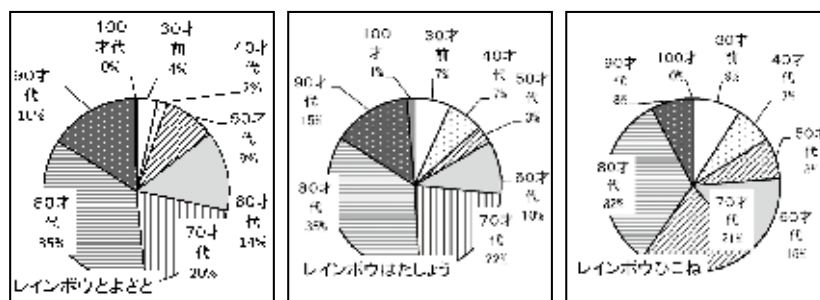
1) 利用者数



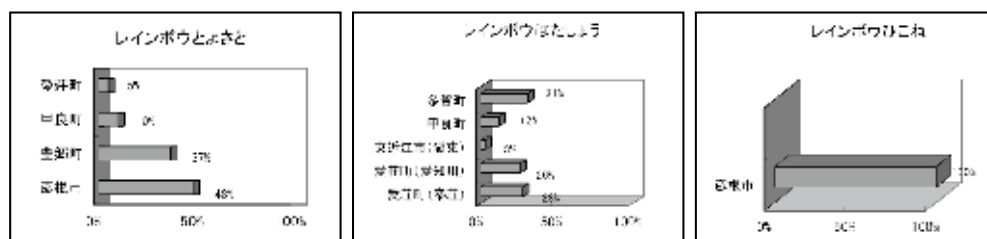
2) 利用者延べ人数



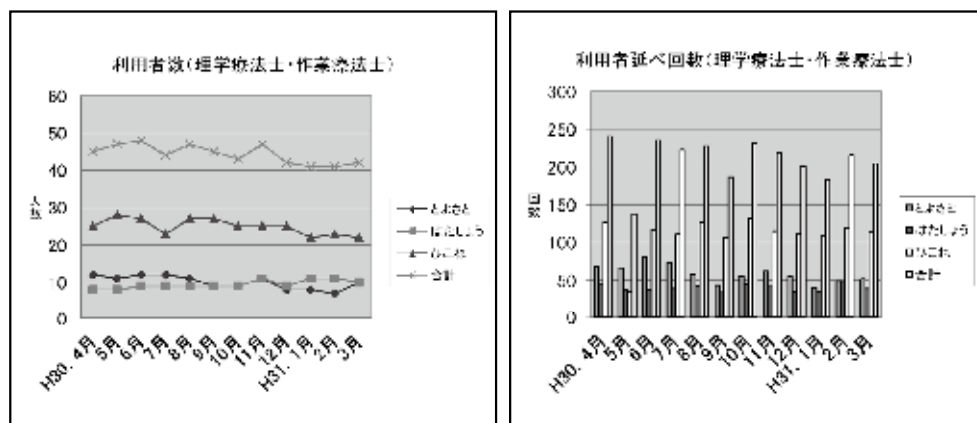
3) 年齢別構成



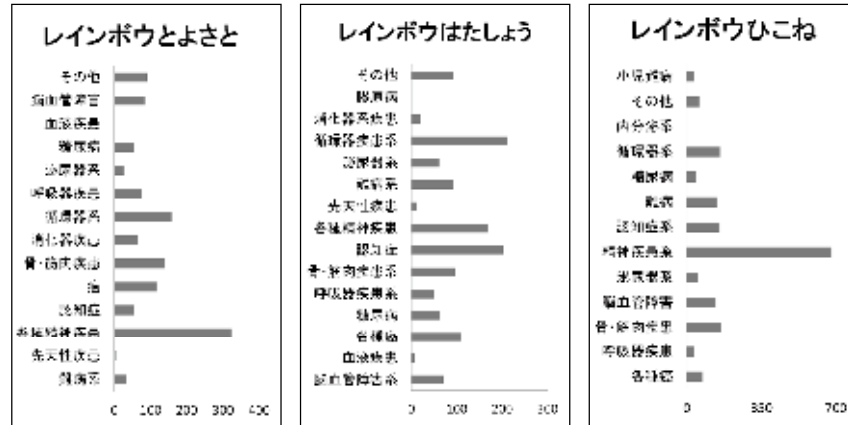
4) 地域別利用者



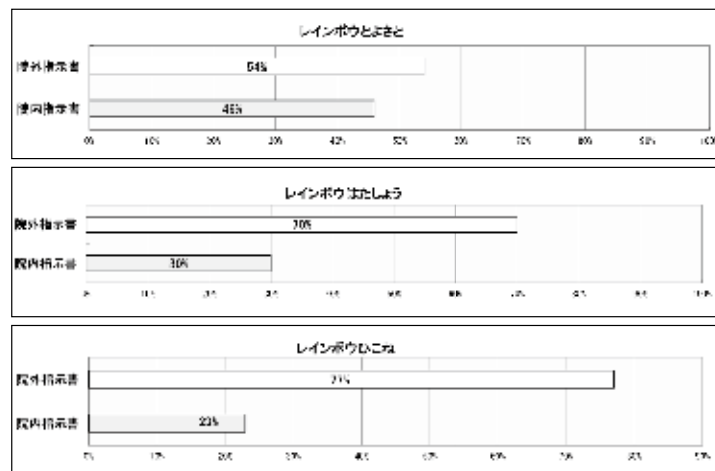
5) 理学療法士・作業療法士による訪問利用者数、延べ回数



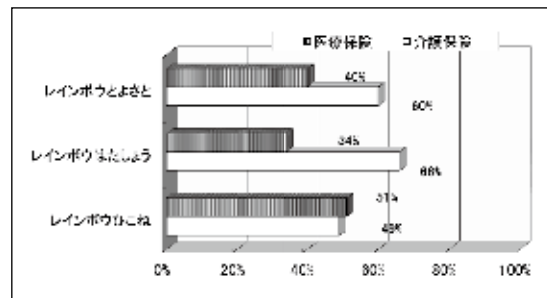
6) 疾患別利用者数



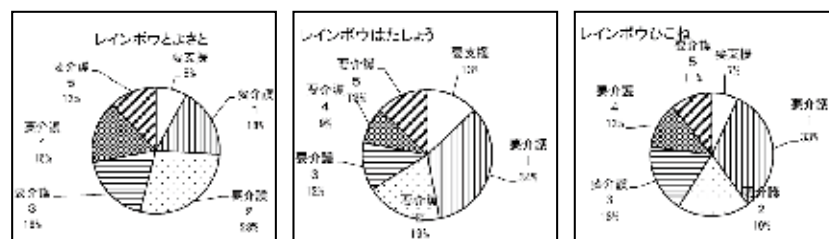
7) 指示書・院内・院外構成比



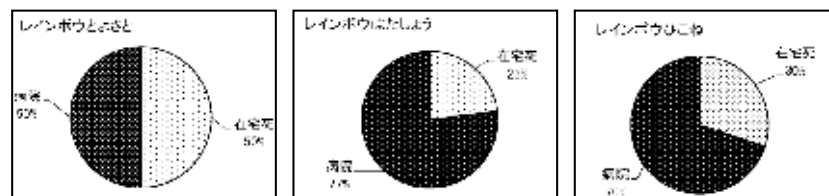
8) 介護保険と医療保険の割合

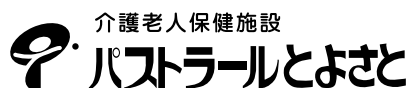


9) 要介護度別利用者数



10) 在宅死の割合





(施設入所・短期入所療養介護・介護予防短期入所療養介護・通所リハビリテーション・介護予防通所リハビリテーション)

概 要

平成 8 年 (1996) 6 月開設	R C	3 階建
敷地面積 6,012.00 m ²	1 F	管理棟／通所リハ棟
建築面積 1,795.22 m ²	2 F	一般棟 (竹生・沖)
延床面積 4,376.38 m ²	3 F	専門棟 (比良・伊吹・鈴鹿)
	屋上	機械棟
定 員	入所 100 人	一般棟 55 人 (竹生・沖の 2 グループ)
		専門棟 45 人 (比良・伊吹・鈴鹿のさとの 15 人×3 ユニット)
		(内短期入所療養介護 4 人)
	通所リハビリテーション 一日	20 人
職 員	施設長 桐山 畜夫	事務長 菅原幸一 師長 井上尚子
	看護師 11 人	介護職 46 人 支援相談員 2 人
	介護支援専門員 1 人	P T, O T, 5 人 管理栄養士 1 人
	事務 4 人	その他職員 4 人 合計 74 人

事業経過

2018 (平成 30) 年度は、入所者の高齢化に伴い、静養室を整備しました。静養と共に、ご家族と共に過ごしていただけるスペースを確保しました。

また、施設自体は経年劣化が激しいので、計画的に設備の更新を行っています。

利用状況

平 25 年 4 月以降の利用状況は次のとおり

1. 利用者数 (年度別)

入 所 者	H26	H27	H28	H29	H30
一日平均入所者数 (SS 含)	87	87.5	84	86.85	89.8
うち一般棟	49	47	47	46	48
うち専門棟	37	38	37	39	40
平均年齢	84.1	84.3	85.1	85.7	86.4
男女比 (男性%)	19%	15%	15%	18.7%	16%
平均入所期間 (日)	263 日	231 日	240 日	247 日	297 日

2. 要介護度別にみた利用状況

平均介護度	H26	H27	H28	H29	H30
入 所	3.40	3.40	3.40	3.15	3.25
通 所	2.44	2.44	2.59	2.59	2.61

3. 市町別利用者の割合（年度別）

入所（ショート含） / 通所

	H26		H27		H28		H29		H30	
	入所	通所	入所	通所	入所	通所	入所	通所	入所	通所
彦 根 市	26%	31%	29%	32%	29%	28%	30%	26%	25%	13%
豊 郷 町	19%	23%	15%	20%	12%	19%	9%	24%	13%	7%
甲 良 町	16%	13%	17%	18%	20%	19%	20%	18%	18%	10%
多 賀 町	9%	3%	9%	5%	11%	10%	12%	11%	11%	4%
愛 荘 町	20%	30%	30%	15%	12%	22%	11%	21%	17%	8%
東 近 江 市	8%	0%	10%	0%	13%	0%	15%	0%	8%	0%
（旧）一市七町外	2%	0%	4%	0%	3%	2%	3%	0%	3%	0%

入所者（含ショートステイ）利用状況

平成 30 年度

パストラルとよさと

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月間平均												
稼働率	本年	89.9	89.4	91.2	91.2	90.7	88.2	85.4	88.4	90.4	91.4	88.5	92.6	89.8	定床100											
	前年	84.4	84.5	84.9	87.8	90.8	87.0	81.9	84.5	87.0	89.0	92.3	88.2	86.9												
月末在所者数	一般棟	47	45	48	47	50	44	44	47	52	48	50	48	48	定床55											
	専門棟	41	41	42	41	35	40	35	39	42	36	42	43	40	定床45											
	男	15	15	12	14	14	13	10	14	14	16	16	15	14	16.0%											
	女	73	71	78	74	71	71	69	72	80	68	76	76	73	84.0%											
	計	88	86	90	88	85	84	79	86	94	84	92	91	87												
	内SS	6	2	4	2	3	1	2	1	5	2	2	4	3	3.2%											
入所延数		2,529	2,566	2,550	2,699	2,660	2,504	2,483	2,508	2,607	2,662	2,330	2,713	退所日は含まず												
短期入所延数		168	205	185	128	151	142	165	145	194	172	147	157													
予防短期延数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0													
平均介護度		3.07	3.05	3.07	3.16	3.20	3.33	3.30	3.33	3.37	3.38	3.34	3.43	3.25												
在所日数	3ヶ月未満	29	37	37	36	35	26	35	41	34	33	37	29	34	42%											
	3～12ヶ月	27	20	23	25	20	31	19	20	26	26	28	19	24	29%											
	12ヶ月以上	22	23	25	24	23	24	21	20	22	20	20	36	23	29%											
	平均(日)	282	271	298	303	320	316	314	283	305	292	275	261	293												
年齢別	70歳未満	4	2	2	3	2	2	2	2	1	1	3	3	2	2%											
	70～79歳	15	13	13	10	11	12	14	15	15	15	15	16	14	14%											
	80～89歳	45	45	47	47	40	41	44	43	44	45	42	43	44	46%											
	90歳以上	33	34	36	38	36	36	38	32	34	37	36	36	36	37%											
	平均	85.8	86.2	86.7	86.7	86.3	87.0	85.8	86.5	86.6	86.5	85.9	86.5	86.4												
地域別	彦根市	28	29	29	27	23	25	27	21	22	22	20	22	25	26%											
	豊郷町	12	11	12	11	10	13	13	10	14	15	15	16	13	13%											
	甲良町	15	16	19	20	16	16	19	20	21	20	19	20	18	19%											
	多賀町	9	9	8	11	13	12	13	13	11	12	11	11	11	12%											
	愛荘町	16	15	18	19	16	16	17	13	14	16	20	20	17	18%											
	東近江市	14	11	10	10	9	7	7	10	10	11	8	8	10	10%											
	その他	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2%											
入退所先		入所	退所	入所	退所	入所	退所	入所	退所	入所	退所	入所	退所	入所	退所	入所	退所	入所	退所	入所	退所	入所	退所	入所	退所	
	家庭	7	10	10	7	13	4	13	8	5	1	7	5	5	11	8	5	9	1	8	5	5	5	4	7	
	社会福祉施設		3		2		5		4		4		2		4		1		1		6	1	2		3	
	病院(一般)	1	1	1		1	1	1	2	1	2	1	1	3		1	1				1		4			
	豊郷病院	6	4	4	3	9	1	3	4	6	7	4	3	13	9	9	3	4	6	5	7	19	10	7	5	
	老人保健施設	2		1				1			2				1	1										
	その他		2		2		3							1	2		1	1	2		2	1	2	1	1	
計		16	20	16	14	23	14	18	18	12	16	12	11	22	27	19	11	14	10	13	20	27	19	16	16	

デイケア・介護予防デイケア利用状況

平成 30 年度

パストラルとよさと

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	月間平均	
稼働日数		20	21	21	21	23	18	21	21	19	18	19	20	20	
一日平均		15.5	14.2	13.4	12.6	11.3	13.2	13.4	13.6	13.6	13.8	12.9	13.2	13.4	定員 20
＂（前年度）		14.5	15.4	14.9	14.3	14.6	15.6	14.8	14.5	15.8	14.3	14.2	15.7	14.9	
月平均稼働率(%)		77.5	71.0	66.9	62.9	56.7	65.8	66.9	67.9	67.9	69.2	64.7	66.0	66.9	%
利用実人数	デイケア	46	45	43	40	35	38	37	39	38	38	39	40	40	93%
	予防デイケア	3	3	3	2	3	3	3	4	4	3	4	1	3	7%
	男	22	22	23	21	16	18	18	20	19	17	16	16	19	44%
	女	27	26	23	21	22	23	22	23	23	24	27	25	24	56%
	合 計	49	48	46	42	38	41	40	43	42	41	43	41	43	
利用延人数	介護	300	285	271	255	250	223	263	267	241	235	229	261	257	95%
	予防	10	13	10	9	11	14	18	18	17	14	17	3	13	5%
	利用総合計	310	298	281	264	261	237	281	285	258	249	246	264	270	
平均介護度		2.65	2.66	2.63	2.58	2.46	2.50	2.42	2.59	2.66	2.71	2.65	2.80	2.61	
平均年齢		83.0	83.9	83.7	83.8	83.9	83.5	83.0	83.0	83.0	84.4	83.4	82.9	83.5	
短期集中個別リハ 実人数		4	5	4	2	4	4	5	8	5	4	6	7	5	
＂ 延回数		20	27	16	14	11	23	30	40	29	31	28	46	26	
認知症短期集中(延)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
重度療養管理加算(延)		4	5	4	4	5	4	5	4	4	4	4	4	4.3	
入浴加算(延)		99	96	80	75	77	58	77	74	65	64	54	70	74.1	
栄養スクリーニング加算		0	46	0	0	0	0	0	43	0	0	0	0	7	
栄養改善加算(延)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
口腔機能向上加算(延)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
提供体制加算 4		291	279	270	252	247	215	261	264	238	233	227	246	252	
＂ 3・2・1		2	6	1	3	2	8	2	2	3	2	2	1	3	
曜日別	月	15.8	13.8	13.5	12.8	11.3	12.5	10.3	11.5	10.3	12.3	10.8	10.8	12.1	60.7%
	火	15.3	14.4	13.0	12.2	11.0	11.5	13.0	13.8	13.3	12.5	12.8	10.8	12.8	64.0%
	水	14.0	14.4	14.0	13.0	11.2	14.0	13.2	14.0	14.8	15.0	14.5	16.3	14.0	70.2%
	木	14.5	13.3	12.8	13.3	10.8	14.8	13.0	14.4	14.5	11.8	12.5	12.7	13.2	66.0%
	金	16.3	15.3	13.6	11.8	12.4	12.8	14.3	14.0	14.3	13.8	13.8	15.2	14.0	69.8%
地域別	彦根市	14	14	14	11	10	13	13	14	13	13	14	13	13	30%
	豊郷町	12	11	10	9	6	5	5	6	6	6	6	6	7	17%
	甲良町	9	10	10	9	10	10	10	12	12	11	10	10	10	24%
	多賀町	5	5	5	4	3	5	4	3	3	3	3	4	4	9%
	愛荘町	9	8	7	9	9	8	8	8	8	8	10	8	8	19%
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%

職員研修

【内部研修】

開催 年 月 日	研修会名	参加人員	研修内容
H30 5.9	接遇研修	33 人	基本的なマナーについて学ぶ
7.18	認知症の方の家族の思い ～グリーフ（悲嘆）を考える～	16 人	グリーフケアについて学ぶ
7.18	統一しよう トロミの濃度	16 人	利用者に合ったトロミの濃度を学ぶ
10.17	認知症の疾患 認知機能の障害について	18 人	認知症についての問題を出題し答え合わせを行う 認知症ケアについてグループワークを行う
11.14	ノロウイルスについて	31 人	感染管理認定看護師の竹内師長よりノロウイルスの 基礎知識、予防策等を講義していただく
H31 3.20	火災時の対応について	24 人	火災時の対応についてグループワークを行う
3.20	外部研修報告会	24 人	外部研修の伝達講習を行う

【外部研修】

開催 年 月 日	研修会名	参加人員	研修内容
H30 5.12	日本感染管理ベストプラクティス “saizen” 研修会第 13 回セミナー	1 人	具体的な事例を通しての講義から感染対応の考え方や工夫を学ぶ
6.20	豊郷認知症セミナー 2018	10 人	フレイルと認知症について学ぶ
6.30	平成 30 年度認知症介護基礎研修	2 人	認知症ケアの基本を身につけ、“認知症の世界に生きる方” へのケア方法を学ぶ
7.2	平成 30 年度介護報酬改定に 関する伝達研修	1 人	介護報酬改定に伴う加算要件や書式について学ぶ
7.7	日本静脈栄養学会近畿支部 学術集会	1 人	
7.7	第 18 回滋賀創傷セミナー	1 人	創傷治癒について学ぶ
7.10 ～ 11.19	滋賀県認知症介護実践 リーダー研修	1 人	認知症介護にかかる知識を深め、施設・事業所において ケアチームを効果的・効率的に機能される能力を有した リーダーを育成する
7.19	平成 30 年度認知症介護基礎研修	1 人	認知症ケアの基本を身につけ、“認知症の世界に生きる方” へのケア方法を学ぶ
7.21	滋賀県介護老人保健施設協会 合同研究発表会	3 人	
7.27、28	第 49 回平成 30 年度日本看護学会 学術集会 在宅看護	1 人	
8.24	平成 30 年度県老健看護部会 主催研修会	3 人	看取りを行うにあたっての心構え、他職種との連携、介護 者の不安を知り、理解できる
8.26	急変を見抜くフィジカルアセスメント	1 人	臨床・現場でも役立つようなフィジカルアセスメントを学ぶ
9.6	平成 30 年度滋賀県認知症研修会 “認知症のケアに必要な視点”	1 人	認知症を疾患として理解したうえで、根拠に基づいたケア を実践する
9.20	平成 30 年度介護職員の看取り 介護技術向上研修	1 人	事例発表と施設看取りの基本と応用というテーマでの講演
9.27	平成 30 年度第 2 回看護職員 感染対策研修会	1 人	生活の場における感染対策の在り方を学ぶ
11.1	部下育成とリーダーシップの発揮	2 人	怒りとうまく付き合う方法を身につけ、部下を育てるヒント を取得
11.7	滋賀県介護老人保健施設協会 階層別研修会（Ⅱ）	2 人	認知症認定看護師による認知症利用者への係わり方の講 習、職種ごとでグループワークを行う
11.26	口を開けない認知症の方の 支援アプローチ	2 人	再び食べられるための口の捉え方・口腔ケアの技術につい て学ぶ
11.27	介護サービス事業者等 感染管理リスクマネジメント研修会	1 人	施設での感染対策について学ぶ
11.30	第 19 回近畿ブロック介護老人保健 施設大阪大会	2 人	“医療と介護をつなぐ” をテーマに地域包括ケアにおける 老健の役割を知る
H31 1.25	平成 30 年度介護老人保健施設 職種別研修会（Ⅱ）	1 人	接遇について学ぶ

居宅介護支援センター

MAX マックスとよさと

居宅介護支援センター

MAX マックスひこね (居宅介護支援)**概 要**

ケアプラン作成・給付管理業務・介護相談や代行手続き業務・施設紹介
関係機関との連絡調整・家庭訪問・認定調査受託（介護保険認定調査）等

定 員 39人／介護支援専門員 1人

職 員 マックスとよさと〈2018.9～2019.3 休止〉

管理者・所長 谷口 節子（常勤）

担当 2人

マックスひこね

管理者・所長 西野 祐生（常勤）

担当 4人

事業経過

職員の異動・退職に伴い、マックスとよさととは2018/8末で事業を一時休止しましたが、マックスひこねは職員4名体制を1年間継続しています。2018/4に第7期介護保険事業計画で挙げられた、医療・介護連携の推進・地域共生社会の実現を、より意識して業務に努めました。特に医療・福祉の連携においては、地域の病院への利用者情報の提供や共有、照会を通じ、在宅看取りケアに携わる機会も増えてきており、今後もますますニーズが拡大していくことが予想されるため、それに対応したスキルアップも望まれます。2018年度では前年度に引き続き、入退院連携の研修をはじめ、ケアマネジャーの専門性を高める各種研修会への積極的参加、1回/月のペースでマックスとよさと・ひこね合同の事例検討会・勉強会を実施しました。また、他法人の事業所を交えての事例検討会を3回実施しました。

年間実績（平成30年4月～平成31年3月）

	新規	終了	給付数
マックスとよさと	0人	78人	252人
マックスひこね	62人	30人	1,172人

職員研修

※毎月 彦根市地域ケア会議 ・ 地域包括すばる事例検討会

- 〈 5月〉「彦根市介護支援専門員等連絡会 ～第7期彦根市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について～」
- 〈 5月〉「介護保険と障害福祉のケーススタディミーティング」
- 〈 6月〉「自立支援にむけたリハビリ職との連携」
- 〈 6月〉「豊郷認知症セミナー ～フレイルと認知症～」
- 〈 6月〉「退院支援を考える合同会議」
- 〈 7月〉「滋賀県介護支援専門員連絡協議会 管理者研修会 ～実地指導からみる管理業務のあり方～」
- 〈 7月〉「ことう地域ケア研究会 ～終末期をどう過ごし どう支え合うか～」
- 〈 8月〉「高次脳機能障害の基礎理解」
- 〈 9月〉「第2回 彦根・愛知・犬上介護保険事業者協議会合同研修会
～介護事業所における法令遵守・虐待・身体拘束について～」
- 〈 9月〉「体圧測定マットを使った床擦れリスクの考察」
- 〈 9月〉「介護職員の看取り介護技術向上研修」
- 〈 9月〉「地域ケア会議推進研修会 ～伝える、ケアプランの書き表し方～」
- 〈10月〉「認知症の早期発見・早期対応のための取り組みへの協力依頼」
- 〈10月〉「地域同行型実地研修」
- 〈11月〉「第3回 彦根・愛知・犬上介護保険事業者協議会合同研修会 ～冬の感染症について～」
- 〈11月〉「彦根市地域ケア会議推進事業研修会 ～みんな満足！やってよかったサービス担当者会議～」
- 〈11月〉「ことう地域ケア研究会 ～これからのリハ～」
- 〈12月〉「彦根・愛知・犬上介護支援専門員連絡協議会研修会 ～コミュニケーションの困りごとについて～」
- 〈12月〉「訪問看護・ケアマネ・包括・病院相談部門の意見交換会 ～のりしろプロジェクト～」
- 〈 1月〉「自立支援と重度化防止に資する質の高いサービス提供とは」
- 〈 1月〉「ことう地域ケア研究会 ～口腔ケア～」
- 〈 1月〉「退院支援合同会議」
- 〈 1月〉「ファシリテーションスキルを活用して」
- 〈 2月〉「第4回 彦根・愛知・犬上介護保険事業者協議会合同研修会 ～老化と認知症～」
- 〈 2月〉「主任介護支援専門員フォローアップ研修 ～野中式事例検討会の進め方～」
- 〈 2月〉「お口の健康を守るために口腔内の観察力アップを目指して」
- 〈 2月〉「高齢障害者に対する支援の現状と今後を考えるフォーラム」
- 〈 2月〉「介護サービス事業所・施設管理者等研修会 ～身近な人権問題を考える～」
- 〈 3月〉「同職種交流会 ～確定したケアプランの交付に関する実態調査について～」
- 〈 3月〉「難病支援従事者研修会」

④ 彦根市デイサービスセンター **きらら** (通所介護・介護予防通所介護・通所型 A 型)

④ 彦根市デイサービスセンター **り・はっぴ** (通所介護・介護予防通所介護)

概 要

所在地	彦根市川瀬馬場町 1015 - 1	サービス地域	彦根市 (全域)
建物・構造	鉄骨平屋建		豊郷町・甲良町 (一部)
敷 地	3,100 m ²	定 員	1 日 40 名 (介護予防も含む)
実施時間	月曜日～土曜日	職員配置	センター長 高田 奈緒
	きらら：午前 9：50～午後 15：55		介護職員 15 人
	きらら A 型：午後 12:50～午後 15:55		看護師 3 人
	り・はっぴ：午後 12:50～午後 15:55		相談員 3 人
	(休日：日曜日、年末年始 12/29～1/3)		運転手 2 人

事業経過

利用者数は月平均 786 名、1 日平均 31 名、平均稼働率 77%という実績でした。上半期においては人員不足もあり受け入れを制限したこと、猛暑による入院や入所もあり、稼働率増加に繋がりませんでした。下半期は無料体験の実施や毎月の稼働状況に合わせた受け入れ人数調整をこまめに行い、積極的に受け入れを行い利用者数の増加に繋がりました。

しかし、現状は体調不良や入院、入所が多いことで年間を通して利用者数の安定確保が出来なかったと考えられます。加算については、中重度利用者（要介護 3 以上）の方が全体の 4 割以上、認知症高齢者自立度（Ⅲ以上）の方が全体の 3 割弱の方が利用され中重度ケア加算、認知症加算については維持出来ています。

尚、り・はっぴについては人員不足もあり、7 月より休止。利用されていた方は通常デイ（きらら）に変更して利用されています。

利用実績（きらら）

	開所 日数	各月末登録者数							
		介護度による区分							
		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4月	25	1	6	18	25	15	12	6	83
5月	27	0	7	21	22	15	12	6	83
6月	26	1	6	21	25	17	12	3	85
7月	26	1	6	19	23	16	9	4	78
8月	27	1	6	23	20	17	10	3	80
9月	25	1	6	22	24	17	9	3	82
10月	27	2	5	20	25	19	9	3	83
11月	26	2	5	20	25	19	10	3	84
12月	26	2	4	23	27	18	10	3	87
1月	24	2	4	23	27	18	11	3	88
2月	24	4	4	24	23	22	10	2	89
3月	26	3	3	22	23	21	9	2	83
計	309	20	62	256	289	214	123	41	1,005

	1日 あたりの 利用者数	利用者数 (延べ人数)							
		介護度による区分							
		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4月	30	4	41	149	264	166	97	36	757
5月	31	0	55	181	277	189	97	32	831
6月	30	4	47	164	255	176	103	25	774
7月	29	4	47	170	250	162	85	35	753
8月	29	4	51	204	238	168	84	31	780
9月	29	4	43	176	240	169	72	28	732
10月	30	9	45	187	274	194	73	28	810
11月	31	8	40	178	277	176	102	30	811
12月	28	7	32	172	243	141	96	28	719
1月	31	8	32	185	239	151	98	28	741
2月	32	12	34	192	211	204	91	21	765
3月	31	11	25	198	256	199	94	24	807
計	30.08	75	492	2,156	3,024	2,095	1,092	346	9,280

利用実績（リ・はっぴ）

	開所 日数	各月末登録者数							
		介護度による区分							
		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4月	25	1	1	1	2	1	0	0	6
5月	27	1	1	1	2	1	0	0	6
6月	26	1	0	1	2	1	0	0	5
7月	26	1	0	1	1	1	0	0	4
計	104	4	2	4	7	4	0	0	21

	1日 あたりの 利用者数	利用者数（延べ人数）							
		介護度による区分							
		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4月	1	1	6	8	12	4	0	0	31
5月	1	5	1	5	11	5	0	0	27
6月	1	4	0	8	9	4	0	0	25
7月	1	4	0	8	5	4	0	0	21
計	1	14	7	29	37	17	0	0	104

＊ 8月～リ・はっぴ休止

利用実績（A型）

	開所 日数	各月末登録者数							
		介護度による区分							
		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4月	25	1	0	0	0	0	0	0	1
5月	27	1	0	0	0	0	0	0	1
6月	26	1	0	0	0	0	0	0	1
7月	26	1	0	0	0	0	0	0	1
8月	27	1	0	0	0	0	0	0	1
9月	25	1	0	0	0	0	0	0	1
10月	27	1	0	0	0	0	0	0	1
11月	26	1	0	0	0	0	0	0	1
12月	26	1	0	0	0	0	0	0	1
1月	24	1	0	0	0	0	0	0	1
2月	24	1	0	0	0	0	0	0	1
3月	26	1	0	0	0	0	0	0	1
計	309	12	0	0	0	0	0	0	12

	1日 あたりの 利用者数	利用者数（延べ人数）							
		介護度による区分							
		要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4月	1	4	0	0	0	0	0	0	4
5月	1	5	0	0	0	0	0	0	5
6月	1	4	0	0	0	0	0	0	4
7月	1	5	0	0	0	0	0	0	5
8月	1	4	0	0	0	0	0	0	4
9月	1	3	0	0	0	0	0	0	3
10月	1	5	0	0	0	0	0	0	5
11月	1	4	0	0	0	0	0	0	4
12月	1	4	0	0	0	0	0	0	4
1月	1	4	0	0	0	0	0	0	4
2月	1	4	0	0	0	0	0	0	4
3月	1	4	0	0	0	0	0	0	4
計	1	50	0	0	0	0	0	0	50

職員研修

施設外研修

開催日	研修名	内容	対象者
6/19	介護技術	リハビリテーションの視点を取り入れた移乗方法について学ぶ。	2名
12/8	人権研修	差別のない活気ある職場作りを実現するため、管理職対象の人権研修	1名
12/12	介護サービス事業所等に対する集団指導	介護サービス事業所等に対する実地指導結果及び業務管理体制の整備等に係る検査結果について	1名
1/29	H30年度 介護度改善研修	座学と事例発表を通して、介護度の改善についてのプロセスや課題などについて学ぶ。	1名
1/30	H30年度 認知症介護基礎研修	認知症の病状、中核症状、BPSD、認知症ケアの基本について学ぶ。	1名

施設内研修

開催日	研修名	内容	出席者
4月	介護予防（法改正について）	介護保険の改正の内容と加算について。	14名
5月	個人情報とプライバシー	介護現場における個人情報とプライバシーについて	12名
6月	認知症	低栄養や低体重と認知症の関わりについて。	8名
7月	介護技術	リハビリテーションの視点を取り入れた移乗方法について	10名
8月	事故再発防止	施設内での事故を事例に再発防止について考える。	10名
9月	感染予防	院内、施設内における感染予防対策について	20名
10月	緊急時対応	施設内、送迎時の嘔吐（ノロ疑い）の発生時について	15名
11月	ノロウイルス	施設内、送迎時の嘔吐やノロ発生時の対応について学ぶ。	7名
	一時救命処置	実践を交えながらAEDの使用方法について学ぶ。	3名
1月	倫理・法令遵守	施設の経営理念や運営方針に法、倫理、法令遵守について考える。	15名
2月	身体拘束	3大拘束の定義と予防対策について	15名
	人権	パワハラの実状や社会でのハラスメント問題、認知症高齢者の人権	23名

彦根市グループホーム ゆうゆう (認知症対応型共同生活介護)

概 要

開所年月日	平成 14 年 2 月 12 日	職 員	所長 鎌野 亜紀
所 在 地	滋賀県彦根市川瀬馬場町 1015 番地の 1		常勤：5 名
建 物	構造 鉄筋平屋建		非常勤：4 名
敷地	3,100 m ²	対 象	要支援 2、要介護 1～5 の
延床面積	326.65 m ²		認知症高齢者。介護度に拘
定 員 数	9 名		らず、その時々の利用者の
			状況を勘案し、入退居判定
			会議の上で決定。

事業経過

平成 30 年度は、TQM 活動に取り組み、今までの職員目線のケアから入居者の方を巻き込んだケアや取り組み（おやつ作り・調理手伝い等）を行い入居者一人一人にやりがいを感じていただくことができました。今後も入居者一人一人にやりがいを感じていただきながら、その人らしい生活が送れるよう支援していきます。

また、平成 30 年度は入居者の方の転倒事故が多くありました。リスクの高い方には見守り・声かけ等行って対応していましたが、他者の介助等で見守り不十分な時に発生していました。今後はアセスメントをしっかりと行い、対応していきます。

年度末に退居が重なり、新規入居者の受け入れが上手くいかず、空床期間が長くなってしまいました。スムーズに入っていただけるよう、早め早めに動き空床期間を少しでも短縮してまいります。

利用状況

H30 4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	H31 1 月	2 月	3 月
9 名	9 名	8.9 名	8.7 名	8.2 名	9 名	9 名	9 名	9 名	8.2 名	9 名	8.1 名

職員研修

開催	研修名	内容	対象者
6 / 5	彦愛犬グループホーム部会 救命救急講習	「救えるはずの命」を救う為の知識と実践を身につける。	鎌野
6 / 20	豊郷認知症セミナー	「フレイルと認知症 ～低体重・低栄養に着目して～」	北川・黒川 池野・鎌野
7 / 24	彦愛犬グループホーム部会	退院支援について 意見・情報交換	鎌野・山崎
8 / 9	グループホーム部会	介護過程とは何か～目的と意義～	北川
9 / 12	第 2 回合同研修会	介護事業所における法令遵守・虐待、身体拘束について ～そして介護業界のこれからの 10 年～	鎌野・西川
9 / 20	平成 30 年度介護職員の 看取り介護技術向上研修会	事例発表 3 題 講演 施設看取りの基本と応用	北川
11 / 14	バストラールとよさと 感染対策研修会	ノロウイルスについて	黒川・鎌野
11 / 27	湖北地域介護サービス 職員研修会	災害時生き残れる施設（事業所）になるには ～マニュアル整備による災害への備え～	鎌野
12 / 5	豊郷病院 NST・褥瘡予防対策研修会	スキンケアについて	鎌野・横田
12 / 12	豊郷病院 医療安全室研修	「つなげようみんなの手で！」～大切な命～ 一時救命処置を学ぼう	山崎・水野
2 / 8	介護サービス事業所・ 施設管理者等研修	「身近な人権問題を考える」 「成功」「チャレンジ」全国の実践事例から見る これからの「人財確保・定着」	鎌野
2 / 25・26	平成 30 年度豊郷病院 人権学習	人に優しく・人を大切に目指そう素敵な大人 ～ハラスメントの未然防止に向けて～	全職員
3 / 19	2018 年度 TQM 活動報告会	11 グループの活動報告	北川・黒川 鎌野
3 / 26	グループホーム部会研修会	平成 30 年度の反省・平成 31 年度の取り組みについて	鎌野
3 / 28	ゆうゆう人権学習	認知症について	全職員

彦根市地域包括支援センター **きらら**

概要

設 立	平成 24 年 4 月	内 容	①総合相談業務
営 業 日	月～土		②介護予防
営業時間	8 時 30 分～ 16 時 50 分 (土曜日のみ 8 時 30 分から 12 時 40 分)		ケアマネジメント業務
利 用 料	無料		③包括的・継続的
担当学区	河瀬・亀山・城陽・若葉		ケアマネジメント業務
職 員	所長（管理者） 高橋 ひとみ		④権利擁護業務
	保健師 高橋 ひとみ		
	主任介護支援専門員 青峰 龍誓		
	社会福祉士 上田 康正 濱田由紀子		
	介護支援専門員 坂田 健一		

事業経過

職員体制の変更などにより、心機一転事業に取り組んできました。

きららの担当する学区（若葉・城陽・亀山・河瀬）の担当者を決め各自治会、老人会から依頼される出前講座や自主グループ、サロンへ訪問し地域住民とより深い関係を築いています。また地域支えあい推進員と毎月のミーティング、相談機関交流会へ出席し地域ネットワークの構築をおこなっています。圏域の居宅介護支援事業所との学習会も定期開催を続けていくことができおり、介護支援専門員の後方支援を行っています。

「コツコツ続ける金亀体操」「ほっとかない認知症出前講座」「認知症サポーター養成講座」の講座をおこない地域住民の自立支援に繋がる活動を行っています。

利用状況

総合相談

延べ件数

相談内容	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	年間累計
相談方法	介護方法	医療	認知症(疑いを含む)	地域支援事業	実態把握等	介護保険	福祉用具等	施設入所・退所等	住宅改修	虐待(疑いを含む)	権利擁護	消費生活	金銭管理困難	介護保険外サービス	近隣トラブル	苦情	経済的問題	その他	
電 話	0	32	25	10	24	280	23	9	11	39	4	14	2	1	0	20	27	104	625
来 所	1	1	7	0	6	59	5	3	4	1	0	0	1	0	0	1	3	13	105
訪 問	0	22	22	12	130	377	29	7	22	36	1	16	4	0	0	8	19	117	822
その他	0	0	3	1	1	4	0	1	1	2	0	3	0	0	0	1	2	6	25
合 計	1	55	57	23	161	720	57	20	38	78	5	33	7	1	0	30	51	240	1,577

指定介護予防支援事業（予防支援給付件数）

延べ件数

請求対象月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
地域包括支援センター	64	64	68	67	65	67	71	70	70	74	74	72	826
委託による給付件数	19	20	21	20	19	20	22	21	21	21	20	18	242
計	83	84	89	87	84	87	93	91	91	95	94	90	1,068

職員研修

研修日	研修参加者の 職種・氏名	研修内容	内部・外部 研修の区分
平成 30.4.13	包括職員全員	介護報酬改正について	内部
5.17	包括職員全員	事例検討「自分の理解の中で、本人の病状を理解し思うように支援が進まない家庭への支援」	内部
5.31	青峰	研修「医療知識は何故必要か」	外部
6/11 6/19、7/12	青峰	研修「平成 30 年度主任介護支援専門員フォローアップ」	外部
7.18	包括職員全員	事例検討「依存傾向が強い一人暮らしの方の支援」	内部
9.12	包括職員全員	事例検討「何もしない息子が口出しするケース」	内部
9.19	上田・濱田・ 高橋	研修「伝わる！ケアプランの書き表し方」	外部
10.16	包括職員全員	研修「高次脳機能障害って？」	内部
10.25	青峰	研修「認知症の問題を考える講演会 2018」	外部
11.6	高橋	研修「平成 30 年度 第 2 回 地域ケア会議推進研修会」 (みんな満足！やってよかったサービス担当者会議)	外部
11.13	高橋	研修「介護予防・日常生活支援総合事業」 地域資源を存分に活用した大東市の総合事業	外部
11.15	包括職員全員	事例検討「共倒れを防ぐために今後どのような支援が必要か」	内部
11.19	青峰	滋賀県介護支援専門員連絡協議会・研究大会	外部
12.13	包括職員全員	研修「体圧測定マットについて」	内部
平成 31.1/23.24	上田	研修「H 30 年度 滋賀県高齢者虐待問題」	外部
1.15	包括職員全員	事例検討「車へのこだわりが強い認知症の方への支援」	内部
2.1	青峰	研修「認知症高齢者見守り事例検討会」	外部
2.1	青峰	研修「地域包括支援専門員研修会（人をつなぐ・未来をつなぐ）」	外部
2/1.3/7	高橋	研修「平成 30 年度滋賀県主任介護支援専門員指導者養成」	外部
2.13	濱田	研修「平成 30 年度認知症地域連携推進研修会」 「地域における成年後見制度利用促進に向けた体制整備のための手引き」	外部
2.14	包括職員全員	研修「地域支え合い推進員の取り組み」	内部
2.15	高橋	研修「平成 30 年度地域包括支援センター連絡会議」	外部
2.16	青峰	研修「滋賀県介護支援専門員連絡協議会地域包括支援センター主任介護 支援専門員研修」	外部
2.27	高橋、青峰	研修「介護予防のための地域ケア個別会議セミナー」 (介護予防のための地域ケア個別会議)	外部
3.15	青峰	研修 長浜市地域ケア会議（自立支援会議）見学	外部
3.22	高橋	研修 長浜市地域ケア会議（自立支援会議）見学	外部
3.26	包括職員全員	介護予防ケアマネジメント研修会	外部
3.27	青峰	研修「介護予防のための地域ケア個別会議推進セミナー」	外部
3.11	包括職員全員	事例検討「本人の意思決定をどこまで支援するか」	内部

甲良町デイサービスセンター けやき (通所介護) (通所予防介護)

概要

所在地	犬上郡甲良町在士 625	定員	1日 25名 (月～土)
建物・構造	鉄骨平屋建	実施時間	午前 9:20 ～ 午後 16:25 (休日:日曜日、年末年始 (12/29～1/3))
敷地	約 2,820 m ²	職員	センター長 山口 康子
延床面積	201.68 m ² (デイサービス棟 旧学童保育 sp 含む)	管理者	1人
		介護職員	6人
		看護職	3人
		生活相談員	1人
		事務職員	1人

事業経過

「けやき」では、必要に応じて午後からの入浴も行い、新規の獲得に向け働きかけを行ってきましたが、年間平均稼働率 64% 平均利用者数 15.9 名と目標としている稼働率 76% には届かなく厳しい結果を残すこととなりました。

原因として、夏場、冬場の入院、入所、SS 利用者の増加、それに加え利用者の重度化に伴い、ご本人、ご家族のニーズ（特浴希望、介護負担軽減の為施設入所）にハード面で沿うことができない場面もありました。

2018 年 12 月から希望される方対象に個別機能訓練を行っています。体の動きである「心身機能」の向上だけでなく、生活行為全般の「活動」家庭や社会生活で役割を果たすことである「参加」などの生活機能の維持・向上を図っています。

甲良町の委託事業である介護者の集い「笑福の会」では、それぞれが抱える介護の苦悩を、打ち明けながら介護ストレスの解消や、情報交換の場として定着しています。

また、認知症普及啓発事業のシンポジウムは、甲良町の秋の催しとして毎年好評をいただいています。

利用状況

月延人数 (名)

	開所 日数	各月末登録者数							
		介護度による区分							計
		非該当	総合事業 通所型(独自)	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
4 月	25	0	3	16	7	9	3	7	45
5 月	27	0	4	16	6	11	4	5	46
6 月	26	0	5	16	7	9	5	6	48
7 月	26	0	5	15	9	7	5	6	47
8 月	27	0	5	15	9	7	3	4	43
9 月	25	0	5	15	10	7	2	3	42
10 月	27	0	5	14	10	7	3	3	42
11 月	26	0	5	15	12	8	3	4	47
12 月	24	0	6	14	13	8	4	2	47
1 月	24	0	6	14	13	8	3	2	46
2 月	24	0	5	14	10	10	3	2	44
3 月	26	0	6	15	12	11	5	2	45
計	307	0	60	179	118	102	43	46	542

延人数 (名)

	1日あたりの 利用者数	利用者数（延人数）							
		介護度による区分							計
		非該当	総合事業 通所型（独自）	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
4 月	16.6	0	24	161	64	100	24	51	424
5 月	15.9	0	24	165	67	92	42	41	431
6 月	16.6	0	29	167	65	81	49	41	432
7 月	15.8	0	22	154	86	76	37	36	411
8 月	14.1	0	27	148	80	80	32	13	380
9 月	14.4	0	21	145	90	75	19	11	361
10 月	14.3	0	23	154	101	86	23	12	399
11 月	16.1	0	22	169	95	85	22	26	419
12 月	16.8	0	26	132	120	90	29	7	404
1 月	16.2	0	27	133	110	81	30	8	389
2 月	15.7	0	19	135	101	82	32	7	376
3 月	17.5	0	27	146	124	104	47	8	456
計		0	291	1,809	1,103	1,032	386	261	4,882
平均	15.9								

職員研修

開催年月日	研修内容	主催者	講師
2018 年 7 月 21 日	平成 30 年度 身体拘束ゼロセミナー	滋賀県社会福祉協議会	東北福祉大学 総合福祉学部社会福祉学科 認知症介護研究・ 研修仙台センター 主任研究員 吉川 悠貴氏
7 月 26.27 日	平成 30 年度 甲種防火管理者新規講習	彦根市消防本部 (予防課)	彦根市消防本部 (予防課)
8 月 5 日	高次脳機能障害 S T E P 1	滋賀県立 リハビリテーションセンター	滋賀県立 リハビリテーションセンター 所長 川上 寿一氏
8 月 24 日	平成 30 年度 滋賀県高齢者 虐待防止セミナー	滋賀県高齢者権利擁護 支援センター	國學院大學法学部教授 全国権利擁護支援 ネットワーク代表 佐藤 彰一氏
9 月 2 日	高次脳機能障害 S T E P 2・3	滋賀県立 リハビリテーションセンター	市立長浜病院 杉江加代子氏 滋賀県立むれやま荘 宮川和彦氏 滋賀障害者職業センター 井口陽子氏 脳外傷友の会 岡本律子氏
9 月 2 日	第 50 回 愛知・犬上郡 人権教育研究大会	愛知・犬上郡人権教育推進協 議会	声優・歌手・劇作家 佐久間 レイ氏
9 月 9 日	健康づくりから介護予防の 生活機能向上支援	滋賀県立 リハビリテーションセンター	筑波大学大学院・ 人間総合科学研究科 准教授 山田 実氏
9 月 12 日	介護事業所における法令遵守・ 虐待、身体拘束について	彦根・愛知・犬上介護 保険事業者協議会	株式会社福祉リスク マネジメント研究所 所長 鳥野 猛氏
2019 年 2 月 15 日	犬上郡企業内人権啓発 リーダー研修	豊郷町・甲良町・多賀町	滋賀県医科大学医学附属病院 特任准教授 阪上 由美子氏

今後の課題

- ◎利用者、家族の幅広いニーズに対応できる (満足度の向上・自立支援・機能向上) よう職員一人ひとりのキャリアに合わせた目標管理の徹底。チームワークの再生。できていないこと探しから、できていること探しができるチーム力 UP に努め、安心・安全・満足していただき、選んでもらえるデイサービスを目指す。
- ◎平均 19 名の確保に向け、新規の開拓 (総合事業対象者含) と同時に、欠席された方への振替利用等、積極的な声掛けを行い、全曜日の定員 25 名枠を実現する事で安定経営を目指す。



甲良町グループホーム **5く5く** (認知症対応型共同生活介護)

概 要

所在地 甲良町在士 625
建物・構造 木造平屋建
敷 地 約 2,820 m²
延床面積 275.75 m²
定 員 9 名
職 員 11 人

利用状況

2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日
平均月間 9 名

事業経過

- ・甲良町の委託事業としてスタートした認知症カフェ「よってっ亭」は、多くの方に参加して頂き地域に根づいた事業として継続している。
- ・「本人の思い」を大切に、入居者の自立支援を目指し個別ケア、チームケアを強化している
- ・空床短縮に努め、安定した経営を目指している。
- ・地域の方の協力による避難訓練を継続している。

職員研修

開催年月日	研修会名称	参加者数
2018 年 5 月 5 日	グループホーム救命救急講習会	2 名
5 月 9 日 5 月 10 日	介助セミナーステップアップ 対象者の能力を引き出すために必要な事	1 名
5 月 20 日	フレイルと認知症～低体重・低栄養に着目して～	3 名
8 月 5 日	キャラバンメイト養成研修	1 名
8 月 30 日	災害対応研修～災害対策は日頃からのお付き合い～	1 名
8 月 30 日	キャラバンメイトフォローアップ研修 認知症の基本と認知症予防の最新情報	3 名
9 月 5 日	流行性ウイルス疾患について感染対策研修	1 名
9 月 12 日	介護事業所における法令遵守・虐待、身体拘束について	1 名
9 月 27 日	2018 年度町民人権問題学習講座～地域における男女共同参加～	1 名
10 月 4 日	2018 年度町民人権問題学習講座～手話と歌で元気になろう～	1 名
10 月 11 日	2018 年度町民人権問題学習講座 ～伝えたいこの思い・大切にしたいこの生き方～	1 名
10 月 10 日～12 月 25 日	身体拘束廃止に向けた推進員養成研修	1 名
11 月 4 日	人権尊重、部落解放を目指す町民のつどい	1 名
11 月 14 日	ノロウィルス、感染対策、予防	1 名
11 月 19 日	介護技術向上研修、介護職員の看取り。看取りのプロセス ～在宅看取りの事例を通して～	1 名
11 月 24 日	介護サービス事業所等感染管理リスクマネジメント研修会	1 名
11 月 27 日	冬の感染予防 ～インフルエンザとノロウィルスを中心に学ぼう～	1 名
12 月 5 日	スキン・ケアの基礎知識	1 名
12 月 12・20 日	心肺蘇生法、肺蘇生の基本的な考え方	3 名
2019 年 2 月 8 日	認知症の気付き、それって本当に認知症？	1 名
2 月 21 日	介護サービス事業所・施設管理者等研修会	1 名
2 月 25 日	人権研修・ハラスメントの未然防止に向けて	5 名

III

教育研究事業の部

准看護学院は友吉学院長が6月に逝去され、後任に林新学院長が就任されました。友吉先生は20年間の学院長時代、常に法人の基本理念のもと、人を思いやる温かな心を育む人間教育にご尽力されました。

さて1年生では宿泊研修において専門指導員による活動体験プログラムを導入し、活動を通して他者とかかわる力・思いやる力を引き出し、さらに他者と協力して課題を克服する力を養うという、仲間づくりの基本的な力を育む教育に取り組みました。

2年生では研修旅行で鹿児島県のハンセン病施設である星塚敬愛園を訪問し、過去の歴史とそれに関わった人々の、人権を取り戻すための闘いについての講演を聴き、差別について、人の権利について、深く学ぶ機会となりました。

一方、臨床精神医学研究所は、「内因性精神病の長期経過と転帰に関する研究」を継続いたしました。また、看護師やコメディカルのための精神医学講座や各種講演会の講師、ならびに外部からの依頼の原稿を引き受けています。さらに、本年2月には当研究所主催の第6回新春学術講演会を開催し、香川県高松市の三光病院の市川正浩先生を招いて「アルコール依存症の臨床」と題するお話をしていただきました。

公益財団法人豊郷病院 附属准看護学院 平成 30 年度(2018) 事業報告

表 1 入学生の動向 (単位：人)

分類 \ 年度		平成 29 年度	平成 30 年度
定 員		15	15
性別	男	0	0
	女	11	14
計		11	14
年齢別	10 歳 代	2	4
	20 歳 代	2	3
	30 歳 代	6	6
	40 歳 代	1	1
計		11	14
高等学校 新卒 既卒別	新 卒	2	4
	既 卒	8	9
	その他(短大)	1	1
計		11	14
出身地別	滋 賀 県 内	11	14
	滋 賀 県 外	0	0
計		11	14
県 内 出身地別	甲 賀 市		1
	湖 南 市		1
	大 津 市		
	栗 東 市		
	草 津 市	1	
	守 山 市		
	彦 根 市	4	1
	野 洲 市		
	近 江 八 幡 市	2	2
	高 島 市		
	東 近 江 市	2	3
	米 原 市		
	長 浜 市		2
	愛 知 郡	1	
	蒲 生 郡		3
	犬 上 郡	1	1
計		11	14

表 2 卒業生の動向 (単位：人)

分類 \ 年度		平成 29 年度	平成 30 年度
総 数		12	10
性別	男	0	0
	女	12	10
計		12	10
就職 進学	就 職	6	9
	進 学	6	1
	その他	0	0
計		12	10
就職先	豊郷病院	4	6
	その他県内	2	3
	県外	0	0
計		6	9
進学先	済生会	5	1
	その他県内	0	0
	県外	1	0
計		6	1

スタッフ(令和元年 6 月 7 日現在)

学院長 林 拓二
 事務長 川村 宏
 教務主任 川合小百合
 専任教員 安居 容子
 専任教員 江田 裕子
 事務員 岸 誠子

わが国の看護をめぐる環境は、急速な少子高齢化と医療技術の進歩により大きく変化してきており、看護者にはより質の高い看護と倫理観が求められ、看護師の基礎教育においては今までの 3 年から 4 年へと改革が進められています。

本校は准看護師課程ですが、生徒にはより深い知識の習得と看護師免許取得の必要性を継続して指導し、全員に進学を勧めています。また、学院の伝統として、法人の基本理念のもと、人を思いやる温かな心を育む教育に力を注ぎ、1 年生では専門指導員による活動体験プログラムを導入し、活動を通して他者と関わる力・思いやる力を引き出し、さらに他者と協力して課題を克服する力を養うという、仲間づくりの基本的な力を育む教育に取り組みました。

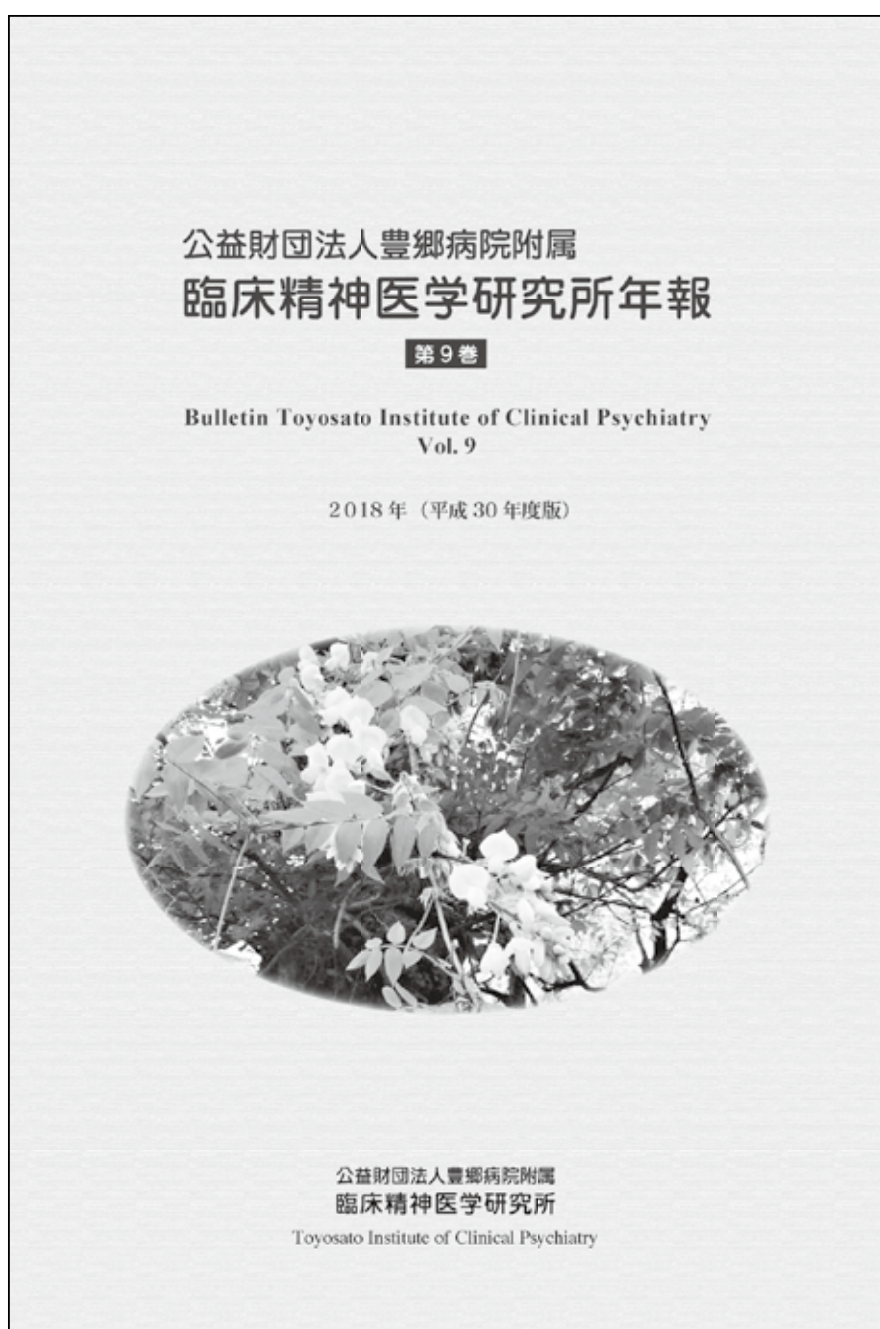
2 年生では研修旅行で鹿児島県のハンセン病施設である星塚敬愛園を訪問し、過去の歴史とそれに関わった人々の、人権を取り戻すための闘いについて、当事者からの講演を聴き、差別について、人の権利について、深く学ぶ機会としました。

臨床精神医学研究所 研究報告

当研究所は、「内因性精神病の長期経過と転帰に関する研究」を継続いたしました。また、看護師やコメディカルのための精神医学講座や各種講演会の講師、ならびに外部からの依頼の原稿を引き受けています。さらに、本年2月には当研究所主催の第6回信州学術講演会を開催し、香川県高松市の三光病院の市川正浩先生を招いて「アルコール依存性の臨床」と題するお話をさせていただきました。

毎年発行する臨床精神医学研究所研究報告は、第8巻、2017年（平成29年度版）は2018年11月に出版し、関係各位に配布しました。

下記第9巻 2018年（平成30年度版）は現在編集中。



友吉唯夫先生 追悼

公益財団法人豊郷病院 第9代 代表理事 友吉唯夫先生は平成30年6月20日86歳をもって鬼籍に入られました。

ここに各位からいただきましたご厚誼に対し深謝申し上げます。



公益財団法人 豊郷病院 経歴

1997（平成 9）年 第7代豊郷病院病院長・准看護学院長就任
2000（平成12）年 名誉院長
2003（平成15）年 介護老人保健施設パストラルとよさと 施設長
2014（平成26）年 第9代公益財団法人 豊郷病院 代表理事就任

友吉唯夫先生を悼む

2018.6.20の早朝に友吉唯夫先生が急逝されました。86歳でした。

前日までは普通に出勤されお仕事もお元気な様子でした。夕食の後はいつものように自室に戻られたのですが、朝方奥様が異変に気づかれたようです。10年ほど前に一度心臓を悪くされたことがありましたが、その後は体調を崩された様子もなく、働きすぎを気にするぐらいよく動かれていましたので、訃報を知り職員のだれもが信じられないことでした。

友吉先生は滋賀医科大学が創立されると同時に京都大学から招聘されて泌尿器科教室をお創りになりました。包容力があり親しみやすいお人柄にひかれて多くの入局者が集まり、大学の中でも有数の教室に育ち、全国で活躍する多くの門下生を輩出しております。

1997年、滋賀医科大学退官と同時に、財団法人豊郷病院の院長として招かれ4年間院長、2000年から名誉院長、2003年パストラルとよさと（老健施設）施設長、2014年から豊郷病院代表理事として病院の舵取りをされています。特筆すべきは豊郷病院准看護学院の学院長として多くの准看護学生を育てられ、豊郷病院だけでなく地域の看護師育成に大きな功績を残しておられます。

友吉先生の穏やかな人柄は人を惹きつけて止まず、他人が気分を害することは絶対に口に出されない方でしたが、時には他を圧倒するような決断をされることもあり、そのことに尊敬と畏れの気持ちをもつ職員も多かったようです。

医師としてだけではなく文化的素養も高く、准看護学院の入学式や卒業式の挨拶、院内の訓示、校歌作詞、随筆などどれもこれも人を惹きつけ、全人的で格調の高いものでした、いっぽう趣味も幅広くカラオケ、麻雀やビールを楽しむ通人でした。

友吉先生は教鞭をとられた滋賀医科大学をこよなく愛し卒業生をわが子のように溺愛されておりました。先生の築かれた滋賀医科大学や同窓生との幅広い交流と人望のお蔭で、滋賀医科大学と豊郷病院の強い絆が結ばれ感謝しております。

最後になりますが、友吉先生は豊郷病院の創設者でもある伊藤長兵衛翁を深く研究されておりその慈愛と報恩という志に心から共感されておりました。友吉先生もその志の人だったと思います。

公益財団法人 豊郷病院 代表理事 佐藤公彦

編集後記

2018（平成 30）年度版の年報をお届けします。

2018（平成 30）年度は、第 7 期中期計画（3 年）の初年度として「トヨサトチャレンジ 6」を提示し実現に向けてスタートしました。また期初の 6 月には友吉唯夫先生が急逝されたことから佐藤公彦代表理事が就任され、更に豊郷病院長に横田徹先生、介護老人保健施設長に桐山畜夫先生、准看護学院長に林拓二先生がそれぞれ着任、新たな体制で発足しました。

法人事業の内容で見ますと介護事業の苦戦はありましたが医療事業の新体制のもと運営方針と職員の努力によって相応の事業収益をあげることができました。

新年度は「人生 100 年時代」を見据えて少子高齢化、人口減少、働き方改革、消費税増税問題、医師不足等々課題山積しておりますが経営方針の実行と重点施策を着実に遂行してまいります。

また今年度の重点施策のポイントは医療療養病棟をリニューアルし初期軽度認知症対応の地域包括ケア病棟に転換し強化します。この病棟では市町の地域包括支援センター・当院の在宅療養サポートセンター・認知症疾患医療センター（オアシス）から初期の認知症患者を受入れ住み慣れた地域で暮らし続けるために生活習慣の見直しと必要な治療を行います。

更に医療・介護共に役割が「在宅支援」の強化ということから訪問診療・在宅療養支援の取組を更に進めてまいります。

平成最後になる 2018（平成 30）年度版 vol.18 紀要・年報を発行しましたのでご覧くださいますようお願いいたします。

2019（令和元）年 8 月 広報委員会

2018（平成 30 年度版） 公益財団法人 豊郷病院 紀要・年報 vol.18

発行	公益財団法人 豊郷病院 〒529-1168 滋賀県犬上郡豊郷町八目 12 TEL(0749)35-3001 FAX(0749)35-2159
編集	公益財団法人 豊郷病院 広報委員会
印刷	近江印刷株式会社 滋賀県愛知郡愛荘町川原 771-1 TEL(0749)42-8400(代) FAX(0749)42-6700



公益財団法人 豊郷病院

〒529-1168 滋賀県犬上郡豊郷町八目12

TEL. 0749(35)3001 FAX. 0749(35)2159

<http://www.toyosato.or.jp/>

E-mail:toyosato@toyosato.or.jp